京城日報　夕刊

すき焼　鳥料理　水炊　本町三丁目　喜久家　電本三三八三

山西軍突如として 總攻撃を開始す

定州附近で死力を盡して激戰

閻氏石家荘に進出

【北京六日發聯合】張家口占領後、京綏線方面の山西軍は激烈なる追撃を行はず、京綏線方面の戰況活潑ならざるに反し京漢線方面の山西軍は、五日以來突如攻勢に出て、定州附近の奉天軍の正面全線に亘り猛烈に總攻撃を開始し、兩軍は五日以來死力を盡して激戰中である、山西軍は奉天軍總攻撃に先立ち、その陣容とゝのはざる隙をついて一擧にこれを屠らんとする堅き決心を有するものゝ如く、閻錫山氏自ら石家荘に來り、全軍を指揮してゐる。いよいよ山西軍は京漢線上に推進を決すべく、主力部隊は大衝突を開始するものと見られてゐる

奉軍の計畫を見越し 山西軍先手を打つ

【北京六日發聯合】奉天軍總攻撃敢行の先手を打つて、京漢線方面の山西軍主力軍は五日以來定州附近の奉天軍に對し猛烈に總攻撃を開始した

山西軍の先鋒は 北京四十五哩の地に迫る

塹壕砲兵陣地を旺んに築く

【北京六日發】京綏線方面の戰況は張家口の報ずる處によれば、京綏線方面における山西軍の先鋒は土木堡（懐來の少し北、北京より約四十五哩）に進出し更に塹壕砲兵陣地をきづきつゝあり

黒龍江軍主力 續々繰り出さる

各鐵道輸送に忙殺

四洮、洮昂兩鐵路連絡完成

【長春特電】東三省留守保安總司令呉俊陞督辦の嚴命により黒龍江軍主力歩兵旅團騎兵一千名は、四日齊々哈爾發四洮鐵路にて輸送開始され、後續部隊續々到着中にて、それを奉天に集中し、奉天の部隊は關内應援の爲出動中にて、各鐵道は忙殺されてゐる、從來四平街洮南府間の四洮鐵路と洮南、チチハル間の洮昂鐵路とは、洮南にて線路の連絡なく、一般に不便を感じて居たが、いよいよ去る二十日より洮南驛間に線路を延長、連絡することゝなり南北滿間の交通上利便となり貨客も増加しつゝありと

三國會議の結果を待つため、總選擧を見合されてゐたものであるが、會議失敗のため總選擧することゝなつたものである

府縣會議員 各派別

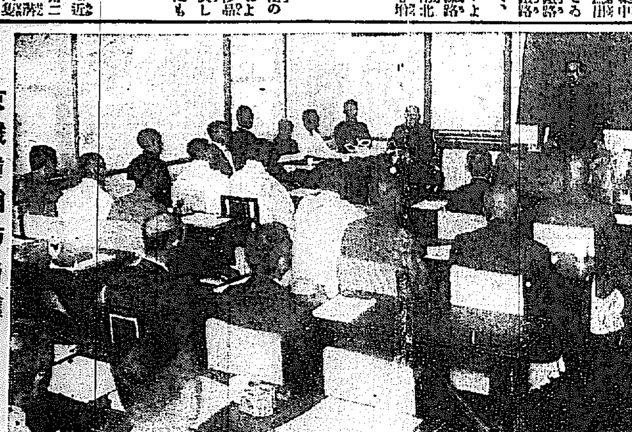
【東京電報】六日までに確定を傳へたる山口縣一市六郡と神戸市を加へたる府縣會議員黨派別（電通調査）現在數は左の如くである
政友會六百四十七名▲民政黨五百十三名▲無所屬二十六名▲其他百〇六名▲計一千二百九十二名

英の造艦計畫

【ロンドン五日發】英國海軍は近く一萬噸八インチ砲搭載巡洋艦二隻、巡洋艦一隻、驅逐艦六隻、潜水艇數千七百五十噸の潜水艇六隻の建造に着手するに決した、右は

軍費捻出に 二割の増稅

【青島六日發】支那は軍費捻出の爲、十日より輸出入酒タバコおよび稅關以外の貨物稅局にて奢侈品に對し約二割を徵收する旨發表し更に十一月一日から滄州青島にも臨時特稅局を新設のはず。



京畿道消防會議

露紙毒つく

【モスクワ六日發】モスクワ發露政府御用新聞イスベスチアは六日の紙上で『イギリスは目下トルコ、ペルシヤ間の國境で戰爭中のトルキスタン族に資金を供給してゐる』と攻撃し『イギリスはトルコ、ペルシヤを離間し兩國政府に好感を有する東部地中海沿岸諸國の間に不和を釀さんとしてゐるのである』と述べてゐる

駐佛大使召還 政府は不同意

【パリ六日發】ル、ソワル紙モスクワ通信員の所報によればサヴエート外交部委員チチエリン氏は左の如く語つたと報じてゐる　勞農政府は駐佛大使ラコウスキー氏召還には決して同意すまい外交部次席リトビノフ氏も氏の召還に關する佛の要求を容れようと思はぬ

石井大使上海着

【上海六日發】歸朝の途にある石井大使および家族は郵船諏訪丸で本朝入港した大使一行は上海帝國ホテルの旅行に安心して上陸を見合せた

五分天引案か 如何に折合ふか

各省とも依然反對 藏相の出樣が見もの

【東京電報】明年度豫算編成に當り大藏省では、既定經費および繼續事業費につき、五分天引案を主張せるに對し、各省では本日の豫算閣議に閣僚連として、昨日も省議を開き、種々對策を協議する處あつたが、依然五分天引案には反對的態度強硬であるから、豫算閣議における各閣僚の主張と、三土藏相の出樣とは注目されてゐる

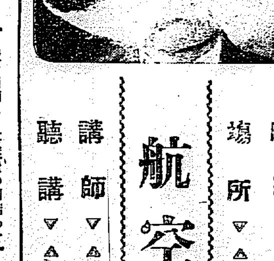
ボ氏莫斯科着

【モスクワ六日發】ボロヂン氏は陳友仁氏の子息バーナード氏を伴ひ本日モスクワに歸着した

大藏省豫算省議

重要政策の新規要求中 容認すべき費目を協議

【東京電報】大藏省主計局の豫算概算査定も一段落したので、大藏省では六日午後六時から豫算省議を開き、先づ自然増、公債計畫その他に關する歳入狀況の報告をなし、次いで歳出に移り、主計局が特に査定を留保した現內閣の重要政策の新規要求中、特に容認し得べき費目につき意見を交換し、八時散會した、七日は午前七時から續開のはず」



航空講演會

時日▽十月八日午後七時
場所▽本社來青閣
講師▽長岡外史將軍
聽講▽無料

京城日報社

豫算切詰の外 妙案はあるまい

國民所得低減の今日では 高橋前藏相語る

【東京電報】經費節約問題で內閣不統一が暴露してゐる時に際し高橋是清氏は左の如く語る
『政府も財源捻出に相當苦しんでゐるらしいが、切り詰めた財政で、一方に、新政策をやらうとするのだから、苦しいのは當然だ、今日の狀態で經費の節約が叫ばれてゐるが、公債財源說、減債基金振向け說等は飛んでもない話だ、內外債とも時期がある、今日の際に國民一般の所得が減つてゐる不況時には決してよい結果を見ない、減債基金に手を付けることは國家信用上決して賛成出來ない要するに今度の豫算編成も、經費を節約し、事業費の切詰めをなすより外、妙案はないと思ふ』

日本海潮流調査

慶尚北道水産試驗場では日本海潮流調査のため本月敦賀、浦鹽間の海洋にビン七百本を投入したから拾得者はビン內にある葉書の記載事項記入の上郵送して貰ひたいと（元山）

鄕男が作つた 十五銀行整理案

五分の一に減資して 一千萬圓を拂込ませる

【東京電報】鄕誠之助男により作成された十五銀行整理案の大綱は左の如し
一、資本金一億圓を五分の一に減資すること
一、未拂込株金は一千萬圓を徵收すること
一、日銀に對し川崎造船の三千六百萬圓國際汽船の一千萬圓其他不動產所有財產を提供し更に資金融通保證時期の猶豫を受くること
一、預金は切捨てざること
一、千圓以下の小口預金は全部つて約八千萬圓の時別融通を受くること
一、千圓以上の大口預金は二割即時拂戾り八割は無利子にて十ケ年の年賦償還とすること

文化住宅には 一定の型がない

西洋かぶれは笑止千萬 伊東忠太博士語る

建築界の權威東京帝國大學教授工學博士伊東忠太氏は政府の命をうけ去る一日北京に赴き東方文化事業の研究を終へての歸途七日朝入城、巴城館に旅裝を解いたが記者に語る
今回は政府の命を受けて東方文化事業の研究に行つたのだがその結果については、まだ政府に報告してゐないから、話は出來ない事を遺憾に思つてゐる、朝鮮の建築は原始時代の住宅建築をそのまゝ繼承して居り殊に日本古代の建築樣式と關係があるので面白く感ずる事が出來た一體文化住宅といふものは、或る國民が或る時代の文化に調和した建築樣式をさすのである故に文化の程度は國により又時代により異つてゐるから文化住宅には一定の型がない、最近日本人が歐米の建築樣式をそのまゝ取り入れて、これを文化住宅などといふのは實に笑止千萬である

今朝入城した伊東忠太博士

全鮮農學校々長會議

既報第一回全鮮公立農業學校長會議は全鮮十三校長出席の上八日より十一日迄本府第二會議室において開催することになつたが諮問事項は
一、公立農業學校生徒をして卒業後農業を自營せしむる具體的方法如何
協議事項を提出し各校長の意見を徵するはずで各校長より提出された主なる協議事項は左の如し
一、實業教育專任教員設置に關する件
一、學校設備に關する件
一、職員定員に關する件
一、職員の知識技能に關する件
一、教授訓練に關する件
一、實習に關する件
一、卒業生指導に關する件
其の他の本府に於ける本會議開催の件及其他本會議に於て將來の校務の講究並卒業生徒の思想善導に關する件等である

刑務所長會議第四日目

刑務所長會議第四日（七日）は午前九時より前日に引續き協議事項につき種々意見の具陳をなし正午終了午後一時より一同は南山本願寺に赴き南山町本派本願寺における追弔會に出席した後同四時三十分から京城ホテルにおける治刑協會々長招待宴に臨んだ

支那國慶日

十日は支那國慶日に相當するが、京城支那總領事館においては當日祝賀を受納しないと

檢察系統を 裁判所より分離

司法制度改正準備會 審議原案の重要點

【東京電報】裁判所構成法改正を目的とする司法制度改正準備委員會第一回幹事會は、六日司法省に開會されたが、今後毎週一回幹事會を開くはずである、幹事會の審議原案の重要點は、檢事局を裁判所より分離して、司法大臣の直接的指揮命令權の範圍外に檢察權を獨立させて、その系統を大審院、高等檢事局、地方檢察廳とするにある

林子鮮滿へ

【東京電報】林權助子は七日朝九時東京驛發特急で、約一ケ月の豫定を以て滿鮮視察の途に上つたが、特に朝鮮については、經濟、思想等各方面にわたり詳細なる觀察を遂げる豫定であると

帝展各部主任決定

【東京電報】六日帝展審査員會は各部主任を左の如く決した
日本畫　山本春擧
洋畫　和田三造
彫刻　朝倉文夫
工藝　赤塚自得

全南靈岩に自動車 遞送開始

全南靈岩郵便所は從來郵便物の遞送には人夫を使役してゐたため、同所發着の郵便物は幾分遲滯を免れなかつたのであるが、來る十月二十一日から全南間は自動車便を利用することゝなつたので、一日の遞送を見るとなつた

米國領事賜暇歸國

京城駐在米國總領事館ミラー氏は今回賜暇を得て十日午前十時京城驛出發の筈であるが留守中は副領事ステファン氏が執務することになつたと

辭令

任朝鮮總督府農業技手　平賀良藏
任京城帝國大學豫科教授（六等）　佐伯國治
任朝鮮總督府高等工業學校教諭兼同京城高等工業學校教授（七等）（各通六日付）
朝鮮總督府事務官　松島惇
京城府金融理事長を命す（一日付）
專賣局長　水口隆三
京畿道群山府南洞面へ出張を命す（七日付）
朝鮮公立女子高等普通學校教諭　大內鶴之助
奉天撫順安東縣へ出張を命ず（五日付）

京電技師異動

京城電氣會社では左の異動を發表した
瓦斯課長技師　岡田具
依願退職（各通）（十月三日付）
技師　溝上浩次郎
技師に任用（九月二十四日附）
技師　齋藤勘七
瓦斯課長を命す（十月三日附）

會

◇金谷軍司令官招宴　九日午後六時半より官邸に於て入城中の長岡外史將軍を招待晩餐會を催す
◇湯淺遞信局長招宴　目下入城中なる長岡外史將軍を主賓として七日正午朝鮮ホテルに午餐會を開いた

人

◇蒲原遞信局長　七日午前七時四十五分發列車にて歸城同日午後元山へ
◇伊東忠太氏（工學博士）七日朝入城巴城館
◇福崎延太郎氏（陸軍大學教授）
▲宮崎鐵太郎氏（九大教授工學博士）六日午後入城巴城館
◇松崎時勉氏（滿州局公立農業學校長）七日朝入城平田旅館
◇八巻芳郎氏（黃海道土木課長）六日午後入城平田旅館
◇吉田幸雄氏（乃木會講演部長）
▲大橋幸太郎氏（太陽閣長）七日朝入城笑福旅館
◇布施辰治氏（辯護士）八日午後七時入城の豫定
◇水口專賣局長　大山技師同伴七日南洞出張中の處同日歸任
◇增本秀太郎氏（東京砂糖貿易出張店長）▲田島定雄氏（群山郵便局長）七日午前七時入城朝鮮旅館へ

對山餘

『無い袖は振れぬ』とやらで、だれがやつても切詰より外はない豫算編成なのだ。より外はないところで締めくくりされてゐるともいへる。內閣不統一とはこれは聞こえぬ。
◇
タク運轉手を突落し自動車を强つて逃走、といふのだしをけふ見た。戰慄の秋、不安の東京。戰慄の秋の空は高い。
◇
うち入りの菓子が町夢、京城にはあらはる。まさか京城にはないせせられ、保護兩局如何です。
◇
一年半を求刑された元の鬼檢事といふがあつた。世はさまぐなるかな。
◇
遞送參議會とやらで『思ひ付』と剝製したものがあつたさうだ。ほうら、あきれたね。
◇
くさぐさの廢止品が京城にも來る、しかし部分品が乏しく修繕屋がマルでないのは一大缺點である。

劍俠艶魔（六十）

幕末祕錄　渡邊默禪

大歌所別當

御所の岩窟はこの松山の中腹に存在するもので、非常に困難した針路の齒は二つの穴が穿たれてあつた。それはちやうど船艙の舷窓と同樣とを兼ねたやうなもので、そこから不十分ながらも太陽の光線をとることもできれば、空氣の調節もできる。外部は断崖、小指すら近づけ難いので、人に發見される憂ひは絶對にないとされたのが、切支丹の宗徒たちが安全の隠れ家として閉ぢこもつたゆゑんであつたらしい。その孔は直徑三尺ぐらゐ、這つてもぐり込めば出入のできないことはない。わざと少しの曲線を作つて容易に岩窟のなかへ崩れたもので、外部からは約三間の隔たりがあつた。

臨吾はしゆろ縄にすがつて孔のなかへ首を突込んだ。が臨吾が耕儀になつて、ほんのりと洩れて來る明りのほかは何物も見えない。たゞゴト〳〵と話聲が聞こえる。

『これちや、仕樣がねえや、もつと見届けてやらう』

彼は大膽にその穴へ潜ひ込んだ。そして自分の體を縛つた縄を解いて、穴に入る大蛇のやうにのたのたと前進した。

『やア、あがる、居やアがる』

與吾は心に微笑の叫びをあげた。岩窟内の光線は手にとるやうに、はつきりと彼の眼界にうつつて來たのである。

胸躍る冒險的の任務は、一體どんな目的から企てられたことか。それは今しばらく說明を避ける、が彼の後に陞玉倒幕派の敵──大きな勢力が潜入づけられて、ひそかに策をあやつつてゐるものだといふことが分れば、やがて恐ろしい運命の黑幕が、この祕密の祕密を守護すべく、國隊として戰つて來ることを豫想されずにはゐられないであらう。

『エ、申し遲れまして恐れ入りまする。手前出發の折、內々大歌所にお目通りいたし、上への御獻品を預かりいたしてまゐりました』

その時岩窟のなかで丹羽長門守がいつた。もやもやと一箇の籠が膝部の上に久助の翻らへた料理をのせて各自の前に配り、燭の火に酒を暖めてゐたさなかである。

『なに、正親町殿に頭ふてまゐつたとか。あゝ左樣か、同然でおはさるゝか』

と三條殿の言葉──大歌所とは其のころの別當、正親町大納言實愛卿のことをさすので、卿は當時五十あまりの老體であつた、けれど燃ゆるやうな青年の意氣をもち、公卿十七人の間における勤王派の首領となつて活躍な運動をつゞけ、溫和派の堂上方や佐幕派にひどう忌み嫌はれた人である。

『は、極めてお丈夫にござります。たゞ今は閑散蟄居のお身上、たゞ風月を友として和歌など詠みあつてござりますが、勤王の念寸時も止む時なく、手前が目通りいたしました際、慷慨の淚を吞まれ、さて仰せられまするには、卿取りして時の來るをお待ちあれ、先頭の御動は聖衛一二の徒と、隴州會津および廷臣など合議しての企てであつて、申さば私の事、斷じて大御心ではない、その證據としてこの一品をそちに預けるにより直ちに中納言殿の御手にそなへくれますやうに、やがては說明も聞けれ、み玉ひて、われ〳〵の喜びをつらぬき得る喜びの時がまゐるであらう」と固唾にござりまする』

『うむ』鄭ぱらなづいて『してその品とは』

丹羽は微かな口調で

『なにッ。御慶雲──』

『畏くも主上御慶雲の御寢にござりまする』

鼻け借と驚歎をもたゝした。

『それは勿體ないことぢや、しばらく待て。これ、佐久間、裝束をこれへ持てッ』

『はッ』

佐兵衛は膝に瞬して立ちあがつた

あすの天氣【8】

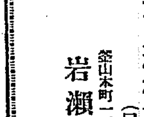
豫報　曇雨模樣

高氣壓は本邦方面から東部に擴つてゐるが氣壓配置が不安定な故、北支那と南支那には低氣壓が出來そうである。南は晴、その他は天氣がよいが北西岸には霧が發生してゐる。明日は大概曇りがちで少雨の模樣がある

溫度　七日正午 [illegible]　六日最高 [illegible] 最低 [illegible]

仁川滿潮（八日）午前八時廿分　午後一時四十五分

現代の要求
開店十五週年記念大賣出し
流行モーニング　六十八圓
フロックコート　七十五圓
ウオステツト背廣三揃　四十五圓ヨリ二十五圓マデ
黑紺サージスコチ背廣三揃　三十八圓ヨリ二十五圓マデ
オーバコート　九十圓ヨリ二十圓マデ
トンビ作業服立エリ長短ズボン
羅紗裏地附屬品一式
小倉通學服四千着限り
小學生一號ヨリ六號迄二圓　一號ヨリ八號迄六十錢（號遞每二十錢高）
中學生一號ヨリ五號迄
京城黃金町三丁目角（永樂町停留所前）
馬渡洋服店
電話本局一九三三　振替京城八七三番



寫眞機械材料（目錄進呈）
釜山本町一丁目電車前
岩瀬寫眞機店
電話七五五番　振替京城七八八番

咸北種苗組合生產種苗販賣廣告
テウセンカラマツ
一年生　五寸上（造林用）二千萬本　三寸上（床替用）三千萬本　二寸上（床替用）二千萬本
二年生（山出シ）　尺五上（根廻り二分五厘）七百萬本　尺上同（一分五厘）千五百萬本　七寸上同　六百萬本
價格は步且により特に勉强可致御注文次第見積可申候
咸北種苗組合　事務所　羅南生駒町

例に依り勝馬投票施行
群山競馬大會
▲開催日　自十月八日　至十月十一日　四日間
▲場所　群山府東海岸新競馬場
主催　群山競馬俱樂部

清酒　白鶴　ハクツル
京城　仁川
株式會社　增田屋商店

新築　開静　清楚
東萊温泉場
御旅館　よし井
內湯設備あり
電話二二番

本店　京城
朝鮮銀行
總裁　鈴木嶋吉
支店出張所
內地　東京、大阪、大阪西區、神戶
朝鮮　釜山、大邱、仁川、平壤、鎮南浦、元山、群山、木浦、清津、會寧
滿洲　大連、旅順、營口、遼陽、奉天、奉天新市街、鐵嶺、開原、四平街、長春、公主嶺、哈爾濱、龍井村、傅家甸
支那　上海、青島、天津
露領　浦鹽斯德
米國　紐育
右ノ外倫敦、巴里其他內外重要ノ地ニ取引先有之候

都市爭奪リレー

第六日

鐵道走破哩數

●紅軍爭奪完了 ○白軍爭奪完了

紅軍 六百三十五哩三分

白軍 六百二十四哩六分

全鮮都市爭奪リレー

北鮮一帶の征服は 兩軍共完全に終る

奇しき因緣は再び兩軍同道し あすの夕べ京城着

北鮮一帶を征服した山岸紅軍、秋田白軍兩選手は今七日夜八時半元山發の列車で元山大港、元山で

=府廳の= サインを得山岸選手は第二走者内田選手と元山で交代、内田、秋田兩選手は十一時廿五分元山驛發の列車で再びコースを同じうして京元線を逆行し、八日京城驛に到着、金剛山電鐵を

=征服し= 兩軍午後六時京城驛着の列車で兩選手が京城に姿を現し京城驛前を利用して總督府で京城占領のサインを受ける豫定である。偶然にも同時に京城驛を發し北鮮征服の

=走路を= おへた兩軍選手は遂に京城驛着までコースを一にしたのは全く奇蹟である、明八日兩選手が京城驛に現れる時は盛んな歡迎が行はれるであらうが兩選手は自動車に

=分乘し= て南大門通りから太平通りをぬけ、本社前を通つて總督に向ふはずである。

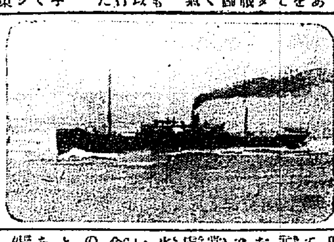
自動車提供

内田、秋田兩選手が京城驛から本社前迄の自動車はビュイック總代理店京城自動車商會から特に二臺提供することになつた」

本部記

紅軍 兩軍共、勝は我軍にありと信じ切つて御互にダイヤを堅く秘密に附し、本部に殘つてゐる兩軍の選手は敵の作戰(ダイヤ)を知らんと旺んな偵察戰を行ふ、敵の第一走者立石君臨る兜防選旋將軍の如し、恐らく白軍の選手は四人目までは意氣揚々として臨むであらう。ラストの選手が臨る際は紅軍も大いに雅量を示して杉浦司令以下五名の選手が揃つて迎ひに行つてやらう、ラストに廻された白軍の選手こそ貧乏籤だ

白軍 わが第二走者秋田選手は、明八日午後六時京城につくついて直ちに京城占領のサインを總督府で受ける。敵も同じ頃殿らしい。さて京城から紅軍は南か、西か、どこへスタートをつけようとわがダイヤは一分のゆるぎも見せぬ。オイ白軍選手應援團の諸君。野球でも見物に出かけやうぢやないか。



兩軍選手が便乘した[illegible]丸

紅白兩選手 城津通過

【城津電話】都市リレー紅軍第一走者山岸選手および白軍第二走者秋田選手は何れも咸鏡線全部を突破、咸北各都市の爭奪を終り兩選手七日午前七時城津驛の通過列車にて元山に向ひたるが兩選手とも元氣旺盛である。

禮智洞の火事 火元不明 放火ではない

既報府内禮智洞の出火原因については東大門署で失火と見て火元の倉庫使用者である京城專賣局および隣家の者について取調べ中であるが未だ判明しない取調べに當つてゐる松下司法主任は「今の處放火でない事は判つてゐるが出火の箇所がどうも判明しない」と云つてゐる專賣局側では同倉庫は今村十太郎から借家して葉タバコの倉庫に使用してゐるが裏は民家と小溝一つ隔て高い板塀で圍つてあり表門は專賣局と倉庫家主との外は出入が出來ぬ樣閉切つてあつて火災前日には誰も出入はしなかつたといつてゐる

專賣局優良職工表彰

專賣局では印刷工場の優良職工表彰式を五日午前十時より同工場內にて舉行し午後は慰安として娛樂を催し當選者に茶菓等を出して半日の清遊を與へた當日表彰されたものは十一名で左の通りである

精勤銀牌及特別賞金 印刷工手 裵俊瑩
同 同 金順七
效績銅牌及特別賞金 裁斷工手 金永洙
同 動力工手 中村幾
精勤銀牌及特別賞金 裁斷工手 朴鍾用
同 製版工手 韓昌玉
同 同 李寬煥
褒狀 印刷工手 佐藤學
同 同 張樂吉
同 裁斷工手 金丁順
同 裁斷見習 金銀開

大連實業野球團入城

傷害致死の罪

十錢の貸金から マコー二個代をよこさぬと蹴殺してしまふ

京畿道高陽郡延禧面阿峴北里七二鄭貴鎭は九月二十二日午後十一時半頃同里徐三用にマコー二個代金十錢の貸があるのを請求したところから喧嘩をはじめ徐は胸から下腹部を蹴られたため府立病院に入院加療したが十月六日午前九時遂にこれが因で死亡した加害者は傷害致死犯人として目下西大門署に留置取調べ中である。

元刑事に懲役六ケ月

慶和女子學校[illegible]より金十五圓を詐取した元京畿道警察部巡査李[illegible]に對する判決は七日午前十一時京城地方法院で判事[illegible]係りで懲役六ケ月を言渡した

ユンゲル機 リスボン着

【リスボン六日發】大西洋横斷飛行の途にあるユンゲル型ドイツ水上飛行機はリスボンに到着した

舅殺しの嫁 送局

京畿道廣州郡[illegible]李在福は本年三月中旬同面同家に入嫁して以來どういふものか舅とは折合惡く風波の絶え間がなかつたので大膽にも殺意を生じ機會をうかゞつてゐる內九月九日午前九時頃マラリヤにて病臥してゐる舅に湯を求められたのを好機となし煮えたぎる湯を注いでこれを飲ませたので舅は同日午後七時遂に死亡し事件を探知した所轄署では嫁を留置取調べ中であつたが六日一件を京城地方法院檢事局に送致した

新進の遞信軍と 强剛大實の對戰

ファンの期待は愈よ加はる あすの大野球戰

朝鮮での初頭戰で全釜山軍を十二A對零で一蹴し、さすがに超野球の威力を見せた大連實業軍は、けさ入城して、落ちつく暇もなく强鐵龍鐵軍と對戰したが、明八日の敵手は、新進の强剛遞信軍である。遞信軍が、本社の爭霸戰で終始堂々たる武者振を見せ、その後强敵龍鐵軍を僅差の熱戰で破つたことはファンのひとしく知るところ、しかも金田投手が最近驚くべき進境を見せ、充分の自信を得て來たことは遞信軍として百萬の味方を得たやうな力強さを感じて居るのである。彈力性に富んだ守備においては全鮮第一と稱しても過言でない遞信軍が、大連軍の健棒に對して鐵壁の守備を見せるとは想像に難くないが、大連軍は日本一の借手陣を有して居るのでこれ又遞軍の乘ずる隙を與へないであらう。大連軍は第一日の對鐵道戰に岩瀨(東谷口)投手を立つれば、明日は山本、田中、西村、田岡、田部各投手の中から選まれるであらうが、いづれが立つにせよ、京城のファンには親み深い老巧と新進の投手であり、殊に今回新に東鐵から實業團に入つた宮武選手などがあり、ファンの話題となるべく面白いゲームが見られるだらう

八日午後三時半から(京城運動場で)

遞信對大連實業大野球戰

觀覽料ネット裏一圓、普通五十錢、學生三十錢

元山港外の夕暮れ

大實野球團 けさ元氣で入城

健鬪を自信して 氣焔萬丈の有樣

大連實業野球團は、岩瀨投手の出身地といふ縁故で、オール釜山軍と六日午後四時から大田公園グラウンドで一戰を交へたが太連軍の猛棒すさまじく本壘打二本を飛ばし、安打を連發して十二點を奪ひ一方釜山軍は岩瀨投手に全く打棒を封ぜられ十二A對零で大勝を博し、さすがに超野球の威力を示して同夜直に北行、今七日朝京城驛に到着したが京城驛前の他多數の出迎へを受けておのおの元氣にあふれて健鬪を自信してゐるかにみえ勢ひすさまじく自動車で笑福旅館に入つたが宮崎マネージャー安藤主將は交々左の如く語つた「フレスノ野球團からきいて我社が既に半島の運動界につくしてゐられると承はつており、また朝鮮のチームは强いときいてゐましたが今度內地に遠征して大每の通年に一層くわしく聞いて居ります、從來の內地の

入鮮の匪賊 歸順を申込

對岸逃走に失敗し 渭原警察署に

【新義州特電】過般來捜査隊に追ひまくられてゐた匪賊三名は國境警備隊を突破して對岸にのがれんとあせつてゐたが、つひにのがれ難きを知り七日渭原警察署に歸順を申出た、彼等は拳銃三挺を所持し數回警官隊の爲にうたれて銃創を受けてゐるものもあつた、目下同署では取調べ中

三人組の强盜 送局

先月廿五日午後八時頃、京畿道より京城に通ずる元山街道の傍川附近を通行中の男を脅し同人を縛して崖下に追ひ落し金八圓二錢入りの財布を強奪逃走した三人組の强盜の犯人は去る廿八日鍾路署に逮捕され嚴重取調べを受けしめたが[illegible]

スリの親分 逮捕さる

鍾路署では去る六月廿一日大田驛前の結果十數名のスリ犯人を檢擧したのは當時報道の通りであるが、同スリ團の首魁[illegible]金萬石は就職の際府內より逃走姿を晦ましてゐたが六日朝鍾路署に逮捕された彼は嘗に數多の乾分をあやつつてスリを働かしめ罪惡を重ねてゐたもので七日まで自白しただけでも本年五月以來の被害金額は六百圓におよび[illegible]

廿數回に亘り 軍需品を盜み出す

海軍高等官四名が首謀となり 横須賀軍港內から

【横須賀電報】海軍高等官四名が首謀となり橫須賀軍港の嚴重な警戒を破つて二十數回にわたり軍需品を盜み出し船に積んで逃走した事件が發覺した內容は秘密にされてゐるが一味は御用商人と結託し盜み去つた軍需品の價格は約二萬圓に上ると

太平洋飛行に 十萬圓を寄附

多木代議士正式に申込む

【東京電話】兵庫縣選出代議士多木粂次郎氏は六日午後三時報知新聞社を訪問し太平洋橫斷飛行に十萬圓の寄附を申し込んで來た

卒業者が 調停に立つ

中央高普盟休事件

京城中央高等普通學校盟休生は同校の卒業生一部有志が調停すべき狀態にたちいたつたので六日午前十時同校に會同し善後策について凝議した結果雙方の意嚮を調査すると共に意見を聽取して[illegible]學校當局は學生に對し犧牲者[illegible]

少女の家出

京城[illegible]の娘(一五)は六日午前十時頃家出して行方不明となつた[illegible]

唐辛子泥棒

[illegible]京畿地方法院檢事局に送致した

兇漢羅の長男 父の遺留品受取に出頭

昨年末爆彈とピストルを携へ東拓を襲つて七人を殺傷し自殺を遂げた兇漢羅錫疇の遺留品受取りのため同人長男羅王[illegible]は四日黃海道載寧郡からひそかに來城六日鍾路署に出頭同夜逃げる樣にして歸鄕した

本能寺の法要

京城黃金町六丁目の本能寺では二世[illegible]日上人の第一周忌大法要を修行する由

ヤンキース再勝

【ピッツバーグ六日發】世界野球選手權試合第二日の試合は左の成績に依りヤンキース軍の再勝となつた

ヤンキース 得點六 安打十一 過失ナシ

パイレーツ 得點二 安打七 過失二

明日(八日)

▼本社主催大連實業對遞信局野球戰(午後二時半から京城運動場)

▼長岡外史將軍航空講演會、午後八時から本社來青閣

▼專賣支局職工慰安會(午前九時から京城運動場)

八日(土)九日(日)兩日 パテーベビー映畫の夕 午後六時より三階にて開催 京城 三越呉服店

紛失株券無効公告

天第五號二株券池田捷司殿名義株券紛失ノ旨屆出ニ付故障ノ向ハ來ル十一月八日迄ニ申出ラレタシ期日後ハ右株券無効トス

昭和二年十月八日 株式會社朝鮮商業銀行

記者御注意

[illegible]

天下之公論社 社長 百田[illegible] 大邱市[illegible]町七

計算事務の機械化

國產の權威 タイガー計算器

お面倒ナ計算事務ニ徹底的ニ解決ノ鍵ヲ與ヘタ逸品デス

カタログ贈呈

御一報次第現品持參御說明イタシマス

朝鮮總特約店 京城本町二 熊平商店 電話本局二四一三・二一五一 振替京城二二

鐵路鋼、鑛道、鑛山 土木建築材料 パイプ、機械、工業用附屬品

S 角野商店 朝鮮釜山幸町二丁目 電話長[illegible] 振替京城一三[illegible]九

米酢 菊菱

味も名も良い 菊菱は

釜山本町四丁目 林酢釀造場へ 御注文を御願します

宮崎式ペーチカの御用意を!!!

木枯吹く野分の季節が近づき聽て耳を切る樣な嚴しい寒さが參ります 採暖裝置は何んと云つても永い經驗の有る宮崎組に限ります

帝國發明協會 有功賞受領

年々改良を加へて居ります實物御覽下さい

元祖 ペーチカ

特許宮崎式ペーチカ 新案登錄ペーチカ 各種煖房裝置 衛生水道工事

京城府龍山驛前 宮崎組本店 電話龍山八四二番 振替京城五四〇九番

京城本町 販賣部 電話本局二八八九番

呈進錄型

御家庭で實によくあたゝまる温泉が出來ます

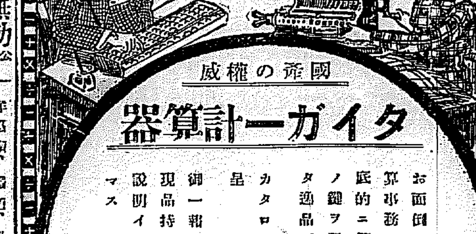
總督府專賣局製 浴用蔘精

▽一回の使用量は浴槽に一杯 ▽浴後いつ迄もぽかぽかくいたします ▽肌がなめらかになります ▽白粉がよく附きます

冷え症の方、胃腸病の方、婦人病の方、神經痛、リウマチスの方、腎臟病の方、御肥滿の方……は毎日蔘精温泉におはいり遊ばせ

電話ハガキで御注文下さい 市內は配達いたします 本ブラの節は御立寄り下さい

發賣元 貴生堂藥品店 京城本町二丁目 電話本局一三八番



期日　十月九日（第二日曜日）
時間　【往】午前八時五分京城發、同九時四十三分開城着　【復】午後七時五十二分開城發、同九時三十分京城着
場所　開城彩霞洞大栗林

開城栗拾ひ大會

會費　往復汽車賃栗拾券合せて一圓九十錢小供は半額
主催　京日アルコウ會

會寧崔氏の窯　淺川氏製作の壺　京阪城三地で展觀

「咸北會寧の朝鮮陶器窯元崔晃默氏は中央試驗所窯業部出身であつて同地に大規模なる窯場をもち一族および使用人合せて百十余名を指揮して陶器の製作に熱心してゐる。」

こゝにおいてか、朝鮮美術の先覺者淺川伯教氏ははるぐ崔氏の窯場を訪れ親しく月余にわたつて製作に沒頭してゐたが、その製品のうち優秀百點を移出し來たる十日より十九日までは東京三越で、同下旬中は大阪『三越』で、更に十日よりは京城『三越』で展覽會をひらき一般の批評を乞ふことゝなつてゐる。北鮮では陶匠と稱られ龍眠では店頭と裏まれてゐた斯業の向上發展をはかりわが半島の特産たらしめやうための淺川氏のもたらす功績は大きい。賞讃するところ尠少ではない（寫眞は崔氏の窯と淺川伯教氏）

左り黨は免疫性を破る
血清學上の新しい研究

最近醫學の研究によると酒はわれ〳〵が享受したる先天的なる細菌の免疫を破壞するもので人體又は動物體の體重一千瓦に對し〇、一瓦の酒精、卽ち體重約十五貫目の人に日本酒四分の一合位（含有アルコール約六瓦）といふ小量を飲用せしめた場合その人の血精がもつ免疫力がチブス又はコレラ菌等に對していちじるしく減ずることをライチーネン氏が證明した。しかるに又慶應北里研究所の柳澤博士も又殆ど同樣の成績を動物試驗によつて證明した。又免疫に關係深い白血球卽ち喰菌細胞の喰菌作用も少量の酒精によつて大いに減じるものであるが、更に又赤血球も破壞され弱くなる事は大阪の三田谷博士によつて證明された。かくの如く人は飲酒によつて傳染病の感受性を增し、かつ一度罹病するやその抵抗力さへも減ぜられるものである。ゆえに傳染病豫防の目的を以て飲酒し又は赤酒やポートワイン、ブランデー等を藥用として與へるが如きは最も愚劣極まる危險千萬な事で從來幾萬幾千の人をこの無知識のために殺してゐるかは計るべからざる事である。統計に從へば飲酒家は禁酒家よりもいちじるしく短命なること（約二十％）飲酒家は禁酒家よりも十三倍も多く病氣に罹ることは殆ど總ての病氣が飲酒によつてその症狀の增惡するを認めしむる等皆前述した血精學の成績と臨床的實驗との符號する事實を示したものである。

難きを爲し遂げた　禁酒の第二師團
犯罪數も花柳病も減る

禁酒々々の聲を聞くこと近來益々多きを加へたかの感はあるが、その實行にいたつては個人的にも團體的にも甚だしく容易ならざるが爲に、これを斷行するものゝその數の大なるに比して多からざるはうらむべきではあるが、こゝに從來かゝる方面には得て無視されとして見られてゐた軍隊部內においてしかも大きな師團においてこれを斷行した事があることは今日の時勢から見て實に貴重に價するものであらうと思ふ、それは東北の雄たる仙臺の第二師團において今年初頭當時の師團長井上一次中將の命によつて新入營兵に對する禁酒禁煙を斷行せしめ來つたが、聯隊に於ても軍醫部においては軍醫平塚少將七氏を班長とせる禁酒班があつて成績を擧げ、聯隊長高城直吉大佐の禁酒主義と相まつて同聯隊は率先して今春四月より營內から酒を一掃し、酒保においても全くこれが營業を禁じて、これが機緣となり第二師團の各隊は次々に禁酒を斷行し酒保から酒を除き去る等第二師團は全く禁酒師團となり、その結果は早くもあらはれ、犯罪は激減し、新たに花柳病に罹る者は絶無となり、その成績全軍の首位を占めるに至つた。井上中將がこの禁酒禁煙の英斷を行ふたことは氏の良兵良民主義の立場からするものではあるが、今年は恰も藩閥に當たり、特に飲酒をつゝしみ、犯罪の絶無を期するべしとの命令より年頭に訓示を示したと若々純年兵に對する禁酒教育を進め、今日の成績を見るに至つたものであるといふ

滋味深い　栗の話
栗の榮養價　大部分澱粉

栗は秋の果物として、或は燒き栗とし、或は御飯にたきこんで栗飯とし、又はきんとんとして賞味される處であるが、栗は果物としては他のものとは大部趣つた性質を持つてゐるのである。卽ち果物は一般に水分を多く含んでをり、大抵八十％以上の水分がある。特に柑橘類や梨・林檎等はそれが多く絞れば汁が出るのであるが、こゝ栗の實だけはどんなに絞つても中々汁が出ない。これは栗には僅く五、六十％位しか水分を含んで居ないからによるのである。又果物は一般に甘味を持つてをり同時に酸味を含んでをり梅などは最もそれが強く、ブドー等も相當に含んでゐるのが普通で、バナヽにしても一寸味覺には感じないがやはり酸味を持つてゐるのである。しかし栗には酸味がない、柑の實もやはり同じである。甘味にしても柿などに比べると遙だ少い。甘栗太郎など、謂へてうつてゐるのは砂蜜で甘味を付たものなのである。なぜ栗は他の果物と性質をことにするかといふと、他の果物には蔗糖酸が澤山にあるか、栗にはこれがない。同時に糖分が少いので甘味に乏しいのである。かやうに栗には水分に乏しく糖分も割合に少く、酸は殆どないのであるが、栗は大部分が澱粉から成り立つてゐるのである。澱粉には味がないのでつまり栗の味が淡白なのであるが、この澱粉を含んでゐる爲に米や麥の代用となるから甚だ重寶な果物といふべきである（澤村博士談）

ニコチン中毒は　徐々に來る
煙草を喫するのは煙草中毒の禮讃者

阿片の害は酒や阿片やコカイン等に比して極めて徐々としてゐるから余り注意をしてゐる人は少いが決して馬鹿には出來ない、第一不純物で酒やその他の物よりも習慣になるとなか〳〵斷つ事が出來ない。從つて每日々々少しづゝ受けるニコチンの害が積り積つて遂に麻痺の狀態になつてしまふ。だから喫煙しないと氣持が出ない事の狀態になつてゐながらもほニコチンには中毒はない。タバコを吸はないと腹も空らないといつてゐる人達もすでに中毒してゐながら自覺してゐないだけの事である。ニコチンの毒は燃燒の度合に反比例するもので、よくかわいてゐるタバコには少くやゝ濕りがあるほどその量が多い。一本のタバコに點火すると、その燃燒によつて一部分のニコチンは失はれるが大部分は煙となつて吸はれて行く、吸はれた煙が唾液中にとけ、咽喉を通つて胃の方へ降りて行く、その際におよぼす作用はまづ鼻の粘膜を刺戟し更に神經を刺戟するから咽喉、胃、腸においても全く之れと同じ作用をするのでこれが度重なれば皮膚粘膜はこの刺戟を受けなければかへつて固有の活動をはじめないといふ結果にさへなつて來る。それまでになるにはすでに消化器は不消化にならされ神經は自然に無感覺になりつゝあるに、殊に空腹の時や朝のさめた時においしい〳〵と禮讃しつゝ喫煙するなどは中毒そのものを禮讃しつゝあるのと同じでさうした時の害は他の場合に比して大であることを忘れてはならない。

子規忌連夜吟
―第十夜草佃居―

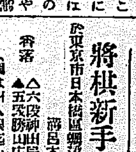
△秋簑や小蟲も來ずなりぬ　小原臥牛
△屋根に上り窩を作る夕燒美し　池端南木子
△朝々來街路樹の枝落し去つた　中津蒔郎
△柿の青い皮や机の下の柿の青い　大久保草笛
△草賀ばむ日暮の人があるき　相澤しげる
△白の鼻夾菊一輪つまみて草の上にも　中村鳥
△菊見世まわりでし外のみち　岩淵山奥水
△來る續き今日立てし戸の外　早川靑仙

將棋新手合（一）

於東京市日本橋區蠣殻町一の四　讀賣木將棋所

香落　△六段　神田辰之助（大阪）　▲五段　勝山正次郎（千葉）

（圖は四八銀迄の局面）



持駒　▲勝山氏　ナシ　△神田氏　ナシ

△三四歩　▲七六歩　△四四歩　▲二六歩　△三二銀　▲二五歩　△三三角　▲一六歩　△四二飛（イ）　▲四八銀（ロ）　△六二玉　▲六八玉　△七二玉　▲七八玉　△九四歩　▲九六歩

評　神田六段は大阪棋界の闘將で目下讀賣新聞主催全國六段勝繼戰に上京している氏は力戰型に七段級で特に下手を御するに妙を得ている

（イ）上手方四二飛は力戰趣向にて下手が端より急戰するを避けて輕く中に寄る手である

（ロ）下手方四八銀と上る處一五歩と突けば四五歩と指されるので受けるのは至當である

（以下次號）

琴古流尺八演奏會
八日公會堂で

琴古流尺八界で琴古流の正統古木竹藏氏の孫ゆる竹陽氏は師父竹陽のあとによりて十月八日（土曜日）午後六時から公會堂で秋季大演奏會を開催することとなつた氏は琴古流の宗家川瀨氏の直門として秘傳の奧傳取得の資格として名をなし現に雅樂町三丁目で子弟の教授に努めて居るなほ演奏曲目は小松の曲、雪の曲、秋の曲、その他本曲三曲は何れも當地一流の名手揃ひである

JODK　プログラム

十月八日（土曜日）

午前九、四〇　相場放送
午前一一、〇〇　料理獻立、日用品値段
1　鮪の揚肉和へ　2　胡瓜卵とぼろの腕盛
午前一一、二〇　相場放送
午後〇、三〇　講演
『秋の金剛山』　李潤鉉
朝鮮佛教大會の幹事で常に朝鮮佛教の布教發達にジンスイしてゐる人で、この人の話は獨特な古談等は素人離れがしてゐる。秋の紅葉した金剛山の狀景を手にとる樣に觀賞される事になつてゐる。
午後一、三〇　天氣豫報
一、四〇　相場放送
三、四五　ニュース其の他

―夜の放送―

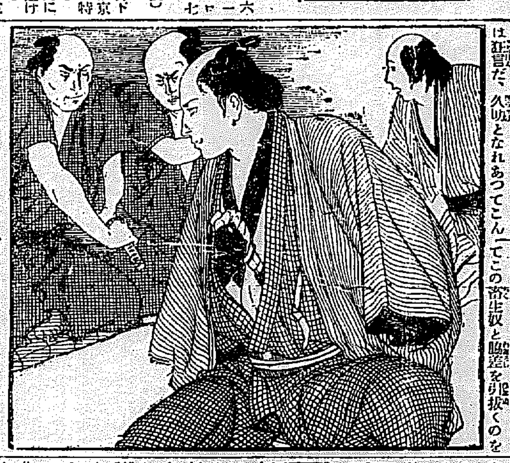
午後六、〇〇
▲少年義談『友の爲なら』　李定鎬
朝鮮の小供雜誌『オリニー』の編輯をしてゐる人。
▲映畫解說『毒蛇』　成東鎬
C.S管絃團伴奏
同氏は朝鮮劇場の解說者です
▲ニュース其の他
▲運動講座　體育としての柔道　倉田健之助
倉田氏は京城中學校の柔道先生で斯界の猛者です。倉健と云へば泣く子もだまるかどうかは解りませんが兎に角强い事は評判です。先生が自頭の柔道が體育として如何なる効果、如何なる價値があるかの組織立つた研究を講演される事になつてゐる
▲筑前琵琶『師丸』　法吉山　本田旭映　佐濃山　阪堂旭秋　法話山　泉田旭房
本田旭映さんは京城旭會の筆頭として一方の旗頭であります。澤山の弟子を持つて藝道への精進をつゞけてゐる。阪堂旭秋さんと泉田旭房さんは共に旭映師の秘藏弟子でまだ子供ですが天才的技は大人を凌ぐ將來が囑されてゐるとか
▲連續ラヂオドラマ（後編）　安田國彥外
月形半平太
東山双林寺內長瀞の大會議　一場
洛北松ヶ崎大雅院暗闘　一場

水害義捐活動寫眞

過日京城劇場で開催した在城興行團體の義捐興行收支は次の如くで純益金は非常の好成績で左記の通り災害地へ送附したと（成興）

▲收入の部　一金六百十六圓九十錢
▲支出の部　一金壹百八十圓六十八錢
▲差引純益金　一金四百八十六圓二十二錢
▲分配內譯　一金四百圓　熊本縣下へ　一金五十圓　長崎縣下へ　一金三十六圓二十二錢　福岡縣下へ

荒浪地獄（九一）
悟道軒圓玉述　藤井暢滄畫



武佐の五郎兵衛の子分源太郎は庄吉がまだ若いとみたから、『オイ、そこの若い人。余計なことをするとかへつてためにならねえぞ。お前の上で取られた金を返したとなると俺の親分の恥になる。また旦那方が返すといつたところで、俺たちが返させることは出來ねえ。なア喜代造』『さうだとも、それに俺のみたところこいつは狂言だ。久助となれあつてこんな芝居をいつて來たに相違ねえ。どこで水を浴びたか、大方井戸の水であらうが、そんな狂言をしねえで、どうぞお小遣ひをおくんなせえと下から出れば、五百や一貫は呉てやる。さア〳〵早く歸らつしやい、長居をするとためにならねえぞ』庄吉それを聞くとムッとして庄『ナニ狂言だと、よし俺が久助に取られた金は出してやる、さア久助さん、こゝに十兩二分あるぜ』久『イエ、貴下から頂いては濟みません』庄『まアいゝからそれを持つて早く歸れ。これから俺がこいつらに談判してやる。ヤイそこにゐる源太とかいふ奴…』源『何だ奴とは……』庄『汝は途方もねえことをぬかしたな。さア今度は俺が相手になつてやる。旅でこゝの堅氣は殺らずもらつて行くからさう思へ。こいつら靜かにしろッ』と懷中に手を入れるとギラリ引拔いた匕首、かうなると庄吉は本性をあらはした、それを見た源太郎はやれ喜代造け、『この野郎、しやれた眞似をしやアがる』と脇差をとつて立上つた。ソレ喧嘩だと旦那方は此騷動から飛び出た。その時久助は自分を助けて異た庄吉に加勢をして脇差を取つてサッと源太郎の足を拂つたからバッタリ倒れる、喜代造はこれを見てこの畜生奴と脇差を引拔くのを何々すると又拂つた。腰を强く打たれてヒョロ〳〵とよろめくドンと梗に當たるとバッタリ外れて次ぎの間に轉がり込んだ。その間に庄吉はそこにあつた馬鹿を掻き集めて懷中に入れ、庄『さア久助さん、早く引上げろ』久『ハイ承知しました』といひながら煙管を拾出して障子を下り、庭から裏に飛び出しました。庄『イヤ大きに御苦勞、お邪魔があげてくれたので仕事は樂に行つた。いくらあるか知らねえがこれだけは小遣ひにやる』と懷中からつかみ出した金、久助はホク〳〵しながら、久『これはどうも有難うございます。大きに面白うございました』庄『俺はこれから武佐の宿まで行つて泊るが、お前は草津に歸るか』久『ハイ、主人にかけ先の金を渡して私も直に逃げ出します。何しろ五郎兵衛親分の世話をしてる內で飲んだ金をさらつたとなると私の身も安全ではゐられません、どうぞアあなたも氣をつけて下さいまし。ついてはお名前は何とおつしやいましたか』庄『俺は庄吉といふ者だ』久『ハア庄吉さんデへお別れ申しまする』と久助は暗闇に紛つて行く。庄吉は守山を後にしてその夜の中に武佐まで來て泊り、翌日は越知川から高宮よで來た。もうこゝまで延びてしまへば大丈夫とそれとなく大阪の方の容子を探ると、まだ隱しをいと〳〵嚴重との事。入る旅人は嫌はぬが出る者は一々吟味してゐるといふ、早くこゝまで來てしまつてよかつたと思つた。その晩旅籠といふ旅籠に泊つて夕飯を濟み、膳をひかれたらとで、庄『守山からさらつて來た金はいくらあるか。賭場に財布に投り込んでしまつたまだ勘定もしてねえが、百兩位はあるだらう』と懷中から引出した財布、紐の上へザラ〳〵とあけた。するとこゝに泊つてゐたは大阪から來た役人で四日前より追つて來た役人大崎源十郎といふ者。山崎は逃がしてしまつたがこれより大阪に戻る途中、目明しの仙三に辨吉といふ二人がついてゐる。この趣の暗奉行と連つて大阪奉行所手附の者といへば權勢旅では顔で通れる位の人物である。その手附の仙三が庄吉の隣に泊つて居たのである。そのやうに金で見逃して貰つたりすることはできない。それゆゑ恐れてゐる。その手附の仙三が隣所に來てゐるので障子の下まで來ると『チャラ〳〵』といふ音が聞こえた。

十月八日（舊暦九月十三日）土曜　▲四綠　▲乙亥　▲先負　▲女宿　▲滿

▲四綠　藝能は好きさうで他際はうまく行かない日　坤と北と壬が吉
▲五黃　浮ツ調子な日我意を通さうとして失敗する　北と西と艮が吉
▲六白　まめやかに立働いて目上の引立を受ける日　東と坤と艮が吉
▲七赤　出過ぎては頭を壓へられる居所內にして有利　南と東と西が吉
▲八白　足元の見えぬ事がある日愼みを缺な　丙と東と西とが吉
▲九紫　勇往邁進すれば凶も吉となる
▲一白　鬱陶の日大規模の計畫は自己の失物心　東と甲と丙が吉
▲二黑　迂闊にして邪道に踏入り易い世話事は禁物　北と南と艮が吉
▲三碧　積極に活動して望外の利を占む旅立は吉　北と壬と北とが吉

京城黄金町三丁目　花月食堂　電話本局三五〇九番

京城明治町二丁目　佐々木胃腸病院　入院隨意　電本三八七三　一七六

府及各道郡御指定
ニノミヤ式石油發動機
ニノミヤ式製粉精米兼用機
同セントリヒユーガルポンプ
同バーチカルポンプ
精米麥粟稗脫各種
製捌機各種右波額提供

ニノミヤ式
4,5,6,8,10,15,20,馬力
在庫品豐富
【星號銘型】

地方特約店募集
京城府西界洞三二　京城鐵工所
京城驛前　京城鐵工所營業部　電本局九四一番

儲ケ百五十圓
無類の日用品季節的許可品で販賣所募集す（二錢切手封入申込者へ詳細無代送）
名古屋市中區裏門前町　合資會社　丸八　電話南局二八九四番

內科胃腸科　膀胱泌尿科　花柳病
京城本町四丁目百五十五番地　北島醫院　電話本局二三七四番

貸家　旅館として絶好の建物　四階　位置は京城府中央　眺望　低廉　淺岡

生殖器の最新科學
三たび變化した學說
―發明の恩惠―發育强健法―

昔の人は、人間の精神智能が胸にあるものと思つて居たので「男は度胸よりも腹三寸」と云ふ古い諺もあるが、近世醫學の進步に依り、精神智能は胸にあるのではなく頭腦にあることが闡明され、アノ人は頭がよいから成功するとか頭が惡いからダメだとか云ふ樣になつた。然るに最近に至り醫學は更に進步して腦は生殖腺の內分泌をうけて働いて居るから、生殖腺は人間の活力、能力、精力、膽力、智力、記憶力の根本であることが闡明さるゝに至つた、それで生殖器の發育をよくし機能を强くすることは人生無上の幸福を全ふする以上に處世上ヨリ重大なる意味を有するのである。各國の學者に於て驚くべき發明特許で大金牌を受領せる有名なる眞空水治療法器は、男子の生殖器へ輕便、確實、安全に、自分で使用すること一回僅に五分間宛

忽ち微妙なる理學作用の吸引力を生じ、神秘的エンツンデユング作用により見る間に陰莖の海綿體へ鮮紅の血液を流入し、血肉細胞の活躍により十二分に筋肉を緊張せしめ精力を旺盛にし、一回每に著るしく發育を促進して弱小も着々强大になり遺精、早漏、陰萎、手淫過度の害、神經衰弱も復活すると同時に腦力も增進し記憶力、判斷力になり、增進する事が出來る、醫學博士も推奬せられ殊に學界では好評を博して居るのである

八東京新療法研究所か大阪市堂島中二丁目三三同所大阪支部宛に直ぐハガキを御出し下さい、非賣品圖入說明書を全部無代で他人に分らぬ樣用意周到に假名で送呈します。○眞空水治療法器は定價金四圓八十錢　包裝安全

定價　十五錢

溫泉旅館　東萊溫泉場　荒井旅館　電話八番
諸官衙御指定　釜山驛前　荒井旅館　電話二七四・二七六番

外科內科　皮膚科　エツキス光線ヂアテルミー科　隨意入院
京城旭町一丁目舊府廳裏　島崎病院　島崎龍一　電本局一九三六・二六七三番

文化夜具入

旅行の時御嫁入の時非常火災の時上等夜具保存に長持代りに無くてはならぬ最も便利な極めて安價な經濟的文化夜具入れ
生ズック上　三枚入　四圓五拾錢　四枚入　五圓　五枚入　五圓五拾錢
茶帆布上　三枚入　五圓　四枚入　六圓　五枚入　七圓
帆茶布別上　三枚入　六圓五拾錢　四枚入　七圓五拾錢　五枚入　八圓五拾錢
（外に三本締革附あり締革附きの分は各々壹圓上り）
製造販賣　京城本町一丁目　高木鞄店　電話本局二三五四番
（地方の御注文は代金引替にて送ります）

お祭衣裳破格賣出

八日ヨリ二十日マデ

安値を通り越した破格提供
見切反物……實用銘切澤山
秋のお祭の御晴衣を一きわ美しく飾る優秀新柄衣裳を揃へしかも新商品を破格の割引にてお頒致します此際是非御光來御用命の程を……

丸一呉服店

飽く迄鮮米買上 の要望と本府の具體案

目下農林省と折衝中

總督府では鮮米の增收による出廻期の米價暴落を豫想し、政府の買上米中に鮮米を加へられんことを希望してゐるが、農業當局では米穀法が鮮內にその効力を及ぼさぬのを楯に鮮米買上を躊躇してゐる形勢にある、併し總督府では甚だしく憂慮し昨年の出廻期に三百萬石の鮮米が內地に移入されて內地米價を攪亂した實例に鑑み、本年は裕に四百萬石の移出が豫想されてゐるので、斯くては內地米價の混亂は火を見るよりも明かである依つて鮮米の買上げは刻下の食糧問題解決の上から是非實行されたい旨の詳細な理由を付して六日目下東上中の渡邊農務課長に打電し極力農林省當局の意を動かすことになつた、併し鮮米買上げ要望に對し總督府では第一第二の兩案を有し第一案が萬一容れられなかつた場合は第二案によつてもその實行を迫らんとするもので、第一案では鮮內に於いて鮮米を買上げ之を鮮內倉庫に貯藏すること、第二案では大阪市場にて鮮米を買上げ之を大阪に貯藏することで買上米の數量は多い程良いが大體に於て政府總買上米の約四分の一乃至五分の一位の見當であると

上斷鐵の古宇田事務官滿洲に出張中なので當分委員會を開くことが出來ないらしい、なほ銀行の希望低利も未だ各組合銀行に配付する運びに至らないので結局答申案は遲れる模樣である。

漁油資金動く

金融界は愈々繁忙期に入つたが、昨今北鮮の漁油が出盛るやうになつたのでこの方面からの資金需要も旺盛になつた。北鮮の漁油は年額二百萬圓以上で、主に神戶東京方面に石鹸の材料等として每年移出されてゐるが今年も九月中旬頃から移出され出し今では相當に移出引合が多いので勢ひ資金の需要も旺盛である、京城の一銀支店だけでも既に二十萬圓見當の貸出を見たが一銀支店は信用狀の關係で單に中繼的貸出に過ぎず北鮮の鮮銀殖銀等は直接取引が出來るので、每年百五六十萬圓の貸出があると。

上海航路 活況を期待

米は端境期商品界は閑散のため目下朝鮮滿洲航路は不振を極めてゐるが、獨り朝鮮上海航路のみが最近日貨排斥、財政難の時止で前航海以來漸次活況を呈して來た、四日仁川に入港した郵船の平安丸（千六百トン）は上海からの葉タバコを積載してゐたが、六日仁川、群山の時には近來不振の仁川から珍しくもリンゴ、松の實、百トン、海苔から砂糖八百トン、リンゴ木炭二百トン、釜山から海產物、陶器類百トン合計一千二百トンの積荷があつた、復航には上海から葉タバコ・棉花等の豫約もあり、十一月になれば棉實粕、線棉粕などの輸入も旺盛となるので、他船の閑散期に比べてこの點のみは目先非常な活況が期待されるに至つた

新米への對策と 鮮米の調節策を

農林省から本府へ傳達

【東京電話】政府の新米對策は愈々其の大體方針に決し來る十五日米穀委員會に諮問することゝなつたが、單に新米の買上を以つてしては此の大勢喰止めに至難と感ぜられるので、更に其の一方策として鮮米の內地移出米に對し追防止手段につき特に之が調節方を六日農林省より朝鮮總督府對策交渉を開始するに至つた、朝鮮の本年產米豫想は一千七百萬石の大豐作で、この分で行くなら優に五、六百萬石の朝鮮米が內地市場に流入するものと見られてゐる、これに對し一方では朝鮮へ安南暹羅から支那米が盛んに密輸入されてゐる現狀にあるので此の際朝鮮總督府をして

一、支那米の密輸入を斷然防止する
二、總督府の鮮米買上に依り鮮米の內地流入を防止す

の二方策を實行させて朝鮮米の內地米價攪亂を防がんとするに外ならぬ右は山本農相の發案に係り未だ曾て前例を見ぬ方策であるが、尚根本策としては將來朝鮮に國立米穀倉庫を建設し、米穀法適用の範圍を各植民地で擴張しやうとするやうである

油屋サンの 油汗

自動車がふえて揮發油の需要は激增して來た！京城府內だけで一ヶ月二千五百罐の揮發油が飛ぶやふにうれる▲しかし金が這入らないので油屋さんは大弱り▲ひどいのになると、但しこれは東京での話だが自動車のモットーとして油代を拂はぬのと借金の多いのが自慢の一つで今や自動車の競爭でなく借金の踏み倒しの競爭が流行しそうな塩梅になつて來た▲京城もこれを自慢するのが御多分に洩れずこの風潮が漸く多くなつて來た▲然しそれの際錢があれば賣らぬまでだが、それでは商賣がない、相手の喰ひ下りと踏倒されて油屋サン油汗を流してゐる

鮮米の 鮮內消費減少

推定消費量如何

鮮米は鮮米增殖計畫の實施に依り逐年著しい增收を以て收穫の增加を見るべく期待されてゐるが朝鮮に於ける消費の狀態から觀ると、過去の事實は人口の增殖に反比例して一人當り推定消費量が漸減してゐる、即ち明治四十三年以降昭和元年までの各年米實收高から各年鮮移出高を差引いた額を推定し、鮮內消費量と見て一人當り推定消費量を算出すれば左の如し

	推定消費量（千石）	人口（千人）	一人當り消費量（升）
明治四十三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大正二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]
昭和元年	九、三三五	一九、〇二五	五〇〇

即ち此の事業は其の年の豐凶に關係あること勿論であるが、安價な外米、粟の如き代用食を近年著しく輸入し鮮米を移出する傾向顯著なることを證明するもので、目下問題となつてゐる人口食糧調査及び鮮米增產計畫に關する一の參考資料である

鮮米運賃問題經過

妥協成立が益濃厚

目下朝鮮が斡旋中

鮮米運賃値上げ問題について滿山下神戶に在る吉村專務をして鮮鐵局長は六日總督府に米穀組合代表者の意見を聽き來る會見に於て米穀組合側の聯絡を蕉して交渉を進めてゐるので、朝鮮總督府の調停で鮮滿鐵道の交渉を觀るに至ることになるものとの觀測が行はれてゐる

調停案は如何

鮮米運賃問題の解決案として目下鐵道方面に研究中であるが先に發表した運賃値上げ率に引下げるか、値戾し率を引上げるかの二つの道がある譯で値戾し率は現行百分の五から七に引上げてゐるので吐上引上げることは困難乍ら、運賃は仁川群山木浦阪神間十圓、釜山阪神間七圓を幾分引下げ又は聯合會からも讓り合ふとすれば、實現必ずしも困難でない樣子であるから多分妥協案はこゝに落付くのではないかと見られてゐる

內地の利下げ

一率でない

京城も之を考慮中

內地では東西兩都市の預金利率引下げに追隨して名古屋京都神戶下關、福岡、廣島、等の地方都市も漸次預金利率の引下を行ふことになつたが、茲に注目すべきは今回の利下傾向は從來の全國的一律引下げの慣行を破り東西兩都市と地方都市との引下率に夫々相違を生じ、甲乙の開きも地方に依つて區々で一定してゐない、此の點に就ては京城組合銀行でも早晚問題となる形勢が仄の見へて來た即ち京城組合銀行の甲乙區別の際は別に

組銀答申安

上述の利下に追隨するが殖銀は鮮銀と稍々立場を異にしてゐるので同行の關係金融部は利下に反對するらしく、かゝる意味に於て殖銀甲乙に區別し、支店銀行を全部甲乙に入れた點等は今後相當問題となるのではないかと見られてゐる京城組合銀行の金融調査會に對する答申案は第一回總會後一回の委員會があり委員に依つて出來た原案には修正の餘地がないと云ふに意見が一致したらしいが、その後け島原一銀支店長も東上不在だ

產業改革の爲の

組織化に就て（上）

先頃日本を訪問したドイツのハーバーといふ教授は諸工場を參觀して、日本の工場には至る所に金塊がころがつてゐると言つたが、之れは生產組織に改革すべき所が非常に多い事を暗示したのである實際產業の合理化を實現するに就ては組織の改善は最重要なる項目の一つである。如何に合同により企業の單位價りを大きくして其の直ちに能率の上るものでない。アメリカの諸業が今日の隆盛を見るに至つたのは產業合同と共に革命的に產業の組織化を行つた事が大なる原因である。幸ひ六月三日我が商工省主催の商工審議會に於て作成した調査事項の一つに『生產組織の改善』『販賣組織の缺陷調査』といふのがあるので、何とか諸に調查を遂へて產業組織化の實を擧げ度いものである

科學の研究與

さて產業の組織化と一口に言つても具體的の問題になると種々ある。先づ生產の方面から言へば標準化された製品を機械力によつて大量生產と爲すことで、之が為一に精密な設備と熟練なる勞働者を要するのは勿論であるが、之を一層精確かつ嚴密なものにするには科學研究を盛にして研究を一層徹く應用するには科學研究の發達に注意を要するのである。アメリカでは年々何億ドルといふ金が研究に使用されてゐる。而も其の金は一ドルと雖も無駄にならず凡て產業の改革となつて現はれ元へ戻つて來るのである。」

に迺しい限りで、デュポン人絹會社、ゼネラル電氣、イーストマンコダック寫眞會社等の研究室を參觀するヨーロッパ人は何れも驚異の眼を見張り贊嘆措かざる所である。斯樣に自ら研究部を備へてゐる會社は假造工業のみでもアメリカは六百を算すると言はれる。而も茲に注意を要することは研部といふものは元來自社に關係のある研究に限られてゐたが今日では最早や左樣なケチ臭い研究ではなく全く純粹な科學研究に進んで居り、研究のための研究となつて居る。然し斯樣なことが出來るのも結局は大規模產業組織の賜物である。即ち大規模なるが故に研究が絕對的に必要であると同時に、一方に於て大規模なるが故に其の經費支出の餘裕があるのであるで

米國の科學設備

アメリカの大會社の科學設備は實

內鮮 手形交換狀況

京城手形交換所調査、九月中の鮮內手形交換高は十六萬三千八百九十枚、七千七百六十三萬九千餘圓で、前月に比べ二千百三十三枚、二百三十二萬二千餘圓の增加を示したが、其の內容を見るに仁川及大邱において倶に增加し京城が三百七十四萬八千餘圓を激增したのみで、地方交換所はいづれも減少しその內譯比較は左の通りである（△減）

	本年九月 枚	千圓	前年同期比 枚	千圓
京城	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁川	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
釜山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
平壤	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
元山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

水產業の 根本的發展策

提唱さる

政府の人口食糧問題に關する調査範圍は獨り穀類のみならず畜產、水產方面をも包含せるため延いて之等の增殖問題が食糧問題に關聯して論題せらるゝことゝなり各方面で種々調査研究の步を進めてゐるが朝鮮においては既に產米增殖計畫の樹立により將來の內地の食糧問題の解決に寄與しつゝある外に更に米年度以降の計畫として畜產の增殖、雜穀の增收が擧げられ所要經費も豫算に計上せらるゝに至つたが、獨り水產方面の開發に就ては他に著しく立ち後れの感があるので關係當局及び關係者、諸團體で調查研究の步を進め斯業振興の爲めに提唱せらるゝ

は水產生產高は最近漸漸發展の急が叫ばれてゐる事實である。即ち總督府の水產生產額は最近統計によると二百萬圓の增加を示してゐるが之は水產業の根本的施設としての水產業當局の調査未だ行はれてないのでその基本調査に完了するのが急務だと云はれてゐるので、現在本府水產課の基本調査に關する施設としては二年度から實施された沿岸漁場調査のみで他に何等の施設がないから此の際調查の範圍を擴張して

一、沖合漁場探險
一、河川、湖沼養殖適地調査
一、蕃殖保護に關する調査
一、海洋調査

を是非とも速に完了して然る後に開發に關する具體的方策を決定すべしと說かれてゐる

昭和園分讓不況

さきに府內光熙町を開拓して朝鮮土地經營の昭和園分讓は、五日受渡を終つたが、五十口に對して買約濟は僅かに十六口で財界不況の結果買手が意外に少なかつた、

商況

麥粉引締る

神戶麥粉聯合會は今回相場維持の爲め六日新らたに會社渡し四圓五錢以下賣止めを協定したが、鐵道沿線神戶渡しの麥粉も同日前渡し四圓十錢と五錢方引上げたが京城市中は四圓二十五錢見當でみである

燈油需要不振

燈油は需要期に入つたが、農村の不振で購買力は例年の三分一に減じ陪內不振を喞つてゐるか、二斗入り一箱松標七圓六十錢、勝利印七圓二十錢と昨年四月改訂以來變らない

揮發油軟調

揮發油は需要が增加して來たので、各店の競爭激しく、そのため相場は十圓臺から十一圓臺に落し相場は目下石一號物一箱八圓五十錢二號七圓と沒外な低落振りである、シカモ目先な任賣合への模樣である

氣迷ひの 强保合

株式

前場 市況はこのまゝ下押さんには餘りに底意强くさりとて値頭が値頭だけに一段の棒上げも心許なく東新久原の五圓押しを入れたのみで漸く氣迷ひ步調となり寄付つたあと小穀みを見せたのみで依然强保合裡に前場を終つた▲鐘新五十錢高▲大新廿錢安▲東新十錢高▲京取同事▲安取廿錢安

後場 寄附は東新一本にて六十錢安の百六十圓三十錢と始まりアト鐘株小穀みつゝ大新は九十圓臺を、東新は百六十圓臺を夫々固つて漸落の步調▲京取出來値同事▲鐘新同六十錢安▲大新同十錢安▲東新六十錢安

こゝが岐れ路

東新と久原とは漸く五圓方下押しを見せたがまだ大新は之に追隨してゐないこゝが問題である寧ろしてはどうしてもこの邊の値頭で一押しあるべきところであるが、希望されてゐるところで又一押しを果してこちらの注文通りに往くかどうか、

强氣 としては少くとも一兩回は利を入れて懷ろ合が溫つてゐる筈であるべきだが先頭の强い氣味ちにすつかり釣り込まれて或る者は利を乘せ或る者は買直して玆許局面形に手を擲げた嫌があり、ほんとうの腹は目先の呼吸押しがあるものと豫期しつゝも引くに引かれぬ立場となつて昨日あたりもちよつと算定の附値に努力した傾があり漸く愛色が面に現はれたと

つよきよわき

株式 サア相場はいよく分岐點に立つて來た。このまゝ一本調子に直りでもしたら△それこそ盃子喇長の家を說くま

でもなく相場はブチこはしである。こゝで一服入れて△さて出直つてこそ强氣も氣持ちよい波にのれると共に弱氣も相場が持てると申すもの△双方が立つてはじめて面白い相場が見られます。上げるばかり

が相場では御座らぬ

期米 阪地高の原因は當限の俵掘りが出來たのが原因だと△この俵掘りが京城掘りになるかどうかは新米の出廻り具合一つだが△現今の新米の狀態から見ると新米が十分に間にあふかどうかは疑しい點もある△嫌しいといへば當所の當限も今の所新米をあてにしての發賣が多いだけに賣方の態度如何では面白い瓔談が見られさうだと市場の注目を惹いてゐる

弱氣

いふところで弱氣は强氣でまたもうよからぐゝて引かれぐゝて株まで深追ひし投げ返し値の小口にも居らぬ有樣となつてゐるので東內顯氣に位負けの形であり當然來るべき好機を期待しつゝ內心じりついてゐると云ふ姿であるから氣迷ひは强弱何れよりも更に甚しく旁々この所双方の氣迷ひ深甚を加ふると同時に場面はいよいよ岐路に立つて來た

飾ひ落しはある

前項の通り相場はいよいよ分岐點に立つたがわれらの觀るところでは目先當然飾ひ落しはあるものとする。その理由は一口に云へば場面の氣味ちがわれらをして斯く思はしめるといふにとゞまるが强いて之を解剖して見ればかうも云ひ得るであらうか。

（一）强氣はもはや滿喫の形にある。今日となつて見れば實力から云つて遙かに弱氣を凌駕し盡した狀態であるが別記の通り局形に手を擲げて買付けたものとすればそれの培養を欲しい貫力が實力でなくなる▲殊に一本調子に上げ相場であつたゞけに買直した手口は今の問題ければ相場を飛ばした譯であるからまろくく利を喰つてゐる者の利乘せ買直しれのいづれとも腹一杯の受太刀となつたことは想像に難からず（二）今前場の大新あたり大引九十圓四十錢と付けて算定九十圓臺に追込めれた成行九十圓を維持してゐるところが强いと云へば云ひ得るもゝ一面穿つた觀測を下せば先頭の勝勢が一寸鈍らされた譯だとも考へ得べく旁々玆許當然相當の飾ひ落しはあるべき順序と見るがさて如何

取組漸增す

先日來あの商盛を呈した商にも取組は更に殖えず寧ろ稀有のことゝ見られてゐたが昨今市況が漸く保合ふと共に場面の建玉は却つて漸

大新は逆日步

株の賣崩しを狙ふ大新は賣氣に三千枚株を支持して居るに至つた目先賣越しを增しつゝ相場は漸く强弱を大ならんとするものゝ如くである

大新は今前場帳入において久し振りに百三十枚の株不足を示し四十一錢の逆日步を附けた、その他の代引抗は双方の持久戰化にこれから漸く動き足のつかんとする振合である

手口と出來高

今前場は商ひ稍濶く一千十枚の出來高で手口としては大新に新田賣目立ち賣方は成濟二百枚、正崎ほかマバラで出來高百三十枚、東新も賣方は新田筋で買方主力は正崎出來高三百三十枚、鐘新は出米高八十枚安取は白非のバイカイで六十枚の出來高であつた

期米

引締る

前場 政府二百萬石買上の噂に寄附き小口の利喰ひ出で阪地高と前日の止値に比べ二十四圓八十八錢と前日の止値に先限二十四圓八十八錢と前日の止値に比べ二十八丁高十九錢と更に引締つて保合つたがアト阪地の仲力銘きに買方の利喰を呼んで七十八錢と押し止め際カネ太の買進みに八十八錢と盛返して前場を終つた

後場 先限九十一錢と始まり二錢五厘下げ更に押付け場面一段と硬化す

硬化す

買上の結果を 强材料視する

去る五日を以て打切りとなつた政府の買入米は合計二十一萬餘石で當初の豫期百萬石に比較すると僅か五分の一にしか當らないので成績は不良と云ふの外なく從つて之を取材料視する向もある、然し米の端境期に直面しての買上げはその潤澤な時期における（おける）と異り例令豫定の數量に達しなくとも悲觀すべき筋合のものではなく殊に百萬石の米を買はんと欲したものが僅々二十餘萬石しか集らなかつたといふ事實は一面から見ればそれ丈け持米筋の態度が堅硬であつた結

小口前れ退く

果とも云へるし又他の一面には發る八十萬石の餘力が今後新穀の最盛期に延長されると事となるから米その物の前途から云へば寧ろ强材料と見るのが至當と云ふ向もある今朝の負擔にはカネ丸店を中心とする手口は依然戾り賣の方針を持し

阪地の原因

鮮米買上氣構へ等

阪地高の原因に付き今朝報ぜられた所に依ると朝鮮米買上げ氣構へと當限の俵揃りに地場主力筋手捌ひで買進み東京筋克く賣るも利目漸く小口筋踏み上げるとある又別報に依ると政府の下米囘り約八十萬石は今後の新穀期に延長されるものとして地場主力筋の手捌ひ買に小口賣方崩れ退く向の多き結果であると

正米事情一班

群山から歸仁したカネ大店の西脇氏の談によると群山方面は既に刈入れに着手し新米の出廻りも一日一千叺から多い時は三千叺に達してゐるが先日新米が一俵に四五百丁も暴落したのはこの事情に因ると認められる市況は目下丸七三等

正米 品拂底に 續高

京城 古米在荷海の折柄新米も政府の買上說に穀物薄く精米筋の當用買を入れて二三十錢高丸キ三等二八圓三〇四等二七圓八〇地撥玄米上二八圓五〇並二六圓五〇錢一等二四圓五〇朝白米三一圓八〇粗兇物新米に二厘高古穀良八錢八厘仕來種八錢七厘新物八錢五厘大豆龍山一六圓八〇長湍一六圓三〇迎鐵一六圓四〇

仁川 丸キ角チ三等三七圓七〇四等二七圓二〇丸ヨ四等二六圓八〇今溜二八圓二〇新米四等二九圓五〇粗神力種八錢四厘仕來種八錢一厘新米十二月勝手渡し二六圓二三〇錢一等白二二圓五〇大豆長湍一六圓五〇海州一四圓八〇天安一四圓五〇白川一四圓八〇錢見當唱へであるが大豆正米共小口ながら新物の出物が弗々ある

仁川各店倭合（單位百石）

當限賣方 丸イ一二▲丸玉九▲丸マ二▲金太五▲丸福二
同 買方 丸ウ三四▲ス丸一
中限賣方 丸玉五九▲金太二〇
丸マ一▲丸イ一▲丸福一
同 買方 丸ウ八六▲ス丸五▲丸
先限賣方 ス丸八八▲丸玉五四▲丸マ三〇
同 買方 金太一四九▲丸イ一三▲丸ウ八▲丸福二

京城穀物組合建値

外米九圓三四十錢どころを唱へられ白米原料として相當に消化されつゝある、內地商人との先約の成立したものは安白米合せて五萬石以上に達する模樣であると

▲外米、ミートン二二、二〇圓賣米二一二〇▲粟、當限二一、六〇錢一、八〇四圓一一、二〇四平街一一、▲一〇北滿特一〇、六〇糯粟（新）一三、七〇▲小豆、龍山物一九、〇〇酒物一四〇〇▲大豆（新物）南鮮物九、〇〇北鮮物一六、七〇▲綠豆（蓋）一八、〇〇▲甜瓜三四、六〇▲荏子（蓋）一四五〇▲落花（新）一三、〇〇▲高粱九、二〇▲小麥（京義線二〇トン）一六、九〇▲一等麩白米二四、二〇▲薬麴白三七、二〇

仁川穀物出入（六日）

移入	米（俵）	[illegible]
	玄米（叺）	[illegible]
	大豆（叺）	[illegible]
移出	白米（叺）	[illegible]
	同二斗入（袋）	[illegible]
	玄米（叺）	[illegible]
	大豆（叺）	[illegible]

株式現物專門 大原現物店 電話一八九三番

信託業一般 朝鮮信託株式會社 仁川本町 電話一三一番

海外經濟電報

倫敦銀塊	[illegible]
紐育銀塊	[illegible]
英米爲替	[illegible]
日米爲替	[illegible]
米棉	[illegible]
印棉	[illegible]
スチール株	[illegible]
トナイツッダ株	[illegible]

對外爲替（鮮銀建値）七日

倫敦	一志十一片丁度	
紐育	四十六弗八分五	
上海	七十四兩四分三	

東京コール（七日）

翌日拂	一錢より一錢二厘
無條件	九厘〜一錢二厘
月越	一錢二厘

日銀帳尻（六日）（單位千圓）比前日增減

發行高	[illegible]	[illegible]
正貨準備	[illegible]	[illegible]
保證準備	[illegible]	[illegible]
限外發行	[illegible]	[illegible]
貸出高	[illegible]	[illegible]

鮮銀帳尻（六日）（單位千圓）比前日增減

發行高	[illegible]	[illegible]
正貨準備	[illegible]	[illegible]
保證準備	[illegible]	[illegible]

株式（七日）

京取短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
京取	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
朝紡	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三鮮新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

算定と日步

	算定	日步	代引
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
安取	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鮮綿三	[illegible]	[illegible]	[illegible]

京取短期 出來高

短期	二、四四〇枚 累計 [illegible]
長期	（〇）枚 累計 [illegible]
當日	・・・枚 累計 二、六〇〇枚

短期建玉表

	賣方	買方
京取	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
仁取	[illegible]	[illegible]
安取	[illegible]	[illegible]

大株長期

銘柄	前寄	前引	後寄	大引
大株	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大株短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
大新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
久原	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東株短期市場

銘柄		寄付	大引	高値	安値
東新	前	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	後	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

安東株式

	前日	昨日
當限	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]

期米（七日）

▲仁川

	前場 當限	中限	先限	後場 當限	中限	先限
一節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十節	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

帳入値段 當限（石中限）（石先限）（石）[illegible]
取組高 [illegible]　出來高 [illegible]　累計 [illegible]

鮮內延べ（七日）

●釜山 現物段良都 神力 出來高 [illegible]

●東京

	前場（先）	後場（先）
一節	[illegible]	[illegible]
二節	[illegible]	[illegible]
三節	[illegible]	[illegible]
四節	[illegible]	[illegible]
五節	[illegible]	[illegible]
六節	[illegible]	[illegible]
七節	[illegible]	[illegible]

●兵庫 ●下關 ●桑名

	前場	後場
兵庫 先限寄付	[illegible]	[illegible]
兵庫 止め	[illegible]	[illegible]
下關 先限寄付	[illegible]	[illegible]
下關 止め	[illegible]	[illegible]
桑名 先限寄付	[illegible]	[illegible]
桑名 止め	[illegible]	[illegible]

●大阪 現物殘良都 神力

	寄付	大引	高値	安値
十中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●群山 現物丸七三等 同四等

	寄付	大引	高値	安値
十中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一中	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●大阪

	前場	後場
當寄	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]
中寄	[illegible]	[illegible]
止め	[illegible]	[illegible]

引アト 三十五錢

●大阪綿絲

	前場 寄付	同引	後場 寄付	同引
十月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

●大阪棉花 ●橫濱生絲 ●鐘平錢

	寄付	止め
大阪棉花 前場十限	[illegible]	[illegible]
大阪棉花 先限	[illegible]	[illegible]
大阪棉花 後場十限	[illegible]	[illegible]
大阪棉花 先限	[illegible]	[illegible]
橫濱生絲 前場當限	[illegible]	[illegible]
橫濱生絲 先限	[illegible]	[illegible]
橫濱生絲 後場當限	[illegible]	[illegible]
橫濱生絲 先限	[illegible]	[illegible]

鐘平錢	前日 前寄	大引	昨日 前寄	大引
後寄	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
先限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

東京現株

銘柄	
株	[illegible]
新	[illegible]
鐘紡	[illegible]
新	[illegible]
銀	[illegible]
新	[illegible]
郵船	[illegible]
新	[illegible]
同	[illegible]
東拓	[illegible]
同新	[illegible]
富士紡	[illegible]
日石	[illegible]
絹毛	[illegible]

各地の天氣（七日午前）

東京	晴大	釜山	晴照
大阪	晴天	木浦	晴天
神戶	晴天	群山	晴天
下關	曇天	仁川	晴天
福岡	曇天	京城	晴天

胃加答兒
處方明記の◎ミツワ家庭藥卌二方の內
◎ミツワ健胃錠　二十錢　五十錢
適應症　急慢性胃カタル、胃酸過多、胃弛緩、胃擴張、胃下垂、胃潰瘍、胃痛、神經性胃痛

消化不良
處方明記の◎ミツワ家庭藥卌二方の內
◎ミツワ消化錠　四十錢　一圓
適應症　消化不良一般、過食、胃弱、其他胃腸病、食欲不振、營養不良、病後衰弱

胃酸過多症
處方明記の◎ミツワ家庭藥卌二方の內
◎ミツワ制酸錠　二十錢
適應症　酒の過飲、菓子の過食、胃酸過多、急性胃カタル、惡心、嘔吐、胃痛、吐瀉症

便秘一般
處方明記の◎ミツワ家庭藥卌二方の內
◎ミツワ緩下錠　二十五錢　六十錢
適應症　常習便秘、胃腸腦神經心臟腎等の病に因る便秘、其他便秘一般

下痢
處方明記の◎ミツワ家庭藥卌二方の內
◎ミツワ止瀉錠　四十錢
適應症　急性傳染病を除きたる一般の下痢
（家庭治療法・特價七十錢・郵券代用不苦）

胃腸病豫防
處方明記の◎ミツワ家庭藥卌二方の內
◎ミツワ清腸錠　四十錢
適應症　胃腸病の豫防及び治療、傳染病流行時の豫防、胃腸の異常醱酵による下痢
有名の藥舖にあり、若し御近所に無き節は本舖より御直送
◎ミツワ石鹸本舖　東京　丸見屋商店
振替口座東京七一〇番

芥川龍之介全集

豫約募集　全八巻

小穴隆一畫伯裝幀

申込期限　十月三十一日

曠世の才を抱きてしかも黽勉倦まず、鏤心彫琢して金玉の文字を就す。幽雅又清艶、警拔又清妙。隻波のうちに漂渺を藏め、古典のごとき沈靜のなかに近代の憂思を潜む。篇篇一句として心血の痕はだらならざるは無し。これ彼が藝術に非ずや。少年既に鬱然として大家を成し、獨自の境を拓き得てしかも須臾も自足せず。藝術の諸形式諸傾向、一として試みざるは無く、試みて遂げざるは無し。鷲は日輪を望み見ていや高く翔らんとす。悲しむべし多病と多愁と。腰圍は詩に因つて痩せ、雙肩は生に由つて歪みぬ。一朝人生の無常を感悟するや、冷然として大死に趣き身邊一絲の亂るるものを見ず。これ彼が生涯に非ずや。彼を稱して人生の殉教者また藝術の聖使徒と呼ばんとする者はひとり我等のみにあらざるべし。宜なり。噫生命は短し、されど藝術は永し。彼が泡沫の生涯は終りぬ、然れども見よ、巍として彼が藝術は天地とともに在り。我等友人相謀りて彼が遺作を網羅し、芥川龍之介全集の刊行を企つる所以のものは、實に茲に存す。期して斷簡零墨をも洩らさざらんとするは、彼が如き一代の文人に對する時代の義務にして、ひとり友朋の私情のみにあらざるを信ず。不文をもつて微衷をのべ江湖の諸君子に訴ふ。幸にこの擧を賛して我等をして大成せしめられよ。謹みて白す。

編纂同人　小穴隆一　谷崎潤一郎　恒藤恭　室生犀星　宇野浩二　久保田万太郎　久米正雄　小島政二郎　佐藤春夫　佐佐木茂索　菊池寛

芥川龍之介全集刊行の經緯に就て

芥川龍之介全集刊行に就ては、生前、大正十五年十月、新潮社と契約がとりかはしてありました。ところが遺書には、

「僕の作品の出版權は（若し出版するものありとせん乎）岩波茂雄氏に讓與すべし。（僕の新潮社に對する契約は破棄す。）僕は夏目先生を愛するが故に先生と出版書肆を同じうせんことを希望す。但し裝幀は小穴隆一氏を煩はすことを條件とすべし。（若し岩波氏の承諾を得ざる時は既に本となれるものの外は如何なる書肆よりも出すべからず。）勿論出版する期限等は全部岩波氏に一任すべし。この問題も谷口氏の意力に待つこと多かるべし。」

と認めてあります。よつて谷口喜作氏は、初七日の翌日「七月三十一日」新潮社に赴き折よく在社の佐藤義亮氏と面談すると、大變に潔く解約して下さいました。ただ當事者の中根駒十郎氏が不在でしたので、契約書は八月十日、靈前に供へて頂いた次第でした。

岩波氏には八月十九日、田端で谷口氏面接、委細お頼みすると、岩波氏も大變よろこんで引受けて下さいました。

全集刊行につきましては、死去の當時、何等かの噂も出たりして多少皆さんのお耳にも入つてゐることと存じますので、右の趣を明かにすると同時に、佐藤氏岩波氏の御好意を茲に感謝する次第であります。

昭和二年九月　芥川比呂志　芥川文子

故人の知遇に感激しその附託に背かざらんが爲め微力を顧みず全集刊行の事業を喜んでお受け致しました。

全集に就いては故人は生前より特別なる關心を持ち體裁裝幀に至る迄指圖されし程ですから私も偏く遺志を尊重し誠意を盡して故人の業績を後代に傳ふるに足る定本を作るに些の遺憾なからん事を期してをります。

薄弱なる動機と輕率とによる廉價版橫行の際かゝる全集の刊行は困難が尠くないのでありますが眞に藝術を愛する江湖諸君子の諒解と援助とを待つて此事業の達成を故人の靈に告げたいと思ひます。

昭和二年九月　岩波茂雄

規定略記

□刊行期日　昭和二年十一月より每月一册宛刊行。昭和三年六月全八巻完結。

□體裁　菊判。布裝天金函入。紙數一册平均七百餘頁。十ポイント活字一段組枠附。用紙、英國製コットン紙。印刷、凸版印刷株式會社。

□申込方法　申込金四圓を添へ期日までに御申込みを願ひます。但し申込金は最終の會費に充當。（一時拂は申込金不要）

□會費　每月拂（一册分）金四圓　一時拂（八册分）金參拾圓

□送料　每月拂（一册分）東京市内 拾貳錢　地方 貳拾七錢　朝鮮滿洲 五拾五錢
一時拂（八册分）東京市内 九拾六錢　地方 貳圓四拾六錢　朝鮮滿洲 四圓四拾錢

第一巻　小説　自大正四年九月至大正七年七月
羅生門。鼻。孤獨地獄。父。虱。酒蟲。野呂松人形。芋粥。仙人。猿。手巾。煙草と惡魔。煙管。Mensura Zoili。運。尾形了齋覺え書。道祖問答。忠義。貉。世之助の話。偸盗。さまよへる猶太人。二つの手紙。或日の大石内藏之助。片恋。戯作三昧。西郷隆盛。首が落ちた話。袈裟と盛遠。蜘蛛の糸。地獄變。路上。（計三十二篇）

第二巻　小説　自大正七年七月至大正九年十二月
開化の殺人。奉教人の死。るしへる。枯野抄。邪宗門。毛利先生。あの頃の自分の事。犬と笛。開化の良人。きりしとほろ上人傳。蜜柑。沼地。龍。疑惑。じゆりあの・吉助。魔術。葱。鼠小僧次郎吉。舞踏會。奇怪な再會。奇遇。秋。黒衣聖母。女。老いたる素戔嗚尊。南京の基督。杜子春。捨兒。影。お律と子等と。妙な話。或敵打の話。（計三十二篇）

第三巻　小説　自大正十年一月至大正十三年三月
山鴫。秋山圖。アグニの神。往生繪巻。好色。母。將軍。藪の中。俊寛。トロツコ。報恩記。仙人（童話）。庭。一夕話。六の宮の姫君。お富の貞操。おぎん。神々の微笑。三つの寶。百合。猿蟹合戦。二人小町。おしの。保吉の手帳から。白。お時儀。あばばばば。雛。子供の病氣。一塊の土。三右衞門の罪。不思議な島。糸女覺え書。金將軍。或戀愛小説。第四の夫から。傳吉の敵打ち。文章。（計三十八篇）

第四巻　小説　自大正十三年四月至昭和二年七月
寒さ。少年。文放古。十圓札。大導寺信輔の半生。馬の脚。早春。春。温泉だより。尼提。海のほとり。桃太郎。湖南の扇。年末の一日。カルメン。三つのなぜ。春の夜。悠々莊。點鬼簿。彼。彼第二。玄鶴山房。蜃氣樓。河童。淺草公園。誘惑。たね子の憂鬱。古千屋。三つの窓。冬。手紙。闇中問答。齒車。或阿呆の一生。（計三十四篇）

第五巻　隨筆
本巻は、第六巻と相俟つて、小品隨筆評論の集大成であるばかりでなく、未だ曾て單行本に附せられざるもの多數を含む。
鵠沼雜記。囚。機關車を見ながら。澄江堂日錄。長崎日錄。漱石山房の秋。尾生の信。女體。動物園。わが散文詩。魚河岸。或社會主義者。後世。お降り。舞妓。南瓜。雪。鬼ごつこ。Don Juan aux enfers。光悦寺。黄粱夢。霜夜。東洋の秋。俳句。歌。詩。（其他百四十餘篇）

第六巻　隨筆
西方の人。文藝的な餘りに文藝的な。或舊友に送る手記。侏儒の言葉。追憶。支那游記。北京日記抄。文藝雜談。芝居漫談。明治文藝に就いて。文壇小言。短歌雜感。竹田。大雅の畫。案頭の書。各國演劇史。俊寛。身のまはり。わが俳諧修業。文章の事。凡兆に就いて。徳川末期の文藝。（其他百三十餘篇）

第七巻　書翰
藝術を通じてのみ芥川龍之介に接したる人々は、その端嚴秀麗なる完成美に、容易に近附き難き威嚴を感じてゐたらしいが、事實の芥川龍之介は、小兒も懷くべき雅容と、學殖の廣汎深遠は云ふまでもなく、溫情と諧謔と、警句とユーモアと、廣き理解と縱横の才と、要するに、最高の意味に於ける座談のオルフェウスであつた。澄江堂の尺牘が、また恰もにして其座談の如く、多面多彩自由潤達の魅力を藏して居ることは多言を要すまい。吾人は、玆に手簡數百通を年代順に排列して、此冷徹なる天才の、悠々として胡坐せる姿と、如何なる悲痛なる内面の嘆とに耳傾けて、彼が藝術と人生とに對する一層の味到を期したいと思ふ。

別册
第八巻に當る「別册」の大半は未發表に屬し、戯曲小説評論等の未定稿、腹案、講演、ノオトを始め、筆名「柳川隆之介」時代、其他前期の文章等を収む。
織田信長と黒ん坊（未完戯曲）。發掘（未完戯曲）。尼と地藏（戯曲）。人と死（Prologue）。青年と死（戯曲）。大導寺信輔の半生（小説斷片）。老年（小説）。クラリモンド（テオフィル・ゴオティエ）。E. A. Poe（講演ノオト）。東西問答。日本の女。文章論。日本小説の支那譯。（其他五百餘篇）

內容見本進呈

豫約元　東京神田神保町　振替東京七四四一六番　電話九段（二二一〇）（二二〇〇）（二八九二）番　**岩波書店**

（本紙朝夕刊合せて十二頁）

法律・政治　經濟・社會　商業・哲學　綜合圖書目錄
郵送料五錢添　御申込次第無代贈呈
東京神田今川小路　**清水書店**　電話九段七七五・八七五

◇富山房發行◇

人生の意義と道德の淵源　醫學博士 遠山椿吉著　菊判三二〇頁　定價二・五〇　送料・二四
科學の巨斧は茲に宇宙の神秘人生の謎を啓いてこれを明々白々のものとした。宗敎倫理哲學科學の一元的解釋、人生に惱むもの、必讀書。好評忽ち三版。近來の快著

書名	著者	定價	送料
改訂増補日本陽明學派之哲學	文學博士 井上哲次郎	四・五〇	・二七
日本朱子學派之哲學	文學博士 井上哲次郎	五・〇〇	・二七
日本古學派之哲學	文學博士 井上哲次郎	四・八〇	・二七
人格の生活	文學博士 吉田靜致	二・八〇	・二七
思想と人格	文學博士 深作安文	一・五〇	・二七
國體と倫理	文學博士 吉田熊次	一・八〇	・二七
敎育及敎育學の背景	文學博士 [illegible]	一・五〇	・二七
人類學上より見たる西南支那	文學博士 鳥居龍藏	六・〇〇	・二七
リツケルトの價値哲學	文學士 松永材	四・五〇	・二七
西洋哲學史	北聆吉	五・〇〇	・二七
倫理學説十回講義	文學博士 中島力造	一・八〇	・一八
倫理學概説	文學博士 桑木嚴翼	一・五〇	・一八

希臘神話及北歐神話　杉谷代水・中島孤島著　三五〇頁五七〇頁　定價二・二〇　送料・一八

書名	著者	定價	送料
通俗倫理談	文學博士 [illegible]	一・五〇	・一四
プラトーン全集（全十巻）	木村鷹太郎	五・〇〇	一・二三
澤柳全集（六巻）	文學博士 澤柳政太郎	六・〇〇	一・一六
株式會社經濟論	法學博士 上田貞次郎	四・〇〇	・二七
圖書學概論	田中敬	四・五〇	・二七
公民敎育	木村正義	三・〇〇	・二七
日本及太平洋民族の研究	[illegible]文吉	三・五〇	・二七
國文學史十講	芳賀矢一	二・〇〇	・一八
國民性十論	芳賀矢一	一・八〇	・一八
月雪花	芳賀矢一	一・五〇	・一八
弘道館記述義詳解	菅端友	三・八〇	・二七
惟神皇道歌	友枝照水	一・八〇	・一八

ファウスト　文・醫學博士 森林太郎譯　三五判千百餘頁　定價三・二〇　送料・一八
獨逸の巨人ゲーテの深大なる哲學的思想と情火烈々たる詩人的想像に充てるゲーテのファウストは、森博士の手によりてはじめて日本に完譯さる。發行以來數十版を重ねて聲價依然たり。

東京神田通神保町（振替東京五〇一番）**富山房**
讀書界・圖書目錄　御申込次第進呈　（取次全國有名書店）

號外　十一月號

今の新聞雜誌で書けない記事はかり掲載する雜誌
政治經濟社會等凡ゆる方面の暴露的基本雜誌

政黨屋の喰物にされてゐる休銀の內幕……（青木修二）
少數資本家擁護に終つた不正牛乳商大檢擧の眞相
長壽の秘訣は鰻と美人（俎上にのせた大倉王國）
お手盛案で三十萬圓の功勞金をせしめた本山大毎社長
關東關西の大資本家が組織した對支商權聯盟とは何か
七千圓の辨當代は我が國の美風か
辛辣な社會漫畫（六頁）日本漫畫家聯盟特輯
ロシヤの對支政策の批判
（民衆黨）山崎一雄　（日勞黨）三輪壽壯　（勞農黨）秋笹政之輔　（全民本部）淺井中將
新滿蒙政策と開拓會社……金照明
新滿蒙政策の嚴正批判……（新聞雜誌記者）數十氏
全國百萬の失業者をどうする
我國の失業問題（民衆黨）……友成三郎
當面の失業對策（勞農黨）……佐貫久三郎
現下の失業問題（日勞黨）……三輪壽壯
生活破綻の保障を何處に……石川宮治
朝鮮の失業問題と失業……金台部
失業反對運動……野田律太
失業問題對策……社會局
傳給者と失業問題……丹波新吉
失業に脅かさるる無產者の生活記錄
▼貞操を犧牲の職業婦人…近森近子　▼流行の妻に必需品を賣つて暗…須藤政雄　▼內館協和事業の欺瞞…金浩永　▼首は飛ぶ…二郎
支那革命は失敗したか……野坂鐵
假面を引剝がれた生命保險の正體
最初の地方普選に各無產政黨は如何に鬪爭を展開したか
廖仲愷の遺兒 革命支那の花形廖夢醒孃と語る……（一記者）
文藝　プラス・チエツク ―シンクレーア作―
礦工の鐵鎚
隨想　新聞雜誌通信記者十數氏
亞行新書 ―日本最初のアメリカ渡航記 桑田[illegible]遺稿
號外聯盟 日刊新聞

東京記者聯盟
東京市芝區琴平町二番地
號外社　定價二十五錢
電話銀座（57）三二二八番　振替東京六九七四五番

陸軍參謀本部內閲濟

果然問題となり漸く發表を許さる極秘の秘

露國の暗中飛躍遂に失敗に歸し、全米の同情日本に集り
戰勝の機運既に見ゆ……子爵 金子堅太郎
駐日米國大使マクベー氏は、本篇を讀んで未だ嘗て世界歷史上になき大膽なる秘史の發表であると驚き、且つ日露戰役に關する唯一の外交秘話として、之が英譯を米國一流出版書肆より出版すべく金子子爵に要請されつゝあり。

◆**大學教授連の秘密出版**…開戰を前に主戰論を高唱せる有名なる七博士の眞相、當時の志士、今は時めく鐵相小川平吉氏の活躍ぶりを見よ！

◆**歐洲で活躍した三大將**…現總理大臣、當年露國公使附武官田中義一、宇都宮大將が歐洲各地を狂奔して、露國內亂畫策の活動手にとる如し!!

◆**世に隱れた大戰の殊動者**…大戰の裏面に活躍せる軍事探偵の眞相初めて發表さる。

◆**日英同盟か日露協商か**……大戰前に勃發せるこの重大外交問題に就て元勳伊藤公の苦心と深謀遠慮を見よ。

◆**日露戰勝の大原因**……日露戰勝の原因は何か？

◆**聖慮畏し、皇恩無窮**……日露愈々開戰、帝都を去らんとする露公使に對し、畏くも兩陛下より賜ふ…

日本が興亡を賭して戰へる大戰役の裏面に、吾等の先覺が如何に苦心と秘策を盡せるか、昭和の御治世に生くる國民は宜しく再讀三讀して我帝國の今日ある所以を感謝すべきである　陸軍中將 堀内文次郎

◎四百頁の大册 僅か五十錢 送料三錢　◎東京市小石川戸崎町 振替東京二三四〇番 **博文館**

日露戰勝の眞相 公開
▼文藝倶樂部十一月號!!

賞牌　メダル　各種徽章　カタログ進呈　**大久保徽章商店**

建築書籍目錄　申込次第無代進呈　東京神田三崎町三　**帝國建築協會**　振替東京六八一四三番

最新刊　世界建築年鑑
▲實際的と實用的と合併して設計圖面に其寫眞で出來上つた!!

眼鏡專門　カタログ進呈
度數正確品質優秀
亂視、處方レンズ迅速製作
眼鏡玉の覇王 プンクタールレンズ特約致しました
獨逸カールツアイスプンクタールレンズ　米國AOクルツクスレンズ特約
各眼科病院指定眼鏡舖　本町二丁目　**大學堂眼鏡店**
大阪市南區鰻谷西ノ町　**大學堂本店**

創立明治參拾貳年　倉庫業兼營
京城府南大門通貳丁目百拾壹番地
株式會社 朝鮮商業銀行
頭取 朴泳[illegible]　副頭取 和田一郎　副頭取 趙鎭泰

愈よ迫って來た主力部隊の衝突
奉天派は危機を前にして極度の緊張を加ふ

【北京七日發】山西軍は豫來の北方新北之に大部隊の集中を終つた、これに對し奉天軍も全線の戰鬪準備を完成し、兩軍共後方の補充に懸命である、一方京漢線方面は保定の南方で戰鬪が行はれて居る大元帥府では全線に向つて總攻擊命令を下した、玆て京漢京綏兩方面共主力部隊の激戰が愈迫つた、奉天派はこの北方の大部隊戰が何れの方面で展開せんか、奉天派としては重大危機に直面し、今や極度の緊張味を加へて來た

天下分目の戰は保定の南方で行はれん
奉天軍敗れんか＝關內より放逐
閻錫山敗れんか＝山西維持困難
運命を賭する大血戰

【北京七日發】山西軍は京漢線方面を確保すべく、奉軍の集結完了せざるに先立ち、主力部隊の戰鬪を始め、五日來攻擊に轉し六日兩軍間に激戰が行はれてゐるが、七日朝までは未だ勝敗不明である、戰線は定州附近の平野に擴大されてゐる、專門家の觀測によれば、兩軍の運命を分つべき開戰は保定の南で行はるべく、此の一戰に敗れんか、奉軍は北京より撤退を余儀なくされ、關外に退却の外なかるべく、若し又山西軍敗るれば、閻錫山の山西維持は不可能となり、天下分目の戰ひと見られてゐる

馮軍鄭州に集中

【北京七日發】隴海線方面の直魯軍は未だ出動せず一方馮玉祥軍は開封、鄭州方面に二ケ師を增加し鄭州方面に大部隊を集結しつゝある

閻自ら陣頭に立つ

【北京七日發】閻はいよ〳〵涿鹿の野に逐らんとし、山西軍の全權を率ひ五日總司令部を石家莊に移し自ら定州線の總指揮に當たつてゐる

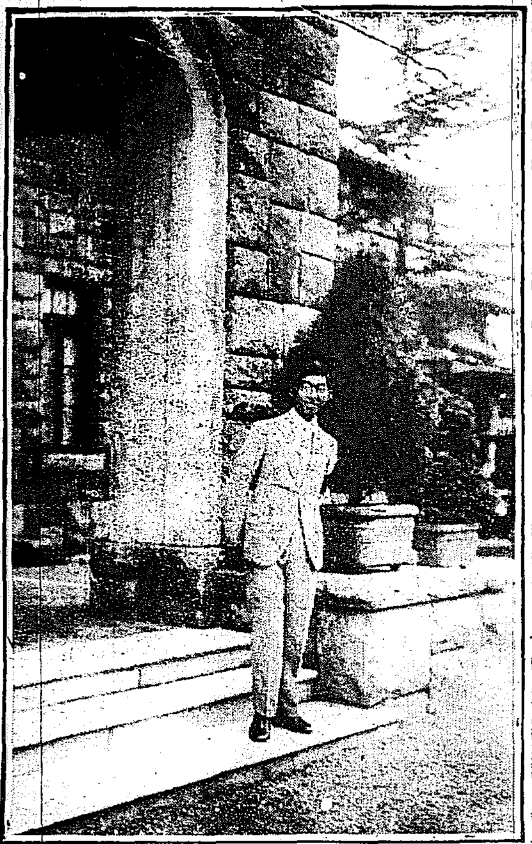
南京軍事委員會議
閻、馮援助に決す
逆賊を倒せと激勵の通電

【南京六日發聯合】六日の南京政府の軍事委員會議で馮玉祥、閻錫山兩氏を援助するに決し左の電報を發した

南方政府は既に前線部隊に攻擊を命じ、後方部隊に對しても動員令を下し北伐を決行することゝなつた、閻馮兩軍に對する軍需、彈藥、軍費等の補助供給も手配中なれば部下を督し逆賊を討伐し革命の大業を成就されん事を望む

日和見を申合せた三氏

【天津七日發】七日當地官界筋に達したる情報によれば孫傳芳、張宗昌、褚玉璞氏等は濟南で會議の結果、各自の現在勢力を確推するため、今次時局の變化には、極めて消極的態度をとり、場合によつては獨立宣言をなす事となつた、但馮玉祥軍大擧して沿線を北上し、その際南方派に後をつかれるおそれないと見極めつけば、河南の虛をつく事に申合せたと



新御殿へ御移りになつた秩父宮樣

昨年以來御造營中の赤坂一丁目御用邸內の秩父宮殿下新御殿は全く完成し殿下の御趣味が多分に取入れられ、豪華なにほひなど更に拜されず、極めて御質素なもので、吉日をお選びになり來る五日二十年の長い皇子御殿の御住ひから、木の香の高い新御殿に御引移り遊ばされた寫眞は新御殿玄關に立たせられた秩父宮殿下

奉天殘留部隊に出動命令

【奉天七日發】京奉線戰況不利にして東三省殘留部隊は治安維持に要する最少限度の警備隊を殘し全部關內出動の命を受け奉天にある各科兵約二千は七日より續々出動を開始し吉黑兩省よりも約三千出動しつゝあり奉天も漸く各種の擔當行はれ戰時氣分が濃厚となつた

增援を待ち攻勢に轉ぜん
閣議て支那形勢を白川陸相が報告

【東京電話】本日の閣議において白川陸相のなせる支那戰局に關する報告左の如し

一、京綏線方面
奉天軍は一時決戰を避け兵力を懷來附近に後退集中し、吉林軍の大部隊も該方面に增派せられつゝあり、山西軍は第九、十軍を以て天鎭より張家口に、又騎兵林の第八軍を以つて陽原より宣化方面に向ひ前進中、その先頭部隊は四日朝張家口を占領せり、張家口に於いて奉天軍退却に際し多少の掠奪を行ひ一時混亂狀態に陷りしも三日夜來稍穩に復す

二、京漢線方面
滹沱河（正定の南側を流る）を隔てて奉山兩軍相對峙し、四日以來戰鬪を交へつゝありしが奉天軍は五日正定を捨て定州附近に後退、後方兵團の來着を待ちて攻勢に轉ぜんとするものゝ如し當時は山西軍援助の爲第一、二軍の主力を鄭州に終結し近く京漢線を北上せんとすとの報あり

打虎山部隊關內へ出動

【奉天七日發聯合】奉天、打虎山駐屯地にあつた第八主力部隊は五日以來關內に輸送され全部出動したので、黑龍省から騎兵の凡そ千四百名がこれに代つた

文相以下に晩餐を賜ふ
大御心に一同感激

【東京電報】天皇陛下には、一日來西園寺公以下重臣を御召の上、晩餐を賜ひつゝあるが、七日午後六時よりは水野文相、白川陸相、小川鐵相、町田農相を赤坂離宮に御召しあり、晩餐を賜ひ、國務に對する勞を犒はせられ、御打ちとけた御態度で種々御下問などあり、御歡談裡に八時過ぎ、一同は感激して退出した

鈴木中將支那視察

【大阪電報】段祺瑞氏の顧問陸軍中將鈴木一馬氏はかつて大阪に支那問題研究會を設け日支親善に盡力して來たが今回の

美保關事件は進歩の貴き犧牲
探勝燈に眩惑されたが原因
財部査問委員長談

【東京電報】美保ヶ關沖の海軍演習中に、大切な軍艦や多數の貴重な人命を失つたことは誠に遺憾に堪へぬ、余は査問會委員長として、その眞相を確め得たのであるが、元來該演習は夜間戰鬪射擊、魚雷發射等の戰技を練習する目的で、各艦隊の乘組員をして有事の際よく艦隊の機能を發揮せしめるため最も實戰的に行ふを必要とする

併し艦隊人命の安全を無視したやり方は、素より許されぬ處である、しかも又保安に專念して消極的となり、之を非實戰的ならしめてはならぬ、即ちこゝに二つの相容れざる要求があり、この調和に適するためには幾分かの危險を伴ふは萬已むを得ぬ處である、

今回の聯合艦隊演習は、恰も本年の各種戰技演習を終り、最後の戰鬪作業であつたから、特に月のない夜間を選び、攻防兩者とも燈火をおほひ、最大の戰鬪速力を出し、普通の大速力で驅逐しつゝ、魚雷實彈を發射せんとするもので、その困難は殆ど言語に絕するが、しかも所謂明日の戰爭に策應する意味に於いて必要且つ適切なもので、殊に今回は全員旺盛な士氣と、熱心な研究、及び嚴正な軍紀を以つて本演習を終始した事實を査問會で確認し得たるは余も喜ぶ意を強くした譯である、

七月二十四日夕、美保ヶ關を出港した甲軍は、攻擊部隊たる乙軍の目にふれざる如く、一切の燈火を滅して東航し、乙軍の部隊たる甲軍部隊の、驅逐艦、輕巡洋艦又燈火を滅し、速力を增し各驅逐艦と索敵しつゝに行方を晦さんとする乙軍本部との間に一切の燈火を行せんとする驅逐隊は、闇を縫ひつゝ五十余浬の遠距離に活動しはじめた、

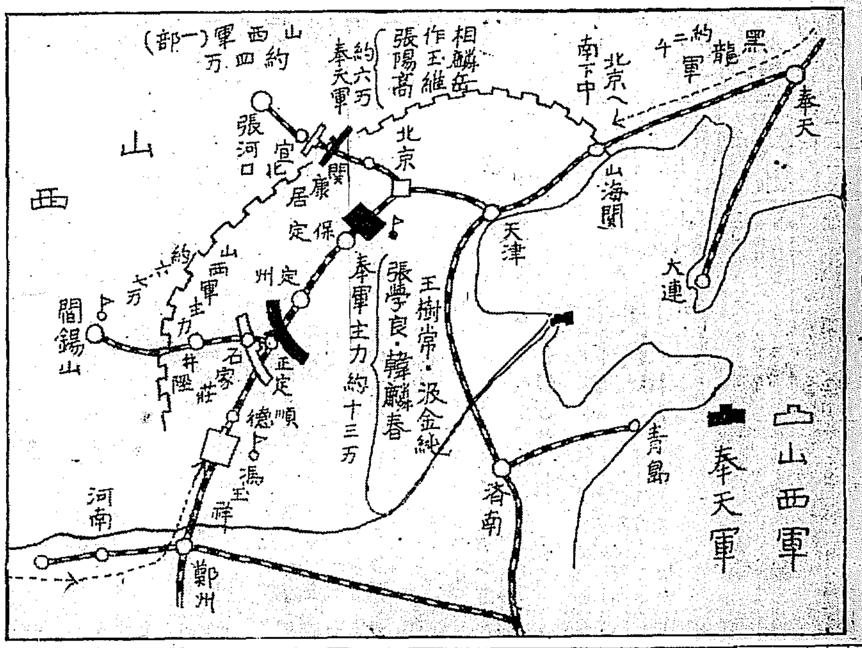
各艦の速力は日露戰爭當時に倍加せるのみならず、艦型の膨大は操縱上にも多大の差異あり、此の混亂狀態に際し、機敏なる判斷と冷靜なる判斷を以つて、攻擊と保安に誤りなきを期する事は尋常一樣の苦心でない、茲に兩衝突事件の概要を說明すれば、乙軍の神通と之に續く那珂とは突然敵の探照燈により照射され、且つ砲擊を受けたため、開艦は轉舵し、敵の猛射を避けたが、時恰も第二十七驅逐隊が驅進して來た、

元來探照燈の照射を受ける時は、照射終了後も眼をげん惑され、附近の物も見えぬものである、その際に第二十七驅逐艦と神通は、不幸大速力のまゝ接近するに至つた、夜間の接戰において、暗中突如他艦を發見し危險となれる時、これを避くるため取舵に所要の號令を發しても、これを避けるため舵をかわすためには、すくなくも數十秒を要する、

然るに假りに兩軍艦の速力を六十節とせば、百メートルは僅か三秒を要するに過ぎぬ、神通は此の危險を發見し、咄嗟に所要の措置を講じたが、時既に遲く、遂に衝突したものである、那珂と蕨は前艦の衝突を見、直ちに回避手段を講じたが及ばず僅かの差で艦尾に衝突した、本事件の原因は主として眩惑作用と、多少狀況判斷の足らざる處ありしに基くと思ふ、確認困難な裡に、相互に發見してからの回避手段には、殆んど非難の餘地がない、事前の狀況判斷不十分は、非常に複雜にて一言に盡し難いが、兎も角互に相手の行動を自已の都合のよい方に解し過ぎたと云ふに歸すると言へば大過ないと思ふ、此の點に就いては重大結果に鑑み、相當の責任を免れぬと認める

これを要するに事情は右の次第で士氣の沮喪したとか、或は技術拙劣とかいふことなく、一面からいへば進歩から起つた犧牲ともみられ、その結果は遺憾であるが、我海軍の實力が進歩して國民の期待にそむくものにあらざることを言明し得る。なほ今後は教育の改善、兵器の改良、装置の改善は今一層工夫努力を加へて、今回の如き災厄の絕滅を期する要ありと信ずる

山奉兩軍對戰局面



山奉軍の爭 今度こそ力が入る
角突合つた兩軍の陣容

奉天軍の主力は今保定にあつて張學良氏を總指揮として韓麟春、王樹常、汲金純氏等の諸將手兵を合せて十三萬、更に長城外懷來には張作相氏が六萬を以て關門を守り、山西軍はおろか鼠一匹たりとも通すものかと守りを堅め、それに黑龍江軍（二千）も應援のため驅けつけんと南下中で、こゝ奉天軍は總出の形である、一方山西軍側では西安にあつて戰況をうかゞつてゐた閻錫山氏自ら大部隊（兵數未詳）を率ひ長驅して本隊を驅使に進め、大同にある六萬の閻錫山軍と相呼應して奉天派を一擧の下に殲滅せんづ意氣込みを見せてゐる、どうせ支那式の戰ごつこの事だ、又戰爭がないものでもあるまいといつてゐる向きもあるが、今度こそは兩軍の出足には今までになく力がこもつてゐるやうで本物の戰爭にならうといふ

練習艦隊 ニューヨーク發

【ニューヨーク六日發】長く當地に碇泊中の日本練習艦隊は六日チエサピーク灣に向け拔錨したなほ同艦隊は途上アナポリ（海軍兵學校所在地）を訪れると

奉軍敗れゝば自衛策を講ずる
居留民と利權の保護に
增兵已を得ずと決す

【東京電報】陸軍は六日午後陸相官邸に白川陸相、畑次官、南參謀次長、阿部軍務局長その他參集、支那戰局につき協議したが、若し奉軍が敗れる如きことあらば、京津地方に於いて滿洲又甚だしく危險に陷る關係上、その場合は同方面の居留民保護、および滿洲の特殊利權擁護のため、增兵やむを得ずといふに意見の一致を見た模樣であるが、一部には京津地方に一個師團ぐらゐを派遣し、滿洲にも相當大部隊を增派すべしとの意見がある

汪兆銘氏南京に歸る

【九江七日發】汪兆銘氏は廬山より留任勸告に來た伍朝樞、孫科、許崇智氏等に會見した結果近くそれ等の諸ひを容れ南京に歸る事となつた氏の南京着後は目下四離狀態の南京政府の整理を行ふものと見られてゐる

整理節約案は次回に廻された
各省成案の運びに至らず
きのふの定例閣議

【東京電報】七日の定例閣議は、午前十時より首相官邸に開會、陸相より支那戰況報告後、明年度豫算閣議の協議に入り、藏相より前閣議に要求した各省既定經費の整理節約に關しては、各省大臣いづれも目下調査研究中にて、成案の運びに至らないので、次回に延期されしと要望するところあり、なほ各大臣よりそれ〳〵所管省の調査研究狀況につき、大藏省側の要求には仲々添ひ難いものが多い、併し中には多少とも節約し得るものもあらうから大藏省側も更に財源捻出に關し、充分考慮されたいと希望し、農相商相等積極策遂行の立場から、壓迫的に藏相の反省を希望し、次いで內相から治水その他地方關係の施設を力說し、鐵相より北海道視察の報告があり別記事項を決定して零時散會した

せつぱ詰つた新規事業の財源
ドーズ案の賠償金流用
大藏省の秘密案

【東京電報】大藏省は明年度新規事業財源として、各省既定經費より約三千五百萬圓の捻出を期し、過般來三土藏相より閣議席上において各省に要望し、十一日の閣議までに各省の成案を持寄り、協議する事となつてゐるが、各省はこれに應ぜざるため、大藏省はこれが對策につき腐心し、七日午後祕密裡に賠償されたる財源ドーズ案に依るドイツ賠償金、昭和三年度分一千四百萬圓を流用する件につき協議し、各省の整理節約額が豫期に達せざる場合は、左の如き使途を以て財源に繰入れる方針を決定した

一、國際聯盟費百七十萬圓
二、航空路設置費六百萬圓
三、移植民奬勵費及移民會社補助費六百三十萬圓

なほ右方針は各省との折衝上極祕に附されてゐる

ガロン氏長崎に上陸

【長崎電話】ボロヂン氏顧問後國民政府最高顧問として權勢を揮つてゐたガロン氏はシベリア經由歸國の途中近海なき爲日本通過を外務省の條件附で許可されたので七日午後零時四十分日支連絡上海丸で夫人同伴長崎に着いた、縣外事課長は警官數名をつれ逸早くかけつけ本省の命なりとしてドアーをかたく閉じ絕對に面會を許さず一時間余にわたり調査をなし一時五十分警官に取りまかれつゝ下船し自動車に移乘したその途中稅關貨物檢査所でタバコの檢査を要求したが氏は粗暴なる態度でこれに應ぜず急行列車の出發時間切迫したので檢査を門司稅關に委囑し阪本巡査部長以下護衛の警官等同乘一時二十五分發特急にて敦賀に向つた氏は敦賀を經て歸國のはずである

在滿部隊の在營延期か

【東京電報】在滿十四師團並に獨立守備隊の半分は、來月はじめ新入兵と交代することゝなつてゐるが、奉天山西兩軍戰鬪如何によりこの內より京津方面に分派する必要を生ずるやも知れず、かつこれに伴ひ滿洲方面の警備を一層嚴重にする必要もあることゝて、恐らく右滿期兵は在營延期となららうと

辭令（東京電報）

京城帝國大學教授兼京城醫學專門學校教授醫院醫術技師 佐藤剛藏
任京城醫學專門學校長兼京城帝國大學教授（二等）

本社來訪

安東縣中學校學生徒廿六名は今井教諭に引率され七日本社參觀す

人

◇金谷軍司令官 七日元山着八日朝歸任
◇長岡外史將軍 九日夜滿洲へ
◇高山鐵氏（忠北道立農業學校長）
▲鈴木穗一氏（朝鮮補煙草會社々長）七日午後入城山本旅館
◇小倉武之助氏（大邱電氣社長）七日朝入城山本旅館
◇渡邊秀雄氏（仁川稅關長）八日から四十日の豫定で滿洲北を視察
○安田善兵衞氏（安田保善社理事）七日夜入城朝鮮ホテルへ

茶話

▲こうせいと命じた原稿がその通りなつて居なければ記者は不機嫌である▲へたな茶話に似て屁を嚙むがごとしと校正は屁を嚙むがごとしとあるを▲猫に似てはまるで救ひがたく笑ひ話にもならない▲將軍ののつけに困る油代が▲將軍がノツケに要る油代となつては▲校正まことにおそるべきものがある▲鐵道軍野球團をほこりて京城グランドに立てば▲遠來大連實業をなやましくも▲三對一で惜敗はしたれど健鬪ぶりには敵意を表せざるを得ない▲三對一なのだ、これは校正のあやまりではない▲四回目に遞球したる捕手後藤のあやまりであつた▲遞球は校正のしやりがないので遞手の奮鬪を認むより外はあらぬ▲十月もはや上旬を過ぎる▲外來チームとの野球もこれが殆ど最後と見えた▲遞信、京電、殖銀のチームよ、掉尾の勇をふるはざるなるまい▲選手へは球運の御▲と挨拶し

鈴木支店が身賣の話

現在は京城府本町二千萬圓の商いをしてゐた鈴木商店京城支店は本店の沒落に連れ閉店のやまなきに至つた▲カネ辰の金看板はおろされて、同系の商店、國際酒精、日本製鍊から監理のため來た時、東洋拓殖が現在の建物を買收するといふ噂が擴つた▲大日本鹽業とか▲金融機關のプレートが掛けられるのが早くも身賣の話▲處で今度へとも▲商店だけではきめられぬ、しかし▲このまゝでは儲けぬ何れ遠からず身賣話は實現しよう▲賣上げ二千萬圓、一分と見て純益二十萬圓、結局獨立してゆける店が本店にまかれて了ふことに至つた。時に秋、漸く深いといつた感じがするではないか

經濟

運送合同委員會 報償金の算定

運送合同問題に關する委員會は引續き朝鮮計算ビル樓上に於て開催中なるが十月六日の之が議案は報償金算出基準案として

一案、營業益金を基準として報償金を算すること
二案、其の間の余裕益金を全取扱數量に割當て之を基準として其の店の取扱數量に乘じ報償金を算定すること
三案、報償金の算出方法は各店の作業實績を基とし之が對照調査の方法として各驛の數量に基く豫算數字を作成し之を尺度として査定したる金額を基本とすること

右の三案を擧げて協定したる結果左の事項を決議した

（一）報償金の算定
報償金算出基準第三條報償金の算出方法は各店作業の實績收益金を基として之が對照調査方法として各驛の數量に基く豫算數字を作成し之を尺度として査定したる金額を基本とすること
右假決議として可決
（二）報償金割當ての基準を數量と納金とを加味すること
（三）報償金の平等割を加味すること
右可決
而して割當基準の割合は數量八と納金を二とすることゝなつたと

仁商議工部會 部長は永井氏

仁川商業會議所の商工部は六日午後四時半から部會を開催、正副部長を選擧し毎月六日定例部會を開催することを申合せて散會した、正副部長は次の通り
部長永井市太郎▲副部長今井喜三

運輸會議

十月六日より三日間鐵道局に於て全線各機關區長檢車區長各事務所運輸主任等による運轉會議が開催され議題としては冬季輸送繁忙期に於ける輸送運轉上の打合せ及各區長等の平素研究したる事の發表等で本局からの出席者は運轉課長及同課主任等であると

鮮鐵業績良好 上期は記錄破り

四月より九月に至る上半期の國有鐵道營業收入實績は、創設以來のレコードを示す好績を擧げ、豫算額（九月迄）一千六百九十九萬三千八百三十圓に對し實收一千七百六十二萬一千九百七圓乃至六十二萬八千七十七圓の增收を見た、內譯は左の通りである

旅客收入	豫算額	[illegible]
	實收額	[illegible]
	差引增	[illegible]
貨物收入	豫算額	[illegible]
	實收額	[illegible]
	差引增	[illegible]
旅貨收入	豫算額	[illegible]
	實收額	[illegible]
	差引增	[illegible]
倉庫收入	豫算額	[illegible]
	實收額	[illegible]
	差引增	[illegible]
雜收入	豫算額	[illegible]
	實收額	[illegible]
	差引增	[illegible]

右の數字に見る通り從來缺損に缺損を重ねた旅貨收入ですら今年は既に約二萬圓の增收を示したが、かく全般に亘り稀有の好績を擧げた原因としては（第一）旅客數において見學團體旅行が著るしく多くなつたのと、一般商取引に活氣を生じ人事の往來が頻繁を加へたこと（第二）貨物數において鮮米の內地移出が逐日旺盛となりその反面に滿洲粟の輸入が激增したこと（第三）其他本府の施設計畫の擴行につれ各種の工事材料、農具肥料等の輸送が漸次多忙を來したこと（第四）新線竣成による營業線の延長したこと等に因るもので此の運輸實績は鮮內の景氣が漸次立直らんとする證據である、と當局は觀測してゐる

株式

大阪株式短期 前場引值

大株新	八十九圓六十錢	十錢安
鐘紡新	百三十七圓四十錢	十錢高
久原	六十一圓七十錢	十錢高
東株新	百五十九圓五十錢	十錢高

期正米

鮮內延べ（七日後場）

[illegible]

各地後場止

名古屋	三〇四一
金澤	二八八〇
熊本	三〇〇九
桑名 十一番	三〇一〇
十二番	三〇二一

大阪期米俵合

大阪期米前場引値

	買方	賣方
當限	二四	二三
中限	二三	二八
先限	二三	三〇

三十四錢

大阪期米取組高

當限	六七八〇〇石
中限	一三〇九〇〇石
先限	七一九〇〇石

大阪市中在米

七日現在高は八十萬七千八百三十五俵と前日の在米高に比較して四千七百十四俵の減少である

東京深川在米

七日現在の在米高は七萬九千三百四十五俵と前日の在米高に比較して三千五百十四俵の增加である

市況

市中米價 卸値

九甲四等米	二八圓三〇
日本米卸值（百キロ）	二四圓五〇
七等白米	三二圓五〇

大阪市中外棉唱 前日比較

ストリクト・ミドリング 十一、十二月 [illegible] 不變
ブローチ 同 [illegible] 不變
ベンゴール 同 [illegible] 一安

[illegible]

京城日報　朝鮮のために

一

朝鮮郵船會社と內地近海郵船會社とを以て成る鮮航會は、この程朝鮮米運賃引上げを決議し、その旨を朝鮮米穀組合聯合會に通牒し越した。聯合會はこれを不當なりとして、第一次には朝鮮郵船を相手取り、第二次には鮮航會そのものを向ふに廻して抗議を申し出でつゝある。而して兩者の交渉漸くシリアスとなるや本府當局の斡旋仲裁の余儀なきものあるに至つたといふ。本紙記者の報ずるところによれば鮮航會側の運賃引上げ理由は近來炭價が上向きたるとチヤーター料の騰貴とに據るもの ゝ如くであるが、これに反對する聯合會側の言分は主として朝鮮郵船の如きは自ら石炭を買ひ込んでをり、チヤーター料は如何にも騰貴したが會社は殆ど傭船をして居ない。朝鮮郵船の實際に當りたる場合を考へ、なるほど炭價は上向いたが會社は安い石炭を現に買ひ入れてゐるとすれば運賃値上げの理由が立たぬではないかといふのである。」

二

われ等はこの問題が單に如上の理由だけで委曲をつくし得たりと信ずるものではない。ずゐぶん鮮航會側に離れて居るかも知れぬとおもふ。たゞわれ等の關心は鮮航會が運賃値上げを行ふたるがために朝鮮における或る主要產業の負擔が重くなつたといふ事實に關し、可否を考ふる一點にかゝるのである。米はいふまでもなく朝鮮における主要なる生產である。運賃を引上げられゝばそれは明かに一個の[illegible]でなければならぬのである。殊に朝鮮郵船は朝鮮における有力なる特殊會社にして、その特殊會社が運賃引上げを行ふのである。いはゞ朝鮮が朝鮮を食ひつゝあると評して至妥な狀態を現出して居るのである。われ等が興味ありといふゆゑんはこの點を考ふるがためなのである。」

三

朝鮮を經濟上一個の單位とすべしとの提唱についていては可否兩說の對立するを見るのであるが、過去未來の理想を前提とせず、近き眼前の現狀を素材として單純なる考察をなすときは、朝鮮は疑ひもなく獨立の單位を以て目すべく、しかく認識することが朝鮮の產業振興上必要なると考ふるのであつて、この旨趣が朝鮮における經濟人によく徹底しをるとを望み、もし然らざる微少の因子だに尙殘せば速かにこれを當局に移入するとを勸說したいとおもふのである。このことは生產者と輸送業者との間によく起り勝なる問題がこゝにも起つたといふまでゞ、瑣微なる事件として看過することはわれ等としてたやすい業であつて、鮮航會といふ一つの會社、ならびに聯合會といふ一つの團體のどちらが不當なりとも判決し去る要求をわれ等は持たない、その價値が如何にあるかを見きはめないからではなくて、問題そのものがわれ等の判決を下すべく余りに小さ過ぎるともいへるからである。」たゞたまたまかくのごとき問題が起こつたのを機會に、しいてこれに託してわれ等年來の所懷を陳じて、朝鮮の產業振興に資するもの ゝ自省に訴へる次第なのである。」

水田から追はれ行く〔三〕

撫順地方の朝鮮人

撫順　日野哲之輔

（九）普通農家の生活　普通農家の生活は至ごく安價にして生活費とてもごく僅少にて足るもの ゝ如くである。農家は八人家族位を普通としてゐるので家族八名よりなる一農家の一ケ年間の生活費を見るに凡そ次ぎの如くであると見て大差なきもの ゝやうである（單位圓）

種別	金額	摘要
主食物	一八、九六	粟八石、石二、六二
副食物	二〇、〇〇	大豆、鹽、豆油等
被服費	一〇四、〇〇	家族八名の中實働者五名は年二回他の三名は年一回、新調十三着として一着宛上下八圓
交際費	一〇、〇〇	慶弔接待等
教育費	一〇、〇〇	子弟の教育費
修繕費	五、〇〇	洋釘その他
消耗費	七、〇〇	燈油、紙、アンペラ等
嗜好品代	二〇、〇〇	煙草、酒等
借家料	六〇、〇〇	三間房子一、附屬耕地四畝の貸借料
計	二五四、九六	

（十）水田小作收支計算及農家の經濟　すでに述べた如く撫順地方における朝鮮人農家にして中農と稱するものは、普通八名の家族を擁して、しかも八名の中五名の實働者を有して六〇畝內外（內地の三町七反六畝余步）の耕地を耕作してゐる小作人の一家を指していふもの ゝ如くである。が勿論、その經營にあたりでは臨時に實働者を雇用するを常としてゐる。左に八名家族にて六〇畝を耕作使用してゐる中農につき大正十年度から同十四年度までの五ケ年間における直接水田耕作收支計算および農家經濟生活の狀態一般を示せば次ぎの如くである

（イ）直接水田耕作收支計算

收入の部

年度	收量	單價	總額
一〇	一六二、五〇	一〇、〇〇	一、六二五、〇〇
一一	一五〇、一〇	一〇、〇〇	一、五〇一、〇〇
一二	一五三、一〇	一〇、〇〇	一、五三一、〇〇
一三	一四一、七〇	一一、四〇	[illegible]
一四	一〇七、五〇	一三、二〇	[illegible]

右は總收入であつて、小作人の純收入はこの金收入の折半したものである。即ち撫順地方における小作人が前述の如く普通小作なるを以て小作人の收穫は、地主と折半なるを普通とするを以て小作人の純收入はこの金收入の折半したものである

ものであることは敢し說明するまでもないことである」

支出の部

種別	一〇年	一一年	一二年	一三年	一四年
種子	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
勞役費	[illegible]	一八〇、〇〇	一八〇、〇〇	一八〇、〇〇	一八〇、〇〇
消耗品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
農具補修	五四、〇〇	以下同じと見る			
飼料費	三四、〇〇	同			
資本利子	八五、〇〇	同			
水利稅	三六、〇〇	同			
地租	一四、〇〇	同			
兵餉	[illegible]	同			

從つて總計においては右表により見れば卽ち

年度	損	益
一〇年		四〇三、〇〇
一一年		二六一、五〇
一二年		二六一、五〇
一三年		二九三、七四
一四年		五〇七、七四

であるから、收支差益金損益は次ぎの如くである。」

今右の收支計算に注釋を加へればなほ一層明かとなるであらうと思はれるから、聊か注釋を加へるであらう

一、種子量は反當り一斗を要するものとした

二、勞働費は三四五六七八の六ケ月間一日平均八名つゝ使用するものとし、中五名は自家勞働者として他の三名を雇用するものとしたが、作業の繁閑によつて自ら賃銀に差違ひのあることは明かであるが、これを平均するときは一人一日當り約五十錢となる從つて六ケ月間の作業延人數三百六十名に對して百八十圓を要すると見て差支なきもの ゝやうである。」

三、この消耗品は叺袋の購入費を計上せるもので一袋五十錢として收量一石に對して一袋の割合である

四、農具補修費は、主として修繕費であつて新調費はごく少額とした

五、飼料費は通常は藁、豆殼、雜草等を用ふるが農繁期には特に豆類を與ふる必要あるを以て、豆類三石代を計上した

六、資本利子は月利二分五厘として計上して見た

七、課稅は樂天小洋であるが、現金建の値は常に一定してないゆゑに假に便宜上日貨として計す

（ロ）鮮人農家の經濟生活

年度	收入	營利直接費	支出 生計費	計
一〇	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一一	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一二	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一三	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一四	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

經濟的に見た撫順地方における農業從事者の收支は右表の示すごとくであるが、五ケ年間の利益について各年度別に見れば、十一年度は利益最も多く、十一、十四年度はもつとも利益少し、これを合計して見れば總額四百五十二圓六十二錢の利益を有し、一ケ年平均九十圓五十二錢四厘の利益となる、一ケ年平均九十圓五十錢は決して鮮人としては多きとはいへないのである。たゞ彼が生活程度低く、かつ文化的の生存の費用少きがためにこれだけの利益をあげ得たのである。大體において經濟は撫順地方の農業者としての朝鮮人生活を數字の上において現し得たと思ふから、更に稿をつけて撫順市街に在住する朝鮮人のそれにつれて述べたい。」

あすの日曜は栗みのる開城へ

家族的の淸遊に適しい秋の行樂

明九日の第二日曜日は京城日アルコウ會の開城栗拾ひ大會が催される秋晴れの一日を家族連で樂むことはまたたくうれしい事である。開城は麗朝五百年の舊都であり、一木、一石皆史蹟を語らぬものはないほど名勝の地である又栗のある彩霞洞は紅葉の名所として名高い當日は午前八時五分京城驛發の列車で出發九時四十三分開城驛着直に栗山に向ふのであるが會員のために籠まで用意して栗を入れずに保存してあるので栗は子供でも樂に拾へます。又余興として開城の美妓の歌舞もあり、例によつて豫選しは一等賞品から開城の名產が山積用意されてゐるから福運にありつける譯です。歸りは開城驛午後七時五十二分發京城驛着は午後九時廿分で絕好の家族づれのピクニツクとして申分がありません會費は大人一圓九十錢で小供半額、申込みは本社でも申受けますが當日午前八時まで京城驛で申込みを受付ます。【寫眞は開城彩霞洞の栗林】

情意の修養には映畫教育が必要

人間描寫に含まる ゝ特異なる教育的價値

われ〱人間の心的作用は普通に智、情、意の三部に分たれてゐるしかして教育の目的はこの三方面の圓滿なる發達をはかるにある事はいふまでもない、然るに現今の教育を見ると智育は相當に行きわたつており、又これを實施する事も容易であるが、情育において[illegible]近時はこの點に就いて色々の努力が用ひられて、その效果は可成りにあがつてゐるといはなければならぬ。」しかしてこれを一般の上から考察して見ると最新の方法としては、映畫による教育の效果を見逃してはならぬ。尤もかくいへば寫眞の如きもその關係範圍から見て、教育の各部分を綜合してゐると考へられる。しかしこれを一般的に使用する事になれば中にはその理解を得ないものがあり、又經濟的にもあつて今日の教育にはこれは許されてゐない。からなつてくると映畫による教育は非常な意義あるものとなつてくる。卽ち映畫は單なる風景寫眞の如きものでなくその中には人間描寫を試み、微妙なる人情が含まれてゐるゆゑに、この人情を知るには人間精神の種々なる方面を働かせなくてはならぬ智育は勿論、情意の教育において映畫がその著しき效果を有する事はこの點においてゞある。ゆゑに、映畫作製については、現今の如き狀態を更に進めて外觀、動作、締結的機能に至るまで、藝術的見地によつて創造されるべきは論ずるまでもない處である。更に加ふるにその企畫が人生に觸れる教訓を含み、人情の深さを表現するやうに努める事が映畫作製の主眼である。これによつて學校教育のみならず成人教育までがその素質を向上することが出來る。成人には兒童、生徒の如き智育のみではなく、生活の中に働く心の糧となるのであるこの意味において映畫教育の必要とその作製の急務とを痛感するのである（文部省映畫部主任仲木氏談）

滿洲管見(13)

笠神生

思ひ出の梅干

旅順へついて支那驛へのり替へ市街と新市街をぐる〱廻つて東鷄冠山へ出た。砲臺のあとが殘るやうになれた廢墟だが、殘しもくにこれはれて居たが、殘しいものだから旅順の中へズン〱はいつて見やうとしたら案內者はそれはいけません、待つて下さいといつた。待つて居ると案內者はわたし達を程よきところに誘導して置いて眼前の地形について一わたり當時の戰況を物語つた。椅子山とか大孤山とか鉢卷山とか盤龍山とか、案內者の口からぽつり〱語られると、わたしはふと「こゝはお國を何百里」をおもひ出した。それからラツパ節をおもひ出した。最後に梅ぼしをおもひ出した。ある年のある時期はわたしの遠足といふのに屹度に使ふ梅ぼしがないので母がわたしにあやまつた。」わたしは不機嫌な顔をしたまゝ大きの日の遠足に立つて行つた。辨當がまづかつたから食はなかつた……わたしの記憶はたゞこれだけなのだがその梅ぼしのわたしの家になかつたのは日露戰爭のおかげだつたことをアトで知つておかしかつた。それをふと旅順の山上で思ひ出したのである。出征の勇士は奧州の山の中の少年から大好物の梅ぼしを戰ひながら獻上したのである。さういふ經驗を少國民に擔はせて置いてとにかく勝つたのである。遠足に不機嫌な顔をした小年の背が恥かしくなつて來た。」

案內者の說明がおはると坑道の破れ口からはいつて行つた。坑の中は小さな室を聯絡したやうな構造になつて居る。敵がわが戰線でこの破れ口を作つたとき、何かでいぶしたら敵は苦しくてはひ出すだらうといふので盛んにこれからいぶしを焚いたのだが、坑內の構造が斷構造だから破れ口の室さへ密閉して置けば外の部屋は平氣なもので狐や狸とわけがちがつて居た。」

お國を何百里

敵味方坑內での戰鬪がおもしろかつた。せまいところで鐵砲を打ち合ふのだが敵味方とも砂嚢をかさねて柵とした。砂嚢と砂嚢との間が僅かに尺ばかりしかない、こゝで十何日か對峙したのである。砲を出して打つたら必ず死ぬにきまつて居るから頭をかくしてやみ雲にボン〱打つた。やみ雲では一向つまらないから石ころをひろつて來て彈道をつけた鐵砲射擊をやつた、石ころがなくなると罐詰の空缶を投げた。からがなくなると罐詰の本物を投げた。敵もまた初めはウオツカのあき瓶か何かを投げるがしまひには中身のあるまゝに投げる。ウオツカと罐詰でいゝ心持ちになれば「こゝはお國を何百里」と唄ひ出したかも知れないのである」

人間の筍狩り

坑外へ出るとざん壕で、わが軍がざん壕に取りついた時に味方の彈が向ふ岸にあたつて爆發して砂が崩れ山腹にまで埋めてしまつた。この場合掘り起すわけには參らぬから其まゝにして置くとその頸夜中になつて人間の首が筍のやうに如眞々と出るのが姿をすかして見える。砂の中をあへぎ〱やつと出て來たのである。味方は戰いでこれを收容してかへる。そうあとは砂の中で死んだのだらうとおもつて一時間ばかりして行つて見るとやはり筍がチラホラ出て居る。收容する。今度こそは確かに、これでおもふとなか〱そうでない、露助あけ方までかゝつて人間の筍狩がやまなかつたといふ。筍はぬつと出ただけで默つて居るのではない、ウン〱うなつて居るのだ。中には天皇陛下萬歲と叫ぶのがある。さすがに女房の名を連呼するのはなかつたらしいと案內者はいひながらいつてこの悲しい物語をすんだ

水組工事請負契約書添附の內譯書撤廢に就て

黃津水利組合　河內山泰助

現在の水利組合工事請負契約書には必ず內譯書を添付する事になつて居る所以なるにかゝる根據あり殊なるものを强いて添付せしめるのであらうか一般にこれによる幾多の弊害や紛議を醸めながら何ゆゑにこの方法に盲從して來たのであらうか識者これを廢止して請負契約には起業者備付の設計書の通りとして契約を締結する事が簡便でありかつ弊害の比較的少いといふ持論者私は也の意見をならべて江湖の諸賢の御批判を仰ぎたいと思ふ內譯書添付廢止については二つの理由が考へられるそれは起業者並に請負者をして事務取扱ひを簡捷ならしめることおよび工事施行中にしば〱起る設計變更に際して比例算出によつて比較的公平に請負額の增減をうる事とである例へば設計額十萬圓の工事を九萬圓にて請負契約を締結せしものとせば內譯書の內容は設計の各單價又は步掛等もひとしくその九割に減ずるを建前なりとす（元來單價步掛より起算しはじめて見積り額なる請負金額を算出するはずなるに事實はこれに反し請負金額に合致する樣內譯するを通例とす）然るに往々設計單價一圓五十錢の盛土が二圓の內譯となりこれが工事を變更する場合もし盛土が增額したるときは工事請負人は設計單價の九割なる一圓三十五錢より余分に六十五錢をうることとなり減額したる場合はこれと反對の結果を生じ工事請負人はより以內の金額を受取ることゝなりその內譯單價の如何によりて起業者と工事請負人との利害關係は正ひに反比例するの現象を生ずるこれはやがて總ての步掛材料等においても同樣の結果を生ずる設變約の際は大いに考慮せねばならないはずである。從來起業者側においてこの內譯單價の檢討については等閑に附してはゐないはずであるに拘らず工事によりては複雜なる手段の弊せらるゝ懸念もありかつ內譯書作成に多忙なる請負業者にとつては實に煩瑣なる手數を要し單價步掛の統一を缺きこれを無理に統一せんとせば內部における紛擾に不統一のものを生ずることゝなる元來設計に重要なるもの ゝ必要はなきはずであつて不可解に屬するものは一々詳上するが當然でありこの變更なる無名目のものを撤廢する理由は次に數へ得る理由としてこれに故意にこれを設け置く如くかの理由がないでもなく監督上その弊害となるものを防止する事は工事遂行上寄與することの大なるを想はしむるのである然してこれを廢止したるとき工事の增減變更又は內譯金額を如何に處理するかといふ問題がやがて起こつて來るソレはすでに記せし如く起業者備付の設計をどこまでも中心として左の計算によるを最も公正かつ簡捷なりとする

增減變更の場合

一、工事の增減變更を畢したる場合請負金額の變更を必要とするときは請負金額に變更豫定價格を乘じ變更前豫定價格を以て之を除し得たる金額を以て變更の請負金額とす

（甲）變更請負金額調査

原設計金額	一〇〇、〇〇〇
變更前豫定價格	九〇、〇〇〇
變更設計金額	一二〇、〇〇〇
變更豫定價格	一〇八、〇〇〇
請負金額	八〇、〇〇〇
（乙）變更請負金額調査	九六、〇〇〇
變更前豫定價格	一〇〇、〇〇〇
變更豫定價格	一二〇、〇〇〇
請負金額	八八、〇〇〇
變更請負金額	[illegible]

（備考）一、本式中（甲）は設計金額以內において特に豫定價格を定めたる場合に（乙）は設計金額を直に豫定價格と爲したる場合に用ふるものとす

二、（甲）の計算式左の如し（イ）第一式に依り變更豫定價格を得（ロ）第二式に依り變更請負金額を得

變更豫定價格＝變更設計金額×變更前豫定價格／原設計金額

變更請負金額＝請負金額×變更豫定價格／變更前豫定價格

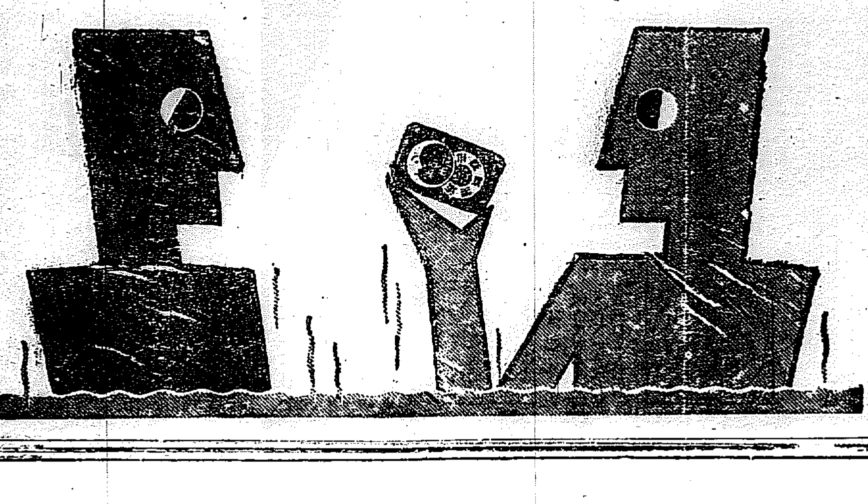
三、（乙）の計算式は甲號第二式に據る

一、出來形金額は出來形に相當する豫定價格に請負金額を乘じ變更豫定價格を以て除したる金額とす

价川輕便鐵道

下り　上り

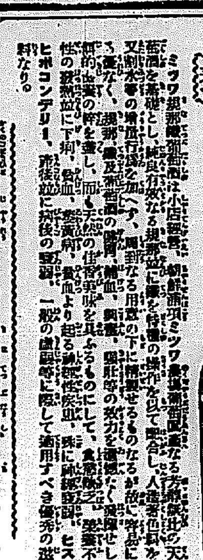
[illegible]



裡里櫻町　電話三三九番
富屋旅館

染料卸商
東
京城花園町九七
東華洋行
長電話本局三九九二番
振替京城一二四〇五番

完全なる吸收性と同化性とを併有せる
劾力無比の滋養强壯料
第二回化學工業博覽會銀牌受領
ミツワ規那鐵葡萄酒
美味と滋養
香味色佳良滋養力偉大
健胃補血興奮作用卓絕



（現品縮寫圖）

定價　一壜金一圓　內地以外は運賃實費を加ふ

▼如斯人は滋養料ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし▲

一、貧血して居る人　一、手足が冷えて寢つかれぬ人　一、下痢の永く續いて居る人
一、榮養の不足なる人

賣捌　和洋酒食料品店・藥店・雜貨店
◎ミツワ石鹸本舖　丸見屋商店

全鮮自轉車大會
空前の盛況を呈す
—春川支局主催

わが社春川支局主催、中村自轉車店合成商工社および春川自轉車商組合後援の全鮮自轉車競技大會は三日午前十一時、春川公立普通學校庭で開催、當日は生憎前夜からの細雨が斷續的に降るのをものともせず觀衆は開催前すでに會場內外に溢れ文字通りに人の山をなす盛況を呈した中村自轉車店から寄贈の緋の大優勝旗を中心に京城朝鮮選手吉俊傑君等チャプリン選手李鍾鎬君の率ひる六名の選手を初め各地から集まった三十余名の選手の入場式が行はれこゝに大會の氣分はみなぎったついで春川支局の李鍾鎬君開會の辭をのべ石谷與會長の祝辭、李鍾觀氏の競技に關する注意あり選手の宣誓がすんでから本競技を開始二流一流の豫選を行ひ余興として各種競技女子競技あり終って二流の決勝戰に入り。風の如き推手と戰ふとの中に列項の如く入選者を見たのであるが人氣の焦點にある一流の決勝戰は雨のため開催が遲くなったゝめやむを得ず三日午後四時に延期延期した翌日は澄みわたった秋の空に瑞々たる千の觀衆に迎へられ一流選手の競技は初まり競爭氣分をいやが上にもそゝる强豪京城の吉俊傑君春川の新興選手李鍾吉、鄭昌根君等の堂々たる戰闘は全くその成敗の豫斷を許さず伯仲の觀があったが不幸鄭選手の前輪が吉選手の後輪にふれたゝめ鄭選手は無惨に仆れついで李選手もたふれ鄭君は前齒二ケを李君は左顎を折傷したほどの重傷を負ふて棄權したゝめ吉選手と新興の意氣に燃ゆる李來成選手との一騎打となりタイム約一時間で八十週の決勝戰は吉選手の一着で競技は終ったひきつゞき賞品授與式となり中村自轉車店寄贈の優勝旗と自轉車一臺および本社の賞牌銀カップは京城の吉俊傑君に渡され午後六時春川空前の大會は幕をとぢた、因に當日受賞者は左の通りである

一流一等　賞品　中村自轉車店寄贈の優勝旗及自轉車一台外本社副賞銀カップ　京城　吉俊傑
同　二等　賞品　金側腕卷時計　春川　李來成
同　三等　賞品　クローム腕卷時計　春川　文福吉
（三等以下は略）
二流一等　賞品　金側腕卷時計　本社副賞銀カップ　春川　李夢述
同　二等　賞品　座鐘　京城　任基德
（二等以下は略）

平安南道

平壤が五倍になる
大同古平兩面を合併

平壤府では大平壤建設のためさきに府協議會議を附し平壤府と大同郡の合併を決議し大同郡に申請したが合併に關し大同古平面の面協議會議の合併議決が提出されないのでそのまゝになって居るが平壤府では來年度豫算の編成を控へて至急これが解決を要するので大同、古平兩面に對しその懇望力を發揮した結果こゝ數日中に出ることになり近くこれが解決を見ることになつた現在の平壤府は〇、四二方里百九十六萬坪であるが合併後は五、一五方里となり現在の約五倍に擴張されることになつた平壤府としては樂浪も編入したかつたのであるが大同郡の懇望に郡が困るので樂浪は依然大同郡に殘ることになつた、なほ合併面には市街的施設をなし下水、水道、電燈等も出來ることになつてゐるから急激に發展をするであらう（平壤）

武道大會
柔劍道百九十組出場

八日平南警察部主催の武道大會には劍道百組柔道九十組の多數で勝敗を爭ふ優勝試合は各署選手の選手を出し普通試合には全道から五段教士から段大會奬勵館、平北から秋野教士七段、四段二名又柔道部には京城から佐藤九段、平北金光五段等全鮮的武士の如く來るがその他本道鐵道部から教士一名四段二名三段四名錬士二名四段二名三段二名參加にて各その他ことごとく打混じての勝負が行はれるはずである（平壤）

林檎の初荷
鎮南浦から營口上海へ

鎮南浦リンゴ出廻り期も近づきその販路につき滿洲各地とか營口とか上海とかに輸出を圖らんとして居る向きもあるが鎮南浦果實組合の如き數年來その販路に目をつけ販路を開拓した結果は海外輸出にあるので同氏は特にその點を縁證し三四年前から多大の犧牲を拂つて上海三井物産支店に特約販賣を依頼してをつたが同氏の誠意と鎮南浦のリンゴの優秀が一般に認められ七日朝出帆の平安丸で第一回の積込として果實組合から三井物産上海支店あて八百箱上海三井物産支店へ七百箱の輸出を見たこれが本年度リンゴの海外輸出の初荷である（鎮南浦）

平南雜俎

◇……十九日公會堂で催される亞米利加人形歡迎會には平壤高等女學校、女子普通學校、正義女學校、崇義女學校の四校生徒は米國人形歡迎の合唱で開會される事となった
◇……平壤櫻町黃金鴻次郞男と大郎（二二）は去る平壤に出て傭人の何れへ奉公に出しても逐放されるので實父は泣く泣く警察へ說諭を願ひ出た
◇……平壤府の秋季種痘は十一日から五日迄新市街で施行してゐるが今回の成績非常に惡く特に內地人側の接種者で出頭せぬ者が多く府では來る十一、十二の檢疫日に再度呼出狀を發し殘り無く接種する方針で再度の呼出に出頭しない者には相當處罰する筈であると
◇……一日現在の平壤府內の傳染病患者は合計二十六名で赤痢十五名猩紅熱二名腸チブス五名パラチブス四名
◇……鎮南浦平每支社主催西鮮自轉車競技大會は八、九兩日鎮南浦公設グラウンドで開催
◇……平壤公設市場九月中の賣上成績は鶏市街司倉市場購買人員五萬五百四十八人賣上金額一萬七千六百二十八圓七十九錢新市街中鮮町市場は購買人員八千八百八十八人金額四千五百六十七圓七十六錢
◇……朝鮮神宮競技に出場する平壤の各種選手一行は十二日出發
◇……七萬七千圓で增築中の平壤高等女學校は竣工豫約期十一月末日までのところ目下工事を急いで居るが同期日までには大略竣工し得る見込で同建築工事中は運動場は殆んど工事建築の爲めに使用され弓術テニス等の運動は取止め敎室、職員室を敎室に充て又講堂も區分して何れも授業に充當して居るが各學級の行事も完成し面目を一新した
◇……靑木知事、伊達警察部長は會議中の道內警察署長を五日午後七時から料亭鷗亭に招待して饗宴を張った又今回甲種警察長に榮轉した平壤署坂木警部の爲め有志者は六日金鍋にて別宴を張った
◇……新築工事中の鎮南浦殖產銀行支店は七日午後四時から上棟式を擧行
◇……仁川神宮奉齋會長九太郞翁は滿洲沿線巡遊の歸途平壤に立寄り去る三日櫻町キネマの隣から一般患者のために家傳秘法の灸施術を開始して居るが翁は火の神愛宕神の信仰厚く各地で失火の災厄なき様鎮火祭を執行するを例とするが平壤でも近く有力者の後援で行ふ筈である尙ほ翁は此れを謝禮金として一千五百圓の金額は此れを受取らず右全部は仁川月尾島の山頂にある愛宕神社の神殿改築費に寄附することになつていると
◇……十三日平壤へ來る筈の京都武道專門學校生徒十名は小川範士引率の下に道場で試合を催すはず

春川の自轉車大會　（上）優勝旗授與式（下）選手入場式

平安北道

神宮競技派遣選手
十五名と決定

平北から選拔されて朝鮮神宮競技に出場する榮ある選手は左記十五名と決定した（新義州）
▲八百米千五百米福元末喜▲走高飛棒高飛中島京▲四百米八百米金德晋▲五種競技稻船九▲百米二百米金福命▲五千米一萬米李一成▲百米走高飛朴基平▲五種、圓盤水田茂男▲五千米一萬米白在福▲庭球張元珍、流川恭司、李時坤、林成鶴、邸仁珍、松田勝己

公金横領の二水兵
新義州で捕る

鎮海要港部第十八驅逐隊一等水兵鈴木勝藏（二三）同橋本正（二）は公金百八十圓を横領し滿洲方面に高飛びせんと新義州まで來たところを五日朝列車中で捕はれ新義州憲兵分隊で取調べの上鎮海に護送された（新義州）

新米出廻り
昨年より良好

平北の新米は先月下旬から市場に出てゐるが新義州米穀檢査所の四日までの檢査數は一千六百四十二叺で昨年十月四日までの新米檢查數に比すれば一千六百余叺の激增で五日の檢査數も四百叺に上つてゐる今の處は主として義州龍川兩郡の產米であるが上流物は十日頃から出廻りを見るであらう

黃海道

鳳山小學校移轉問題
軍扇は何れへ

鳳山小學校の移轉問題で八釜しい鳳山郡沙里院鳳山里と舊邑鳳山面の...元鳳山郡萬和里にあつたものだがその當時四圍の事情が同地に置く事を許さなかったので今の月山里に移轉したものである、然るにその後次第に數里の僻遠なる元の萬和里に持って行く事が矢張り至當であるとの議論が持ちあがりさきにこれを組合會議にかけた所が贊成否の數は相半し問題の解決はますます困難となつた、尤も校舍が現狀のまゝで、ゆけるものであれば何もその解決を急ぐ必要はないはずだが何分校舍の狀態が腐朽の急務となつて居るところからいやが應でも近く移轉か否か何れにか解決をつけねばならぬ問題にあるだけに移轉派側では道に陳情委員を派遣し飽までもその目的の貫徹に努めてをり又一方の月山里側では極力それに反對の氣勢をあげてをるが當局の態度が決しかねるかで問題はこの際暖みあるかに注目されて居る（沙里院）

米作百萬石
近年に無い大豐作

黃海道の米作は昭和に百萬石を突破したのは大正七年と大正九年の二ケ年であつたが本年は鮮內一般の豐作で黃海道も御多分にもれず九月廿五日の秋分の豫想收穫は水稻だけでも百〇六萬一千石で前年に比し約二割七分三厘の增收である陸稻も又前年に比し六割六分三厘の增收といふ好況であるので農家は人氣立ち喜色滿面といふ有樣である（海州）

初等校長會議
十九日から

講習會その他の關係で一時延期されつゝあつた黃海道內の普通學校長および小學校長會議は十九日から開催の事に決定されたが今回は私立學校も參加するので總員百廿三名に上るはず（海州）

自動車行軍隊

平壤飛行第六聯隊將校下士以下六十七名の自動車行軍隊は五日沙里院に來り警察署後庭で中食を攝り午後載寧に行き一泊六日歸還（沙里院）

多田技手榮轉

黃海道の水利工事の開拓者といはれた多田八郞技手は黃海道各方面の水利工事を完成しその功績の見るべきものがあつた多田八郞技手は此度の異動で咸鏡北道に榮轉し六日官民多數の見送りを受け海州を出發した（海州）

江原道

實彈射擊會

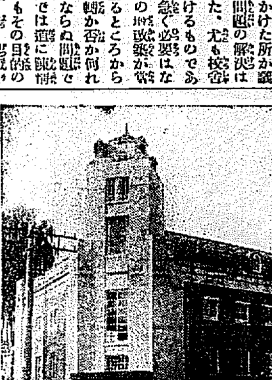
鐵原在鄕軍人分會の實彈射擊は來たる廿三日鐵原警察署の射擊場で鐵原警察と聯合射擊を行ふことに決定した（鐵原）

七十九聯隊
鐵原に分宿

步兵七十九聯隊は平康平野における演習より龍山の途次去る五日鐵原および隣接の四百五十名は鐵原に分宿營をなし六日午前四時出發した（鐵原）

郡屬異動

江原道では三十日附左の如く郡屬の移動を發表した（春川）
任道視學　金昌榮
內務部地方課勤務を命す　小副川官吉
任郡屬兼道屬春川郡庶務係勤務を命す內務部會計課勤務を命す　柳完永
任郡屬兼道屬春川郡庶務係勤務を命す內務部學務課勤務を命す　李永淳
任郡屬淮陽郡庶務係勤務を命す　史珍浩
任郡屬麟蹄郡財務係勤務を命す　成吉祚
任郡屬旌善郡財務係勤務を命す　李完洙
任郡稅務吏三陟郡財務係勤務を命す
郡屬（平康）黃恒根
平康郡庶務係勤務を命す　郡屬（鐵原）劉錫
平康郡庶務係勤務を命す　郡屬（華川）李澤俊
鐵原郡庶務係勤務を命す　郡屬（華川）金錫勳
三陟郡財務係主任を命す　郡屬（鐵原）金致承
華川郡財務係勤務を命す　郡屬（平昌）柳大根



けふ落成式を擧げる清州上黨金融組合

咸北視察團

咸鏡北道農務課屬一行參十名は去る六日午前八時來鎮中央水利組合事業を視察し午後三時京城に向つた

鐵原校運動會

鐵原公立小學校では來たる九日校庭で秋季運動會を開催する（鐵原）

咸鏡南道

開港記念準備委員會
論戰で活況

明年開催の開港五十年祭の記念事業準備委員總會は五日夜府廳で開催、元山神社を現府廳敷地に移轉の件は賛否論議の末委員會から切はなし氏子總代會に一任すると記念碑は神社境內に設置に決した公會堂は商業女學校敷地に反對多く、滿洲國物ホーム新築に決定、公設運動場の擴張完成と圖書館の新築完實に關し論議はげしかったが結局これを認め圖書館の位置は委員部會で撰定するに決し把握會は分館を元山里方面に設置する事として散會したが、當夜は時間勵行を口火に事業の急不急から經費捻出方法について甲論乙駁頗る活氣を呈した（元山）

爆藥密輸事件
主犯に懲役二年求刑
言渡しは二十日

朝鮮全道の爆藥密輸出事件として耳目を聳動せしめたる玉川鐵吾、犬塚百右衛門外四名にかゝる公判は釜山地方法院長谷部裁判長の手で戶田、高木兩陪席判事、千種檢事列席の上六日午前十時開廷事件の複雜な論告ありて犬塚百右衛門、玉川鐵吾主犯には懲役二年相內太郞米原酒は各一年半、佐藤榮吉田所兼三は何れも一年の懲役を求刑し各被告辯護人の辯論あり午後二時閉廷したが判決言渡しは來たる二十日（釜山）

咸興から

◇……一日夜咸鏡北道沿岸に襲來した颶風雨は同地に實地調査の爲め出張中であつた鵬部道技手の歸來談。
◇……新浦沿岸の被害は漁船二十隻損傷二隻は沈沒、三隻は再び用をなさぬ大破、この沈沒船乘組員七名は溺死し九人は全然行方不明、死體の發見されたのは既報の通り僅一名に止る。
◇……右の遭難船は何れも颶風襲來と共に海岸近く避難せんとしてかへつて波濤の激浪にもまれた揚句がこの慘害を負ふに至つたもので漁の深い遮湖方面へ避難したもの三十余隻は皆無事である。
◇……哀れむべきは遭難漁夫の遺族で夫を失つて號泣する者の姿をばに無心の遺兒が仔猫を抱いて嬉戲するさま、十人も持つ子供の中のたつた一人の息を失つたおやぢのなげき等目も當てられぬ慘狀である
◇……更に昨報網船でも不明一隻、破損三隻、死者五名、漁具の流失もおびたゞしく今更ながら颶の被害の甚大さけばれて居る

太陽團盛況

咸興靑年會太陽團一行は六日夜から遊樂館で

イカ釣りとスルメ製造講習

目下西湖津方面で行ひつゝある咸鏡南道水產會主催のイカ釣りおよびスルメ製造講習は、來月十六日から月末まで元山を根據として開催の豫定である、本年は昨年と同樣イカの回游が少く漁況は充分豫期の効果をあげ得ぬが講習は極めて良好であると（元山）

元山商議改選
候補定員と同數

十日執行される元山商業會議所議員改選に內地人側は既報の如く定員十六名に對し候補者十六名で、鮮人側では四名の定員に元議員には金鉉、金利鎬兩氏を推し市議員のに拮抗したので內鮮人共に定員一杯で選擧は無競爭に終るであらう（元山）

元山片々

◇……元山府外の二村米鎮は……ら來た金東浩（二）が持つて居る阿片百匁を支那人に密賣しようと五日支那町で取押へられ阿片は沒收された
◇……鹿兒島市……元山邦家治店に出た（三）といふ商用元山邦家治に出たばかりの浮浪人は五日窃盜で逮捕へられた
◇……元山市中に近頃たくみに婦人の袂を切るチボが出沒するが犯人は內地人らしく嚴探中
◇……泉町四丁目士農商大方に四日夜忍び入つた窃盜は洋服金時計を盜んだ上に鍋一杯の味噌汁を吸つてドロンと消失せた
◇……四日夜新小新町の三人づれの鮮人が新石隅町洞田某の宅をおとづれ、留守居の婦女から主人は選擧だと聞いて飛んで逃げ出した

武德殿上棟式

咸興警察部に於て警察官および一般から四萬余圓の寄附金を募り物產陳列館後部に建築中の武德殿上棟式は六日午後三時から同所で擧行されたが竣工までにはなほ一ケ月を要する見込である（咸興）

運動會

元山商業學校では九日同校々庭で秋季大運動會を催すはずであるが同商業學校は七日同校々庭で運動會を催し盛會であつた

腦脊髓膜炎
更に二名發生

咸鏡北道および咸興地方に流行性腦脊髓膜炎は更に二名の新患者を生じ六日現在では發生累計二十九名、全治四名死亡十四名、現在患者十一名なり相當警戒を要するもので目下嚴重警戒中である（咸興）

申込あり

……から六日までに大入り滿員の盛況で……元山……はず（元山）

慶尚南道

躍進的增加
慶南釀造界

第七回慶南酒造品評會は品評會として釀造各都の酒類、醬油および味噌の一切を網羅して十月十九日から廿二日まで四日間馬山府に開催することに決定し廿二日授與式を行ふ豫定であるが全鮮一ケ年の酒類生產額六萬石中慶南の生產は二萬一千石で全體の約三割五分におよびその他燒酎七千石（三割七分）醬油一萬石（一割九分）味噌十五萬貫で年々慶南の釀造界の地位を高めつゝあり生產額も漸進的に增加されてをり加ふるに仕込時期に際して米價安なると明年御大典の關係もありして本年度の醸造高は增加する見込みで業者は品評會の充實に意氣込んでゐる（釜山）

大擧して神宮競技へ

朝鮮神宮競技大會へ出場のため慶南の競技大會を主催した慶南體育協會では兩米庭球選手の編成と準備を取急いでゐたが總員四十七名で陸上競技および庭球野球の出場選手は一行は十五日夜釜山發列車で同じく野球選手一行は十三日朝の特急で上城の豫定である、因に慶南派遣選手選拔のため上城を希望する者多く東拓、釜山商銀並に馬山、金融各方面の常年職員からも

怪しいハイカラ

數日前から釜山府富島町鄕林旅館へ投宿してブラブラ遊んで居る朝鮮人のハイカラ青年あり六日正午過ぎ擧動不審として本署に連行取調べした處京畿道通川郡豐城面斗只里朴萬碩（二三）と名のり自動車運轉手の志願を以て來釜したと自稱すれど二三怪しい點があるので所持金を調べると身分不相應にも大枚二百八十圓を持つてをり右所持金の出所を自白せずあいまいを極めるので目下拘留取調べ中（釜山）

天六病院長
取調べらる

東萊方面で數日前から內地人の醫師風の男が朝鮮人婦人患者に注射をなしつゝある事實を探知した釜山署で不明の怪し氣なる注射をなしつゝある者として取調べた結果同人は大阪市北區吉山町天六病院長若木鄕彰（四）と名乘り朝鮮語の研究と特種病研究視察の爲去月中旬渡鮮し研究の結果は大阪醫科大學へ報告を依賴されてゐると語つてゐるが頗る怪しい點があるので目下釜山署では自稱醫業地の大阪へ照會すると同時に嚴重取調べ中である（釜山）

原種牛近況

慶北道における原種牛九月末現在の調査によれば慶州川北面種牛里、慈城里の原種牛は合計頭數百三頭で管理人員七十八人である大正十三年度原種牛設置以來生產計九十六頭、疾死十二頭淘汰二十六頭配布二頭であるが因に配布は生後三十ケ月に達したものを種牛として配附するが本年十二月までに北二頭牡一頭の配附豫定ありなほ本部落に對しては地方費補助により昨年度四十ケ所本年度五十四ケ所の原種改良を實施した堆肥生產指導部落として肥料の增產につとめ改良種を飼育し家畜の共同販賣を行ふ等同地の鮮農の熱心な指導で模範部落の良成績を示してをる（大邱）

慶尚北道

迎日漁組時總代會

慶北迎日漁業組合では十月六日午後一時より臨時總代會（總代會）を開き組合長の選擧並に吉本組合長が總代に當選したのでこれが補缺選擧を開いたが組合長には朴允余氏就任には楓本修氏が當選した

嬰兒殺し

慶北尚州郡內居住の中李某（三）は十三年前から獨居と孤獨の生活をつゞけてゐたが一兩年前から同居人の金大江（三）といふ子のやうな年下の若者と關係して因果の胤を宿し數日前自宅において分娩した嬰兒を壓殺したとが所轄署で探知し目下取調べ中

産婆看護婦試驗

慶尚北道では十一月二十八、九の兩日間同道衛生課において産婆看護婦試驗を施行す受驗志願者は來月三十日までに同道衛生課へ到着の日取

理髮試驗

慶北道では理髮試驗規則第一條により十一月十六日より二日間道衛生課において理髮試驗を施行する願書は本月三十一日まで住所地を管轄する警察署に提出すべしと（大邱）

全羅北道

群山愛鳥會
小鳥大會開催

群山の小鳥飼育者は近時いちじるしく增加し同好者は現在百余名を算するに至つたので鳥に關する智識の交換並に鳥類愛護思想の普及、趣味の向上および營利的研究の助長を計る目的を以て同好有志發起となつて群山愛鳥會を組織し規約を制定し會長に朱尾正一氏副會長に西村直藏氏顧問に有馬長次郞氏北村直輔氏外會計評議員十余名を選定したが來る十六十七の兩日間群山公會堂を會場として小鳥大會を開催する（群山）

南鮮荒し捕はる
貴金屬洋服專門ドロ

大邱警察署では目下京城三十歲前後の鮮人男を逮捕し嚴重取調べ中であるが同人は本籍慶北尙州郡蓮山里住所不定朴三龍（二）として本年春より釜山、群山、大田の各地において貴金屬店並に洋服專門の窃盜を働き七月中旬頃大邱府內に入り込み龍岡町綿戶某夫方外十余ケ所において金時計および洋服等時價七百圓に相當する物品を窃取し府內各所の質屋古物屋に入質又は賣却して居た者で五日午前十時頃本町二丁目、某質屋に入質に來た處を大邱署員のために捕へられたものである。

不正質屋嚴罰

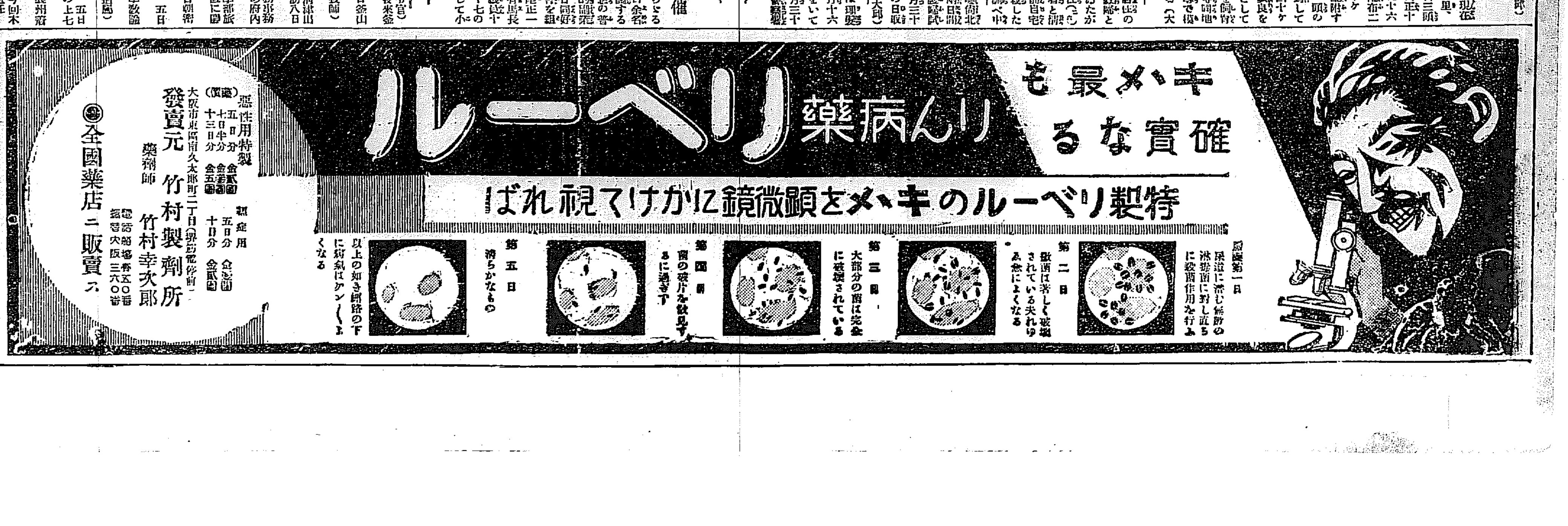
大邱府南山町質屋業徐內默は犯項所轄の窃盜犯人朴三龍が窃取した金時計を入質に來たのを情を知りながら安價に買求めた事が發覺し目下大邱署において嚴重取調べ中であるがかゝる不正質屋に對しては嚴罰に處する意向であると（大邱）

モヒを注射
罰金百圓即決

大邱府達城町無職崔某氏（二）は九月三十日午前十一時半頃大邱府內鳳山町白基三方においてモルヒネ及びコカイン十一包（一包五瓦入）を所持し自己外二名に注射し居るを大邱署巡查に發見され即決

地方人事

▲長澤中將（鎮海要港部司令官）大邱覆審法院判官として六日夜來釜
▲小倉要港部參謀　同上七日釜山通過內地へ
▲西宗八十八氏（全南水產技師）六日朝釜山より內地へ
▲今泉茂松氏（新任鐵道局淸津出張所長）六日府內各所歷訪八日朝出發の由
▲岡村正雄氏（新任釜山工務事務所長）六日新任挨拶の爲め府內各官公署歷訪
▲柳宗悅氏夫妻　同志社女學部旅行團同伴六日朝釜山上陸直に慶州見物の爲め大邱へ
▲加藤木園南鐵營業課長　六日朝密陽地主會出席の爲め出發
▲大池忠助氏（釜山實業家）五日朝內地へ
▲末松秀雄氏（新任京城中學教諭）八日大田へ赴任
▲佐々木豐一氏（新任忠南道屬）同上
▲倉品征太郎氏（光州面長）五日大田府治水下水工事視察の上七日歸任
▲園田山林部長　十三日新義州營林署の豫定
▲熊谷寧氏（光州青年團長今回木浦新報社に榮轉六日朝發赴任



京畿道

益濟寮
發成所跡に
鐵道から交渉

仁川から鐵道に移轉した海員養成所の建物利用については府民の間にも相當に研究せられ或は水産學校を開設すべし、或は府營旅館と興台館として借受けてはいかん等いろ〳〵の説があつたが最近鐵道當局は仁川には「益濟寮」の設備なく鐵道従事中の職員等が市中の下宿で起臥してゐる現狀に鑑み元養成所の寄宿舍を借受けこれ等の職員を收容せんとする計畫を立て現に鐵道局および鐵道所有者たる税關に交渉中である

野球リーグ戰
仁川で擧行

仁川體育協會の主催で廿三日午前九時から山根町公設グラウンドにおいて秋季野球リーグ戰を擧行することになつたが出場チームは次の通り
ミナト倶樂部▲仁商倶樂部▲鐵道▲商業

理髪業組合を脅かす
支那人床屋

仁川理髪業組合の加盟組合長並に理髪組合長は六日仁川署に出頭し藤井保安主任に何事か陳情してゐたが聞くところによると右は外里一七九支那人理髪業者某如生が今度仲町に移轉することになつたが、仲町は一等地に當たるので組合規則に從ひ料金を四十五錢に値上げせねばならぬのに吳生はこの規則を無視し從前通り二等地の料金四十錢で開業せんとしてゐるからわれ〳〵組合員の利益擁護のため縮って貰ひたいといふ意味の陳情をしたものである

仁川署射撃會

仁川署では十日午前九時から府外長意里の射撃場において秋季教練射撃を行ふ

廣州學組議員選擧

廣州學校組合議員選擧は四日施行の諸氏當選した（廣州）
▲十一點川村與三郎▲十一點伊藤朗▲十點鈴木良平▲九點山口純毅▲七點井上六郎▲六點池田金太郎▲次點山本淸福▲篠原雄

對支貿易調査

仁川商業會議所の岡本書記長は對支貿易並に港勢調査のため十二日仁川出帆の利通號で出張。

忠清南道

大田振興會聯合總會
十五日大田第二普校で

大田郡内には九十三の振興會を有しそり各會とも部落の改良に努力し成績を擧げてゐる。即ち基本財産造成、黒衣奬勵、里勢一班調製、納税勵行、冠婚葬祭の費用節約、節儉貯蓄、諺文或は國語の普及と相當の成績をあげてをるが來たる十五日午後一時より大田第二普通學校講堂において聯合會の總會を開催するはずいて諸準備を急いでゐる、當日の式次第は左の通り（大田）
一、開會……會聯合會長二、議事報告……同上三、訓辭……李忠南知事……伊藤郡守四、振興會實行狀況報告五、昭和三年度實行種目の協定六、閉會七、茶話會

武道大會と
大田署の意氣

既報の通り朝鮮警察協會忠南支部主催の武道大會は九日公州武德殿において擧行されるが前回の優勝（鐵道部）大田署にては柔劍道選手のため既に稽古を開始し坂田二段その他有段者の指導にて必勝を期しての猛練習を開始しをり石にかぢりついても優勝旗は渡されぬと素晴しい意氣込であるが選手（劍道）磯田、市來、西川（柔道）季、松本、細川）は八日正午出發の豫定で出發のはず（大田）

牛城水組工事落札

公州郡牛城水利組合工事入札を九月三十日公州郡廳において執行したが中村組作氏に十三萬八百圓を以て落札したが十月十日前後より工事に着手明年五、六月頃竣工の豫定（公州）

師範校運動會

忠南師範學校では六日より九日まで生徒夏期休暇中の作品を同校内に陳列し一般觀覧に供し引續き九日より校友會主催で第四回運動會を同校運動場に開催四十余種の競技を行ふ（公州）

儒教講演會

九月三十日公州普通學校で公州郡主催の下に儒教講演會を開催、高山公州郡守の開會の辭に次いで經學院講師成樂賢、黃朝氏講師成樂賢、申忠南知事、經學院參與官の講演あり來聽者約二百五十名に達し午後五時散會

忠清北道

地主懇談會
決議事項

九月二十九、三十の兩日清州小學校講堂において開催した忠北道農會主催地主懇談會における決議事項左の如し（淸州）

協定書

本道農業の開發進展に寄與せむがため吾人一同は忠淸北道農會長提案に係る各種農業施設希望事項に付審議講究の結果左の通り協定し協力一致之が實行を期す

一、小作慣行に關する件
一小作關係は小作人に於て特に不都合の行爲ある場合の外は解除せざること尙舍音をして地主の同意なく小作の返還を命し又は小作條件變更をなさしめざること二舍音の人選に付ては特に意を用ゐ公正なる人物を選み可成變更を行はざること
三小作人に對し改良品種を督勵し優良小作穀を納入する者に對しては奬勵の意味に於て一石に付五升乃至一斗の範圍に於て奬勵穀を交付すること
四小作穀の收納は唐箕選を行ひたるものに付ては斗槪を用ゐること
五小作地に使用の金肥代金は打租の場合は地主小作人折半負擔すること
二、金肥施用に關する件
旱水害の虞なき小作畓に對しては反當大豆粕一枚を標準とし購入貸付を行ふこと但し購入資金は低利資金を利用し小作人より利鞘を取らざること
三、自給肥料の件
堆肥の增製綠肥の栽培を奬勵し成績優良なるものに對しては授賞の方法を講ずること
四、前各項の外道農會長提案に係る各希望事項は出來得る限り實現に努力すること

全羅南道

實業大會提出議案

十月十五日光州において開催の實業大會へ光州より提出する議案左の如し（光州）
一、光州線に上涯延造方を鐵道局に要望の件
二、昭和三年秋期に於て光州を中心とする潭陽、和順、長城、羅州の五郡物產共進會を光州に開催方當局に要望の件
三、和順無煙炭鑛の處理促開策を當局に要望の件
四、取引其他各方面との商取引に信用狀利用し取引の圓滑を圖る事
五、全南鐵道の國有後に於ける未成線完成の促進を期する事
六、南朝鮮鐵道の速成に付一層の努力を當局に要望の件
七、昭和五年度に於て湖南道物產共進會を全南光州に開催方要望の件

貧困で鐵道自殺

六日午後八時淸州驛發麗水行列車が淸州をさる半里雲泉里にさしかゝつた際線路に飛込み自殺をはかり車輪に轢れて頭骸骨および手足にめちや〳〵の負傷をなし即死したものがあつたが届出でにより淸州署より田中署長以下數名現場に急行し取調べの上轢死者の身もとは雲泉里姜永錫（三）と判明、同人は妻との間に十歳を頭に三人の子供あり貧困で殊に厭世的の語氣をもらしてゐたのである（淸州）

◇……八日午前十時より本道より納せらるゝ新嘗祭御新穀の修祓式を淸州郡四州面山北里の齋耕地において執行さるゝはず
◇……豫て新築工事中の淸州上黨金融組合は八日午後三時より落成式擧行
◇……篤志家森垣太郎氏の地方改良講演會は淸州面主催にて九日淸州普通學校講堂にて開催
◇……本町六丁目に豫て新築中の監察取締所は落成式を十四日午後三時より擧行
◇……淸州醸造校興式を七日午後一時より淸州普通學校女子部校庭において擧行した

大谷瑩誠師光州へ

東本願寺派では朝鮮開教五十ケ年に相當するので副管長大谷瑩誠氏記念巡教として全鮮を巡回する由にて随員朝鮮開教監督津田啓本山教務課長古谷部以智兩師と共に八日來光し同日午後二時半より東本願寺に於て親教式並に歸敬式を行ひ同八時より光州小學校講堂にて道話後援の下に講演あるはず

巡査部長試驗

全羅南道の巡査部長試驗は八、九の兩日巡査教習所外四ケ郡にて擧行すべく受驗者百名以上におよぶ（光州）

光州高普運動會

光州高等普通學校では九日午前九時より同校々庭において第四回秋季運動會擧行のはずにて目下準備中

光州愛婦茶話會

愛國婦人會光州支部役員の茶話會は會員松島氏釜山に轉任につき送別を兼ね時日を繰上げ六日正午より昧務部長官舍で開催したが出席者廿余名で盛會であつた（光州）

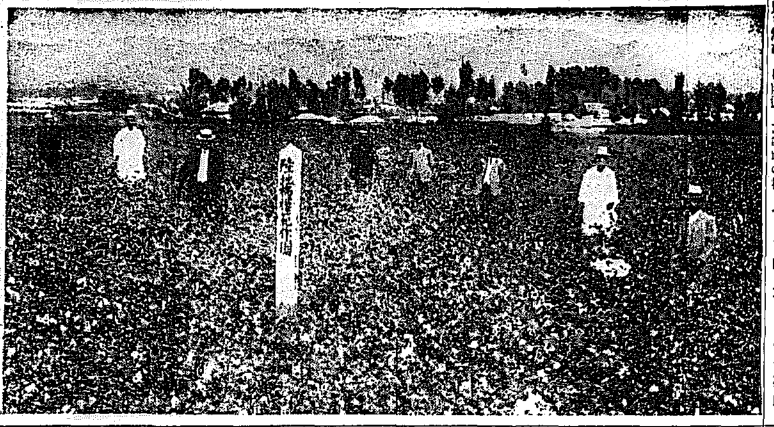
鮮語二種試驗

全羅南道の第二種鮮語試驗は五、六の兩日道會議室において擧行、受驗者四十一名の内三名缺席して三十八名であつたが成績は十月末發表のはず（光州）

淸州から

◇……さる五、六兩日開催した淸州郡西江三等道路品評會につき[illegible]

陸地棉模範作圃



大田郡鎭岑面農會本年度陸地棉の作成段反別は千七百七十五町歩で百六十五萬斤の收穫を豫想されて居たが本年は天候順調と共に病蟲害の被害も少なく概して良好で豫想以上の收穫を見込まれて居る郡農會模範作圃（大田郡春日町三丁目附近）は二千坪に對し千六百斤の收穫を得たともいはれてゐる因に三日以來共同販賣を開始して居るが各面共昨年に見ない好成績である（寫眞は模範作圃大田）

肺結核の理想的治療に成功す

（東京傳染病藥品試驗所にて）

過日東京諸新聞紙上に發表されたる結核藥と共記事全文を宣傳の爲め茲に再記す

東京市下谷區上野驛東口傳染病所前東京傳染病藥品試驗所にて從來治療困難と稱せられつゝありし肺結核に對する學理的の治療藥の發見に成功し藥界醫學界に萬丈の氣を擧げたり、この發見たるや結核は不治なるものと認められつゝありし醫學界に新機軸とも見るべき物にて我國醫界の

治療上

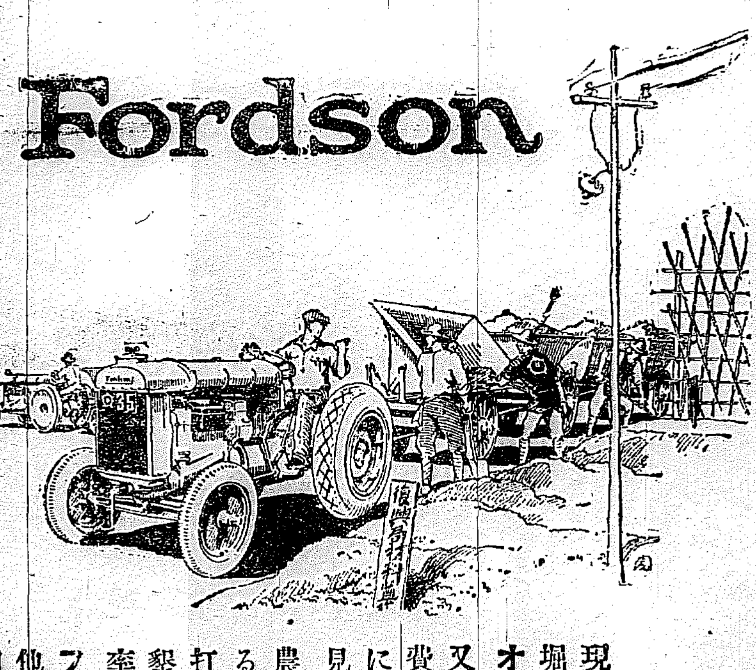
に貢るに足ることは言を俟たず、近來の結核者には實に惜むべく、且又この治療發見の一足早かりせばと嘆惜する貴族も數萬なるや、但し將來の結核患者には、大福音として其名をば輝くべく慫慂さるゝに難からざるべし。尙此名藥は名稱をチベリユム（A、B、C）號と決定せる由。

完成した結核の名藥

無報を得べく自邸に名聲ある發見者市野金四郎氏（三）を訪へばよろこびに耐へられぬ笑を浮かべて曰く「實に苦心をしました、僕は數年前よりこの治療に心血を注ぎ時には財産にすら窮し大震災にて研究材料も燒け一時は神經衰弱をも起しました、然し窮する時ではないと奮起して漸く今日の結果を得てうれしくてなりません、このチベリユム（A、B、C號）は結核患者に欠くべからざる動植物の三界より製出した強力要素を含有し、或は甚だしき患者及び喀痰甚しき者喀血頻々として起る者に服用させると半ケ年以上の盜汗藥よりも數等體力肉付を增して

結核菌

を殺滅し肺部の腐敗部を漸次新鮮な肉とかへる特質を有しますから患者に最高の快復率を會識しました私の恩師や後援者からも非常な期待をされてますから今後共生涯結核の研究に一身を捧げたいと思ひます何方にも原料も非常に高價な爲藥價が餘り安くないので困ります、藥は一週間や十日間服用しても其藥の眞價を認めて貰へませんから約一ケ月分チベリユム（A號）拾圓、チベリユム（B號）試拾圓、チベリユム（C號）參拾圓として世上に出しました。各A、B、C號とは病勢の程度の事です。因に市野氏は多年結核の新研究に從事し結核藥學界の權威者として名譽高き熊本縣出身の門閥家なり篤實なる氏の性格より推して將來眞摯な經營方針をたるべきものと觀測されてゐる。尙チベリユム（A、B、C號）の申込又は説明書は東京市外本所町二〇〇五東京傳染病藥品試驗所研究部又は下谷區仲御徒町四丁目五十一上野驛前試驗所販賣部電話下谷一五七五番へ問ひ合すべし



經濟的運搬及農園用として
フオードソン　トラクター

現代式の會社商店では、重量貨物の運搬、地均し、敷管、堀鑿工事等に經濟動力の供給を要する場合には、常にフオードソン、トラクターを御使用になります。

又工場等に於て、原料の移動、製品の揚卸し等に多大の費用を要する場合、フオードソン、トラクターを御採用になれば、必らず莫大の勞力を節約して、利益の增進を見るのであります。

農園用としてのフオードソン、トラクターは、其用途頗る多く、畓に耕作、畝作り、種蒔、草取、施肥、刈入れ、打稈等に利用して、收獲の增加を見るのみならず、又開墾、伐材、灌漑等の各種難作業に使用して、驚く可き能率を發揮するものであります。

フオードソン、トラクターは既にフオード經營の農園其他に於て試用され、最も實用向きの農具たる事が實地證明されて居ります。

日本フオード自動車株式會社
橫濱市綠町四番地

寫眞機と材料アルバム類
思い切つて安い
釜山辨天町一丁目
山崎寫眞機店
電話二七六番

府立
仁川病院
電話 事務用一六番・病室一〇二四番
院長醫學博士　岩井勝三郎

●成功の秘訣は頭腦を愛するにあり◆健能に依らずんば成功の道なし◆頭のボンヤリした時◆その頭のクシャクシャする時

頭の重い時悪寒ドキ利は恐の極なり◆そんな時こそ醫學博士森田資孝先生推奬の頭痛脳傷効藥●獅子印の

ノーシン

なーぶくのんー二三分間休憩し忽ち頭腦の爽快となるを待つて再び活躍されんどを熱誠以て御占ひ

眞正カワウソのキモ分譲す
鑑定ノ鑑定證付キ有効證明（二七物ニ注意）
釜山富平町一丁目角
蛇ノ藥屋事天意堂藥舖
電話一七六七・振替京城七七六四

◎ミツワ石鹼

泡（あわ）

一、石鹼が目的とするは勿論其泡ですが、卽ち、◎ミツワ石鹼の泡は
一、宛としてクリームの様に頗る細かくて、而も甚だ豐かに立ちます。
一、加ふるに、永續性が有つて、適度に泥み、而も決してぬらつかず。
一、況んや、其作用は特に緩和にして後に絕對に石鹼分を殘しません。

おしらせ
從來の此の「實函入」徳用の外に今度「赤函入」廿錢◎ミツワ石鹼ミツワ煉石鹼を實出しました。値段は廿錢です。共に御愛用を賜ふ

Mitsuwa Soap MADE IN JAPAN

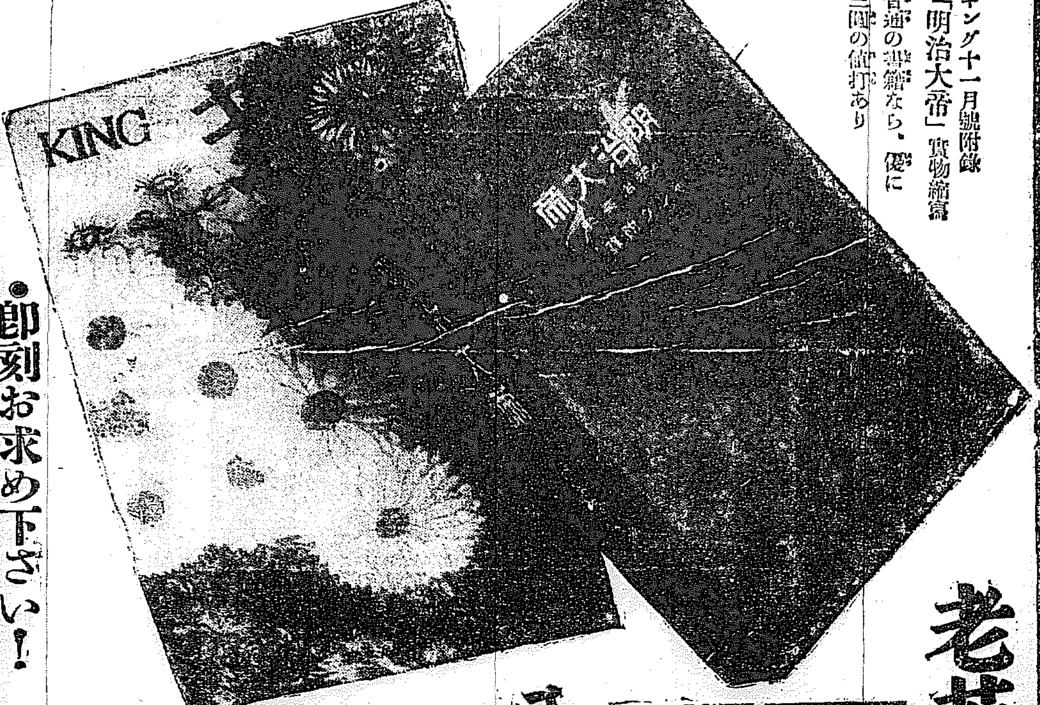
本舗 東京 ◎ 丸見屋商店

10.9

明治大帝 （附）明治美談

キング十一月号附錄

萬代に輝く大聖典！



キング十一月號附錄「明治大帝」實物縮寫
普通の書籍なら、優に三圓の價打あり

老若男女日本人は皆御覽下さい！

水野文部大臣閣下

竹下大將閣下

文部大臣 水野錬太郎閣下曰く……

殆ど無代價に等しい廉價を以て、一般に頒たんとするは國民全體に必讀を望む熱誠から出たものであらう。宜しく座右の寶典として備ふべきである。

海軍大將 竹下勇閣下曰く……

謹んで拜讀するに何れも至誠の結晶とも云ふべく、數頁を讀む中に早くも感涙に咽ばざるを得なくなつた。最近讀んだ書物の内で、之程感激したものはない。

八百廿八頁の大册（上製函入）キングと二册で壹圓

果然!! 大註文殺到!!

賣切れても增刷不可能
買ひ損へば永久に手に入りません。

大帝側近の奉仕顯官名士と大奥女官擧つて謹述！眞に得難き内容！感激感動！

大奉仕の廉價！機會は二度となし！
●即刻お求め下さい！

謹述名家

樞密顧問官 石黑忠悳
御歌所寄人 阪正臣
元掌侍 藪嘉根子
陸軍中將 大島健一
元侍從職 石山基陽
海軍中將 齋藤孝至
二位局 柳原愛子
宮中顧問官 井上通泰
伯爵 壬生基義
元典侍 高倉壽子
伯爵 田中光顯

子爵 岡崎泰光
陸軍大將 山梨半造
子爵 三室戸敬光
元命婦 平田三枝
慈光寺仲敏
御歌所寄人 千葉胤明
正三位 下田歌子
子爵 金子堅太郎
元典侍 園祥子
海軍中將 川島令次郎
子爵 小笠原長生

元侍從男爵 澤宣元
掌侍取扱 樹下範子
陸軍中將 曾我祐準
栗原廣太
文學博士 三上參次
伯爵 坊城俊良
元典侍 千種任子
海軍中將 松村龍雄
元典侍 小倉文子
貴族院議員 上田兵吉
東京美術學校長 正木直彦

元命婦 西西子
陸軍中將 長岡外史
宮中顧問官 日根野要吉郎
宮中顧問官 新山莊輔
海軍大將 有馬良橘
男爵 田健治郎
元命婦 生源寺伊佐雄
宮中顧問官 吉田要作
前首相 高橋是清
子爵 藪篤麿
陸軍大將 本鄕房太郎

元掌侍 吉田鉦子
宮中顧問官 長崎省吾
明治神宮宮司 陸軍大將 一戸兵衛
元命婦 樹下定江
子爵 後藤新平
子爵 日野西資博
公爵 德川家達
米國文學博士 グリフィス
陸軍中將 赤井春海

（順序不同）

血湧き肉躍る明治美談

▲副島種臣風伯に祈る……
▲後藤象次郎の膽ツ玉……
▲勝海舟の面目……
▲前原一誠涙の別れ……
▲情の子涙の人西鄕南洲……
▲川上音二郎の立志奮鬪……
▲黑田清隆と榎本武揚……
▲板垣退助の「辭爵の表」……
▲岩倉具視公の沈毅……
▲山岡鐵舟の活人劍……
▲機智縱橫の鳥尾小彌太……
▲快男兒岩崎彌太郎の風丰……
▲快傑大村益次郎の最後……
▲堅牢で大膽な若尾逸平……
▲銀行界の偉傑中上川彦次郎……
▲名優市川團十郎晴れの舞臺……
▲東鄕平八郎決死の一彈……
▲日本のルソオ中江兆民……
▲參議大隈重信の熱辯……
▲豪僧南天棒の眞情……
▲一言一句苟もせざる山縣公……
▲正岡子規の奇蹟的精力……
▲村井吉兵衛の城明け渡し……
▲伊東祐亨元帥と丁汝昌……
▲誠忠無二の原敬……
▲伊藤博文とマデソン翁……
▲川村純義誠忠の祈願……
▲乃木將軍……
▲ハルビン原頭の兩志士……
▲流石は川上操六……
▲貞烈無比の税所敦子……
～この外數十項～

明治大帝 特製本

これはキングの附錄ではありません。篤志家の御希望により謹製致しました。之れ一册で定價五圓（送料廿四錢）（裝幀）羽二重、背皮金文字入（函）新工夫折疊式、箱入

發行所 東京本鄕駒込坂下 大日本雄辯會講談社 振替東京三九三〇

全鮮都市爭奪リレー（七日目）

白軍

惡縁は盡きず 吳越同舟で元山着

涙催す埠頭の盛大な歡迎

元山にて 第二走者 秋田選手

上弦の月が海上をほの白く照らして居る。『永興灣』の彼方に金砂をまいたやうに見える。船は元山に浪いたのだ。溜眠を破つてから一晝夜、ひそかに京城を發つてから六日になる。颯爽の山河を征服しつゝ、勝は我軍にあれと祈つて居たが、踊りにも惡縁つきず、又紅軍山岸選手と、今度はほんとうの吳越同舟だ。こうなれば敵ながら旅は道づれの感が起る。八時『元山に』上陸すると我れ等の船を待ちうけた佐藤本社支局長をはじめ元山府民の盛んな歡迎を受けた。中にも小學生多數が、本社の小旗を打ふつて歡迎を連呼して臭たことは涙が出るほどうれしかつた。用意の自動車に打乘つて、先づ元山占領のサインを受けるべく元山府廳へ馳つける。ソレ、リレー選手が來たといふ街上は大變な騷ぎだ。無事占領の『サイン』を得てホツと一息。元山出發まではまだ三時間ある。紅軍は内田第二選手が待ち受けて居たが、これからは鐵つた相手でどこまで御つき合をせねばならないことやら……」んな見送りを受けつゝ「水が凍らばスケートに、雪が積らばスキー、でも、まゝになる身の元山」を後に京城の客となつた。『出發の』際佐藤支局長は小さな一つの紙包を與へた。門出をいはふ勝栗だ。

郵貯のレコード破り 御慶事記念の爲

郵便貯金は九月三十日現在において二千四百七十一萬九百五十八圓と今までにない最高レコードを示し九月十日現在より二十日間に六十萬圓の激増を示すに至つた。これが原因は九月十日内親王御降誕と共に全鮮一齊に一週間にわたり御慶事記念貯金の勸誘に各局所が大童の活動に約五十萬圓の新加入者を出した結果である

紅軍

バトンを船から棧橋へ

重任を果しホツト一息

元山にて 第一走者 山岸選手

朗だ、六日夜の甲板上りの窓によるんだ『瞳みの』如く眠が明けた、雨がやんでよかつたと感謝した、舟の紅白兩選手が思つた、午後三時丸は千百屯の輕快な船足にわれの眠りも搖り上し、明くれば七日午前六時、脚に似たといふ西湖岬には入つた、城津沖の遙かに出迎へ見送つてくれた、うるはしい土地の城津は人の心もうるはしい、今日も日は高く照り『海靜か』なり、小波は日を受けて金銀にこまかくけつてゐる、このあたり海豚多く戯れを追つて來るのもこゝならでは見られぬ情景である。咸鏡の海邊にさうて船は上つて行く深夜山路の自動車突破も身體を疲れさせた、長の汽車の旅も今は樂しい思ひとなつて心によみがつて來る、やがて夜となる『濱邊は』夜は忍び寄に寄つて來るやみにつゝまれて岸には日暮りの燈に漁火がついて來る、居月夜を船は走つた、午後七時半海上の火光、燈として秋空の星と突き照るゝは元山の夜景であつた、その夜景のかゞやかしさよりもわれを感かしたのは、われ等を出迎へてくれた元山の歡迎振りあつた歡呼の出迎ひの中には我軍内田選手の『元氣な』顔も見える近くサインブックを同君に引繼ぐ元山のサインをうる、わが任務終れり、長の興奮の旅路を思つて感慨は深い

紅軍

幸先は良し 祝はれた勝栗

過去の榮光によごれたバトンを引繼て鐵原へ

元山にて 第三走者 内田選手

七日午後六時半紅軍山岸選手を迎ふべく『宵闇の』元山埠頭に立てば吳越の客をのせた平安丸は悠々港内に横づけされた、征服の旅にのぼる吾、一週日、この間沿道に敵を壓して見事な戰績をのこした山岸君は、たゞ少し色が黒くなつてゐる、吾の引つぎたバトンは戰塵にまみれ、吾の多年のサインはわが軍の光輝に『華ほぐ』紅軍の武運と共に喜びにあふれてゐた、引つぎだ僕は直ちに元山占領の證をうべく府廳にかけつけた。元山は古い港だ、燈火またゝく港にはへて、さんざめく港の夜は僅かにそれを思はせる、而して港町の元山は又同時に落葉松の元山だ、其の苗木の産額は元山だけで年々二百萬本此『苗木は』京畿、元山、京義各道の需要に應ずる、午後十一時二十五分、僕は激戰の秋田選手および河野部長と共に京

大實先づ劈頭戰で 鐵道軍を輕く屠る

3—1 秋晴れの球場ファンで埋り 大實の人氣愈よ沸く

秋のシーズン始めての外來強チームを迎へて京城のファンは七日は朝からこの話で持ち切つてゐたが果然七日午後二時頃からの京城運動場は人の波を作り、久しぶりに絶好の京日野球日和を現出しファンの熱が上にも高潮し午後二時半自動車を連ねて龍山鐵道、まづ入場して觀衆の大拍手を受けた、これに續けば、スタンドを埋めた觀衆は拍手してこれを迎へ洩いばかりの猛打に痛快をさへ思はす鐵道かなシートノックに觀衆はたゞたゞ感嘆と驚稱に我を忘れて全くボールの恍惚境にひたつてゐた、かたや松島の龍山鐵道かたや滿洲の雄大連實業、しかも早、慶、一敗地に塗れた余威に乘じて松島をじうりんせんとしてゐる闘のものである、恐ろしいまでの大挨戰を思はせて一瞬の間、觀衆が靜まり返つた午後三時五十五分松岡本社副社長の始球式から佐武主審のプレイボールの宣告に龍山先攻で戰ひの幕は遂に切られた（審判）日野二木氏

甘い投手戰

三回までは兩軍凡退にすぎたが大連は四回走者を出してよく敵陣を衝かし常に必ずバンドの正攻法を用ふるあたり地味に陣をひろふ心やりが見えてゆかしく、大連二回、三回に各安打一本を有したに反し京鐵の好投よく龍鐵の猛打を抑へ、勝負からすばらしい投手戰を思はせて止まない

二點を先取

四回は一番から三番まで凡退した龍鐵にとつては惜しく推移した四回ち若柳、田岡凡フライをあげた後安藤弟第一球を見物した後第二球のまん中に通るを長打一閃、ボールは秋空に白球を舞ふて左、中間に轉々として絶好の三壘打となりつゞく中川また第一球をきれいにショートを越させて安藤弟をかへし一點を先んず、中川二盜ののち吉岡三振不死に一壘二壘を殘つて中川生還宮武の凡打に終つた

吉岡の强肩

八回龍鐵小幡三壘ゴロの惡投に生きて一壘二進つゞいて佐藤の右翼飛球犧打になつたかと思はれたが吉岡の好肩よく捕手のミットに快投して三壘に封殺にするノーバウンドは定石ではないがあの際止むにきまつたかたちできれひであつた尤もこのノーバウンドは次ぎの佐藤のやはり右翼飛球に現つたこの際二死となるのであるから小幡としても充分スタートを機へ吉岡つかむよと見るまに進壘し吉岡のノーバウンドの投球のすきをぬすんで生還した、あの際やはりワンバウンドを本當とする九回必死に攻め立てた鐵道もラスト熊代か

更に加點す

が鐵道にとつては捕手であつた五回安藤弟は兒島の惡球の安打からはじまり小幡の三壘前の絶好のバンドに二進してチヤンス至つたが後援なく入らず大連は中島小飛の打に安藤弟殺されたが岩瀬第一球をよく遁んでセンターオーバーの大飛球を放ち一擧三壘を衝つて山本をかへす田岡投打六回七回はまた兩軍小闘

大連對龍鐵戰を見る

大		鐵
0	一	0
0	二	0
0	三	0
2	四	0
1	五	0
0	六	0
0	七	0
0	八	1
0	九	0
3	—	1

大連	打數	安打	三打	犧打	盜壘	三振	四球	失策
吉岡	4	0	0	0	0	0	0	0
宮武	4	1	0	0	0	1	0	0
中島	2	0	0	1	0	0	1	0
安藤兒	4	1	0	0	0	0	0	0
山本	4	0	0	0	0	0	0	0
岩瀬	4	1	1	0	0	0	0	0
將積	0	0	0	0	0	0	0	1
田岡	4	1	0	0	0	0	0	0
安藤弟	4	1	1	0	0	1	0	0
中川	2	1	0	0	2	0	1	0
計	32	6	2	1	2	2	2	1

龍鐵	打數	安打	犧打	三振	四球	失策
西村	4	0	0	2	0	0
今岡	4	0	0	0	0	0
關	3	0	0	1	0	2
兒島	3	1	0	0	0	0
小幡	1	0	1	0	1	0
綱干	2	0	0	2	0	0
佐原	1	0	0	0	0	0
後藤	3	0	0	0	0	1
藤田	3	0	0	0	0	0
熊代	3	1	0	1	0	0
計	27	2	1	6	1	3

らに二壘に、今岡まで凡退して遂に三點一で大連快勝した閉戰五時卅分

偉なるかな 大連實業

體育協會理事 高橋慶太郎

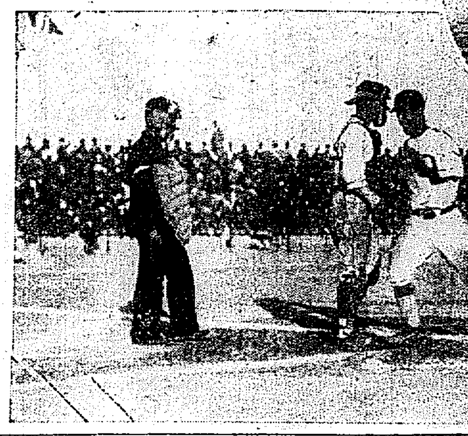
龍鐵を一蹴し覇權を握つて來た大連實業の强さは當然のことで外來チームに强さを誇る鐵道もちがたうなかつた、岩瀬のサウスポー投球は正確にして威力あり僅に安打一本を許せしのみ三振六本を與へ、若葉遊擊手、宮武の好守は水も漏らさず、西村の大フライをスタート美事につかみした翼手中川の老巧、正捕手將積の負傷は殘念であつたが、何にせよ大學選手や强豪チームより成り立つた山本などの剛の者揃のことなれば攻守共に隙がないのだ。鐵道の藤田も惡い出來ではなかつたが大連の强打にはかなはなかつた小幡の三壘强襲が三壘打となりそれによつて三壘打となり俄くチャンスに見舞はれ後藤の右翼フライが犠打となつて二點を入れ僅にスコアをまかめた。スコアは三Ａ對一といへ兩チームの間には相當の距離があるやうに思はれた。

偉大なる谷口投手

丸中德三

僕の友よ―岩瀬（谷口）君（殊更に云ふ）は矢張りうまいよ。うまいといふことはあのコントロールを云ふのだ。退いといふのはあの球速を云ふのだ。此の平凡極まる私の言葉は岩瀬、投手の偉大さは出せなからうか。外角球には彼獨特スクールボール打者には何等の遲疑もなく不安もなく突込んでそのシユートの物凄さに満場を酔けしめた。鐵道の好打者西村君を此の球で惱殺せしめたのは最も此の球の有効さを物語るシーンであつた。强打者大毎大門選手の明大時代を半明氣に於いて手も足も出せなかつたアノ内角球の正確さを今も尚ほ發して居る。プレートの位置から内角線上に入り込む球は容觀過ぎる位奇麗なものだ。鐵道の打者が多くこれを打つて凡退せしめられた。僕の友よ！かつて兩人で駒澤グラウンドの外野の芝生に轉びながら物凄きドロップを賞讚したことがあつたらう。あの球はけふは見られなかつた。恐らく肩をセーブする彼の自重から出た策であらう。私は淋しさを感じた、がそのコントロールと球速で觀えた氣持は満足させなければならない。フレスノ軍開富投手と共に今春以降わが京城を訪れたよき投手の双璧であらう。私は斷言する。龍鐵藤田投手もよく投げた。たゞタイムリーに安打せられたことが不運だつた。ブレーキはあまりないがあの大きな曲球と打者の隙を狙つた直球は大連實業軍の鋭鋒を阻んで鐵道軍投手陣の第一人者たる面目を發揮した。試合は初めから實業は敵を眼じた狹潮に乏しく將たるべき山も谷もなく過ぎした。大連實業に老いざる安ちやん。安藤二壘手がある。けふの戰に捕手負傷に代つて谷口の捕球をよくキヤツチしてその器用さを見せた。打撃は昔ながらのあの獨特の構へで堅實振りを示した。けふの試合で大連實業は私に守備のチームではないかと思はせた。大毎軍程の健捧家は見當らなかつた。遊擊宮武君の強肩と中川君の決定は甞し同君守備の粹であらう。

松岡本社副社長の始球と大連實業安藤（弟）三壘打に出て中川の安打により生還の刹那



けふ 午後二時半から（八日）（京城運動場て）

遞信對大連實業大野球戰

觀覧料ネット裏一圓、普通五十錢、學生三十錢

待たるる今日の對遞信戰

捕手難の大實軍も餘裕綽々たるもの

大連實業對龍山鐵道野球戰は別項の如く終つたが捕手將積がしりぞいて安藤代つたのは二回小幡の打者の時ボールが當たつて指を傷いた爲で大連としては捌出捕手が中耳炎で入院してゐるため捕手難ではあるがピツチングスタツフに鹽富、同時にキヤツチングスタツフにすげらし、鹽富なだけになほしやく／＼たる餘裕を殘して安藤（弟）が堂々たる好捕ぶりを示したものを窮しい眼ひである宮武遊擊手の輕快かつ強球の確く正確なる谷口の鎭球無比なる外野の堅固陣まるなどわれら意勢に堪へぬものがあるがけふ八日いよ／＼京城遞信との對戰は興味しみるべきものがあらう。遞信金山のインシュートに二木以下の猛將をそろへた堂々たる兩チームだけにフアンは必ず見逃せぬものがあらう

モヒ患者の大巣窟

陋屋にもだへ乍ら 人を呪ひ世を呪ふ

四百餘名が國際的に集る 西小門町を訪ふ

大平通りから西小門町に通ずる大漢門裏の手の支那屋並の一角からこの世をのろふ亡者の物淒いうめき聲が夜な夜な行人の耳を驚かしてゐる。生きるべき能力を喪はれ、嫌惰と反逆と、餘りにもみじめな貧乏と、そして犯罪とをもつてこの世の最後を擬瞞してゐるそれ中毒者の大巣窟がそれである。◇府内に流れ込んだ幾千となき中毒者の群れは、この世に見捨てられた者のみが有する異常の相貌をもつて各所に、獸類にひとしい堪閑生活を營んでゐるが、この西小門町一圓だけでも四百名の患者が集つてゐるといふ話獸人に等しき彼等が、この世のどん底にあつて、惱苦にあえぎながら、何を求め、何を樂み、何を話合に向つて訴へんとするのであらうか？到底常人の想像しおよばざる所であらう。◇西小門町といへば、そこにはあの支那人の魔窟がある。その一種と葱と脂粉の香のむせかへるやうな町にまるで押しつぶされたやうな朝鮮建のあばら屋のあるのを見受けるがこれこそ彼等の唯一の安住の地で、記者は七日の朝そこをたづねた。◇

ヌツと這入つたその家のやうすこれが人間のすまゐであらうか異臭のモウ／＼と立ちのぼるなかに無數の青蠅がないてゐる、六疊二間のうす暗い部屋のなかには、あゝ何といふ有様ぞ、肉のくされ落ちた者、血膿のにじんだ者等が青蠅になめられながら青ざめた顔を天井に向けたまゝ亡者の如く寢そべつてゐる◇記者は幾十人とも知れぬそのなかに明治大學を出た者、早稻田に學んだ朝鮮人、新聞の擴張員であつた者のなれのはてを見出した、『かうした醜面を御覽に入れて……』『愛媛縣喜多郡大洲村出身で滿洲で四年余り新聞の擴張員（月給百二十圓）をしたといふ藤尾英孝（？）は病苦にやつれた顔に、さすが、ほにかみの色を浮かべてうなだれてゐる。

がこの病院では斷れず、黄金町一丁目の天理教會には六百の手紙が來てゐるがそれすら恥かしくて取りに行けぬと涙を流す有様。『こんな姿になつたのは、もと／＼肋膜の激痛に堪へかねてうつたモヒ注射が中毒のもとでした。昨夜は新町附近を、痛む足をひきずつて辻うらを賣つて歩きましたが賣れたのがタツタ十六錢、やむを得ず今日はそれだけの注射をして、御飯は買つてたべました』と彼は吸ひかけの吸殻をすゝる。『今光熙門の某新聞店に履歴書を出してゐるが採用するか知らぬ……』とつぶやく、病苦を押しても働かねば食はれない現實の苦しみである『十六錢だけのモヒをさしましたがもうそろ／＼さめかけました一日どうあつても五十錢位はさゝねば堪りません。モヒを賣る店はこの部類には入るとすぐに判ります、働きは出來ずに食はれはせず、一つ警察の厄介になれと覺悟して一ケ月あまり鍾路署に留め置いて貰ひましたが駄目、もう全快は致しません』◇ 折柄、今しがた警察から出て來たといふモヒ料理屋の女將であつた内地女がヨロ／＼と這入つて來た。女は臨鄕した話で『酒も飲めぬことはないが、何よりほしいのはモルヒネです色氣も何も考へません、只モルヒネ……』と凄い眼をギョロリと睨かす藤尾は氣味惡げに睨りかけた記者のうしろから『注射がさめて來たが最後、もう恥も外聞もありません、どんなことをやるかも知れませんよ全く無我夢中です……』と浴びせかけた、ヒヤリとする瞬間から絶えず呪いの聲が聞こえてゐた

元山て盛大な歡迎會

【元山特電】紅軍の山岸、白軍の秋田兩選手は七日午後七時本社府尹、神宮署長、龍鐵總監、河西、渡邊兩元每記者、元中學生、元山女高校生徒に迎へられて無事到着、それより兩選手は内田選手、河野總局部長を加へて府尹主催の歡迎會にのぞんだ後午後十一時二十分内田、秋田兩選手は河野總局部長と共に龍鐵の人々に見送られて京城へ向け出發した

三條橋上で大亂鬪

修學旅行中の學生が

【京都電報】六日午後六時京都三條大橋畔において富山縣立中學校大村教諭の率ゆる百二十五名の生徒が投宿したが前後して千葉縣立農學校大神内教諭引率の五十七名の生徒が同宿した、兩校生徒は前日奈良縣旅行中に侮辱したといふことから喧嘩を起し千葉縣の三年生渡邊聰（一九）外十數名はナイフを懷中して三條大橋附近に待ち伏せてゐた折、九時半富山中學三年生河瀬榮（一九）内山健太（一八）外數名と散步に來たのに喧嘩を吹きかけ入りみだれて橋上に大亂鬪を演じ渋澤は右頸部の小動脈を切られ内山は肩先をきられた五條署は取調べ中である

女教員内地視察團

既報朝鮮總督府主催女教員内地學事視察團一行廿九名は七日午前十時本府學務局に集合旅行準備をとゝのへ同夜九時五十五分觀長京師致諭河野宗一氏引率の下に出發したが一行は九日門司着福岡を振出しに京阪關東地方各地を視察の上十一月一日釜山歸着解散の豫定であると

金剛山探勝團員募集

京城驛では目下金剛山探勝團員を募集中であるが會費は四十五圓で十日午後出發十五日午後歸着のはずで外金剛から内金剛に出て歸るのであるなほ本町龍鐵でも申込を取扱ふと

書畫骨董大競賣

美術俱樂部で

南山町二丁目美術俱樂部では八日午前九時より新古書畫および骨董什器類大競賣を行ふ品主は故中島氏が十有余年間熱心に蒐集した品品骨董品を全部その他什器まで未亡人が内地に引揚げるため殘らず競賣するもので出品は名品、雙幅、神宮花形、竹瀬山水澤潟、芙蓉、諸には緊鐵類、大名陶磁器支那朱塗、刻工明その他二百余點である

松島事件 判決言渡

十三日に決定

【大阪電報】松島事件の判決は來る十三日と決定した

ハゼ釣大會

朝鮮每日新聞社主催によるハゼ釣大會は九日（日曜日）午前八時半より仁川水上署前に集合午前九時乘船永宗洞海岸に向ひ同海岸において開催參加料は一圓賞品としては盃物の賞を基本として錢を定め一等より十五等までの賞品授與をなすと

注目さるゝ學生の決議

京大社會化學研究會で

【京都電報】京大社會化學研究會では最近注目すべき決議を行つた

一、河上博士の經濟學批判會を積極的に支持する事

一、日本無産新聞五萬突破の事業を行ひ且つ日本學生の社會化學研究の普及並に宣傳

一、社會化學研究會の聯合會加入の認可を荒木總長に要求する件

一、大學新聞に對し無條件解放を要求する件

一、右の中第三は昨年二月事件以來嚴禁せるところでその成行きを注視されてゐるが學生側は飽まで目的の貫徹を期すると稱してゐるから一波瀾は免れぬとみられてゐる

老人の轢死

四日午後一時頃安東縣鎭江山驛北方九百八十メートルの地點で安奉線の列車進行中鎭江山驛前二洞譚廳福といふ支那人が轢死した原因は不明（安東）

ヤ對パの野球戰紐育で

【ピツツバーグ六日發】當地にて豫定通り最初の二ゲームを終つたワールドシリーズのヤンキース、パイレーツ兩チームは七日より紐育にて試合の爲め同地に向つた、ヤ軍監督ハギンスの語に依れば先日負傷した、ヤ軍の一選手ベノツクを七日よりプレートに立たしめるつもりであるが而し若しベノツクがまだ出ることが出來なければムーアを立てる

早法決勝戰

6—1 早大勝

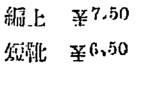
【東京電報】六大學リーグ早法決勝戰は七日午後二時四十五分神宮球場に於て淺沼、西川兩審判の下に法政先攻で開始、法政は前日の奮戰に疲勞の色あるも源川投手のスローカーブに惱まされて六回一點を得しのみなるに反し早大は三回に一點五回に一點六回に三點を得て結局六Ａ對一で早大優勝す閉戰午後四時四十三分

バッテリー 早大 源川、伊丹 法政 吉田、慶田、松井

京城 一本 秋の大市 特別均一品 五十錢 一圓 一圓五十 二圓 十月八日より十五日まで イトウ履物店

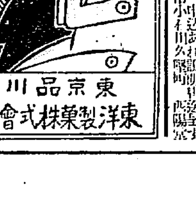
東洋杞柳株式會社 大邱府 朝鮮 大邱のキリウ製品 行李 バスケット ヤナギ椅子卓子類

朝鮮皮革株式會社特製 三越實用靴 明星（メウゼウ）



編上 ¥7.50 短靴 ¥6.50
本社及工場 京城南大門通一丁目 永登浦 販賣店 京城本町一丁目 特約販賣店 三越吳服店

一利益甚大 一大發見 醬油種



高級ビスケットの品質をおためし下さい コレクション シンアロルート ニーレット ジャイアント
東京品川 東洋製菓株式會社

ぬのくち式 渦巻ポンプ
大阪北濱當島ビル內 大阪出張所
東京荏原郡南品川 荏原製作所

てんかん ヒキツケ 他覺動なき強症に自宅で手輕に治す責任良藥あり 此藥は他に無し 名古屋中區南小川町 救生館

名物 リンゴ カステラ 忠南大田 中田堂

頭痛にノーシン

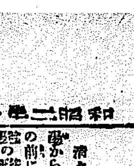
保險付安價提供 手工用ボール切 カタログ進呈 專門製作 岐阜市鑑川町 誠心堂製作所

京日案內

貸室 外國人の家庭にて美しき家具附一室又は二室安く貸します 西大門町二丁目六十九番地 エー・レー・グラント 御照會を乞ふ
五號活字十五字詰五行一回定價五十錢臨名ハ當回毎ニ金拾錢增料金ハ前納ノ事

特別案內

ほね つぎ
ビル
恩給
ミシン
賣地
恩給
黒燒
毛糸
高等
貸室
恩給
病氣治療所開設 午前九時より午後五時迄治療す 京城旭町一丁目四十二番地 大靈堂支部



孔雀 (15)

古川實作 大村安次郎畫

愛人 (6)

清々しい氣持ちになつて二人は湯からあがつて來た。孔雀は鏡臺の前に坐つて顏の白粉を直したり髮の形を直したりしてゐた。彼夫はそこに身體を延ばして雜誌か何かのページを繰ひろげてゐた。

『東京のやうな騷々しい所から見るとこの地はまるで火の消えたやうね』

孔雀は鏡へ手をやつて鏡の中をのぞき込みながらいつた。

『僕はこんな靜かな場所はすきです。出來ることなら一生この地にゐたい』

彼夫は首を浮かせて孔雀の方を見ながらいつた。

『そう、大層この地がお氣に召したのね、では貴方だけいつまでもいらしたらいゝでせう』

『二人ぢや駄目、いくら何でも一人でこんなさびしい山の中にゐられるものですか』

『では何方とならいらつしやるお積り？』

『貴女、僕を揶揄のですか！』

彼夫は體を起こして眞剣になつていつた。

『ホホ……お氣にさわつて――御免なさい……さあ、機嫌りました』

孔雀は立つて鏡臺を片付けた。

『僕今ね、湯からあがつてこの室へ來る途中、廊下を向ふの方へ歩いて行く後姿がどうも杉田先生らしい人を見ましたよ。或は僕の思ひ違ひか知れませんが……』

彼夫は長火鉢を挾んで孔雀と相對した時いつた。

『杉田先生！……まさか先生はこんな處へ來ていらつしやりはしないでせうよ。そりや貴方の見違ひよ、きつとそうよ』

否定しながらも孔雀はなほ半信半疑であつた。

『僕も人違ひだらうと思つたが、あんまり後姿がよく似てゐたものですから。きつと僕の見違ひでせう』

それから鮨飯に時を移してゐる間にいつか夕暮になつた。山に取圍まれたこの溫泉場はいつとはなしに夜靄が次第に濃くなりつゝあつた。川の面や木の梢からは急に光がうせてつめたい色に變つた。と、鐘撞寺の入相の鐘が靜かに響きはじめた。鐘の音が多くなるにつれてこの溫泉場は夕闇の底へ吞まれて行つて、旅館の窓々には如何にも寧の寄らしく明るく灯が點つた。

そこへ女中が夕食を運んで來た。

『姐さん、あの一寸おたづねしたいんですが、杉田さんとおつしやる方がこちらにお泊りになつていらつしやらなくて？』

孔雀は室を出て行かうとする女中を呼びとめてきいた。

『杉田さん？……』

女中は首を傾けてしばらく考へてゐたが思ひ出せないらしかつた

『深山のお客さまで御座いますから一寸分り兼ねますが……それに室の係がみんな別々だもんですから……なんなら後程帳場で調べて參りませう』

女中が出て行くと二人は食膳に向つた。『ブドウ酒お飲みにならない？』

孔雀は彼夫の意向をきいた。

『飲みませう』

ベルをならして女中にブドウ酒を持つて來させた。二人はあかい酒をちび〳〵やつてから食事に移つた。

『杉田さんて方は此方にお泊りで御座います。小説をお書きになる方で御座いませう。その方はあやめの十六番にお出でになります』

食事の道具を退げに來た時先程の女中は、何か大事件でも發見して報告するやうに室へ入るなり急込んでつげた。

『そう、矢張いらつしやるのね』

そして孔雀は彼夫に『矢張先生の方は杉田先生でしたのね。こんな所でお目にかゝるなんて本當に不思議ですわ。この宿にいらつしやることが分つてるのに黙つてゐては悪いのですから、秘密の來てることを一寸お知らせして置きませうねえ。よろしうございませう』

孔雀は自分の名刺に、お目にかゝりたいといふ意味のことを書いて女中に託した。

鼻の病氣 アデノイド

放つて置くと低能兒になる

五六歲から十歲前後の子供にあり勝ちな鼻の病氣としてアデノイドといふのがありますこの病氣は日本式にいふならば鼻咽腔腺樣增殖と唱へられてをり、上顎の奧の方にある扁桃腺が大きくなる病氣でありますこの病氣にかゝつた子供等は多くは鼻で呼吸せず、口ではあく〳〵呼吸をします。か様な子供をよく見受けるものでありますが、それはアデノイドが出來た爲で鼻が詰つたからなのであります。口で呼吸をする事がよろしくない事はすでに御承知でありませうか、もつと大事な事は、アデノイドに治療を加へず放つて置きますと、だん〳〵と腦髓の働きが惡くなり同時に注意力がにぶり、記憶力も減退してしまつていはゆる低能兒になり易いのであります。鼻の病氣にかゝつた子供にできのよい子は殆どないといはれてをりますが、つまりアデノイドが原因で腦を惡くしたものが多いのでありますこれは教育上大へんよろしくない事であります。又アデノイドが出來て口でばかり呼吸するとあごの發達が鈍つて、顏つきが惡くなるまでいはれてをります。それでもし子供の鼻の工合が悪い時にはなるべく早くお醫者に診斷してもらひ、適當な治療を加へるやうにしなければなりません」

讀者らん

▲帝キネ映畫『曾家』全十七卷を一日も早く京城へ上映して下さい（ファン）▲小說孔雀は素晴しい程成功してゐる様だ、挿畫で小說の價値が左右せられはしない、まあ挿畫からも人氣を博する事も可成り認識せられるやう（推獎者）▲京城人士の所在および會員となる手段を御敎示下さい（一映好者）▲京城旭町一丁目です、その社へ直接御聞き合せになつては（係）▲五日にセキセイインコ鳥に輪が入れてある籠を逃しました若し御拾ひの方がありましたら本町三丁目六三へ（岡村）▲元芳山町一二番地にをられた神田醫介院の現住所は（御彌生）▲讀者諸君、市士とはどんな人をいひますか（知慮生）▲仁川素人探偵家に、貴殿の孔雀批評の文中に『見れば見る程好感を惹く』とありますが一寸批評が違つては居ないかと思ひます、成る程一見するに華奢の體の如く奇麗ではありません、しかし見て居る中に女優として最も大切なるチャーム的な目（むしろマケット式です）ゆたかな鼻腔、それから最も重要なる活動せる肉體線等々……皆目を叩つけずには居りません素人ならいざ知らず臨家の名稱に對して一言申しておきます（京城素人探偵家）▲小說孔雀の挿畫は僕はまづくないと思ひますが缺いた批評は御互ひにつゝしみませう（京城の人）

カーボニン

胃腸の清掃と止瀉作用を

同時に全うするカーボニンは左の諸症に應用して卓効あり

▼優秀なる止瀉劑として 急性慢性下痢・異常醱酵・酒過飲等に

▼副作用なき胃腸劑として 胃腸カタール・アトニー・嘔吐・消化不良等に

▼合理的下瀉劑として 食中毒・自家中毒・赤痢・疫痢・コレラ等に

定價 一三〇〇錠 金壹圓 一〇〇〇錠 金五拾錢 四〇〇錠 金廿五錢

各地藥店にて販賣 見本及說明書進呈

本店 東京神田區鍛冶町九 支店 大阪東區南久太郎町

製造 和光堂

●産婆生徒募集 規則書要郵券 福岡市外水茶屋 內務省指定 福岡産婆學校

●リウマチス 神經痛こむしにて惱む人は迷ふことなくすぐ 神仙湯

神仙湯をのんでごらん◆神仙湯は荒川宗家方の良藥で不思議なほど効きます快者から嬉しさの餘り

京染はみのや一等

●禮豆 狀なさも澤山來て居る又子宮病婦人病などにも確に効めがあるスグのんでごらん◆賣捌全國藥店

演藝案內

喜樂館 問題を惹起せる世界的大名畫公開 四日（火曜日）より封切 日活時代劇部作品 監督 若山治 ◇時代劇映畫 討たれぬ仇 六卷 主演 桂武夫、櫻木梅子、尾上卯多五郎、中村吉次 ◇大パラマウント社壹千萬弗撮影 活劇エドワード、スザーランド氏監督 ◇大喜活劇 彌次喜多海軍の卷 六卷 ウォーレス、ビアリー氏 レイモンド、ハットン氏 大主演 ○且て法曹界に大問題を惹起せる世界的大醜聞正義の冠を戴て我が堂に再出現 日活現代劇部特作品 監督 村上淳 ◇現代映畫 浮世車 八卷 伊奈精一 深川國子、入社第一回主演映畫 島耕二、小杉勇、葉山富之助 助演

黃金館 帝キネ 十月六日より帝キネ時作三映畫 帝キネ特別大作 情緒時代映畫 淀川心中 全六卷 中村小翫、林誠太郎大共演 帝國現代劇部近代の大傑作品 小島洋々、里見明、高津愛子主演 大帝キネ時代劇超努級作雄編 狂亂凄慘 大劍戟 酒亂の狂刃 六卷 巨星 明石緑郎、得意の狂闘 主演 中村小翠、林誠太郎、市川米子、松川好子、若月十郎 其他 ◎誠に勝手ながら特別興行に就きましては公休日及び御招待券は……

大正館 お早く御來館あつて名畫の價値を御批判願います 六日ヨリ 蒲田撮影所二週間特別封切 諸演 大猛闘 仇討違ひ 七卷 松竹蒲田 ……特作 ……淚の女 京都撮影所 ……女夫星 八卷 ……明治三六〇 十月六日より ……涙花館 ……萬歲界の巨人 美八二嬢 政岡靜雄

京龍館 十月四日より日活特作品 海洋大活劇 黑鷹丸 全八卷 西部活劇 天空童里 全六卷 日活時代劇超特作品 斷魔閃人 全七卷

中央館 マキノキネマ 五日より特選三大映畫特別大公開 學生五人男 全七卷 ……奇傑 矢 全九卷

定期航路

仁川汽船出帆 海州線 仙掌線 延安線 舊島線 唐津線 瓮津線 仁川汽船會社 森信汽船出帆 ▲江華島航路 神島丸 ▲延安航路 第三江華丸 ▲唐津牙山航路 新盛丸 森信汽船會社

郵船定期廣告

博多航路 漢江丸 西鮮各港經由 十月三十日釜山發博多行

○仁川出帆（代理店內國通運支店）

東京行	東灘丸	一〇月二六日
大阪行	慶州丸	一〇月一五日
長崎三角行	羅南丸	一〇月二四日
新義州行	漢江丸	一〇月二〇日
木浦行	昌原丸	一〇月一一日
海州行	盈德丸	一〇月九日
大連行	羅南丸	一〇月一八日

○木浦出帆（代理店山野回漕店）

東京行	天安丸	一〇月一〇日
大阪行	慶州丸	一〇月一七日
濟州島行	海州丸	一〇月一二日
仁川行	昌原丸	一〇月一六日

○釜山出帆（取扱店大池回漕部）

西鮮經由東京	天安丸	一〇月一二日
西鮮經由大阪	慶州丸	一〇月一二日
北鮮經由大阪	漆川丸	一〇月一三日
長崎三角行	羅南丸	一〇月一〇日
新義州行	漢江丸	一〇月一六日
北鮮行	京城丸	一〇月一四日
浦鹽行	清津丸	一〇月一六日
上海行	平安丸	一〇月一三日

○元山出帆（代理店內國通運支店）

朝鮮郵船株式會社 定期出帆廣告

大阪商船株式會社

內地各港出帆主要航路

育兒料 榮養料として比類なき優良品

粉末 純乳 ラクトーゲン

學理はもとより實績の優秀な點に於てラクトーゲンは人工榮養料中最良の品であります。京都帝國大學小兒科最近御研究の結果として發表された中にも亦ラクトーゲンの優秀は認められて居ます。不安な牛乳や煉乳よりも成分確實にして消化吸收極めて良好なれば乳兒の榮養としては勿論産前産後の御婦人にとつて最良の滋養品で御座います

販賣店、全國藥店 食料品店

見本請求ハ此廣告添附ノコト（大阪中央郵便局私書函第二十五號宛）

定價 大罐 六圓五十錢 中罐 二圓四十錢 小罐 一圓三十錢

乾卯食料品株式會社 大阪市東區伏見町二丁目 東京丸ビル內三階

L-10-F